

# 山口県立美術館年報

令和3~4年度

ANNUAL REPORT

2021~2022

YAMAGUCHI PREFECTURAL ART MUSEUM



# 山口県立美術館年報

令和3~4年度

ANNUAL REPORT  
2021~2022  
YAMAGUCHI PREFECTURAL ART MUSEUM

# 目 次

山口県立美術館概要	3
1) 事業	
I . 展覧会事業	
(1) 特別展	6
(2) 山口県美術展覧会	44
(3) コレクション展	48
II . 教育普及事業	
(1) ミュージアム・タウン・ヤマグチ	62
(2) HEART	63
(3) デジタル技術を活用した事業	68
(4) 学校連携	73
(5) 美術館ボランティア	75
(6) 県立美術館メンバーズクラブ	77
(7) キャンパスメンバーズ	77
(8) 博物館実習	79
(9) その他の事業	81
(10) 原稿執筆・講演等	83
III . 調査研究事業	
(1) 研究紀要	88
(2) 調査研究実績	88
IV . 収集管理保存事業	
(1) 館蔵品寄託品貸出利用状況	94
(2) コレクション	97
(3) 作品修復	101
(4) 美術図書	103
2) 入館者数一覧	106
3) 組織等	112

## 山口県立美術館概要

所在地 山口市亀山町3番1号  
敷地面積 11,618.330平方メートル

### 1.当初建物

建物面積 4,077.168平方メートル  
建物延面積 5,477.880平方メートル  
構造 鉄筋コンクリート造／地下1階・地上2階／一部鉄骨造  
工期 昭和52年(1977)8月～昭和54年(1979)3月  
設計 鬼頭梓建築設計事務所  
施工 鹿島建設株式会社／日本電設工業株式会社／株式会社大気社／塩田工業株式会社  
総工費 1,700,000,000円

### 2.喫茶室新築

建築延面積 66.16平方メートル  
構造 壁式鉄筋コンクリート造／平屋建  
工期 昭和62年(1987)1月～3月  
総工費 25,552,000円

### 3.収蔵庫等増築

建築延面積 1,188平方メートル  
構造 鉄筋コンクリート造／2階建(地下1階)  
施設概要 収蔵庫、備品収納庫、作業室、図書室、資料室等  
工期 昭和62年(1987)12月～平成元年(1989)1月  
総工費 604,853,000円

### 4.空気調和設備等改修工事

工期 平成17年(2005)7月～平成18年(2006)3月  
総工費 436,755,000円

### 5.美術館改修工事

改修施設概要 展示室、ロビー、収蔵庫、トラックヤード、中庭、喫茶室、講座室  
工期 平成23年(2011)11月～平成24年(2012)3月  
総工費 699,915,000円

## 展覧会事業

### 特別展

館の調査研究にもとづくユニークな自主企画展をはじめ新聞社やテレビ局および他館との共催展を開催し、古今東西の多様な美術文化を紹介する。

### 山口県美術展覧会等

山口県における総合的美術文化の普及と振興をはかるために、幅広く作品を公募。審査の後、その優秀なるものを展示、紹介する。

### コレクション展(常設展)

当館のコレクション(館藏品、寄託品)を中心に、本県の美術文化の歴史や郷土が生んだ代表的作家の全体像などをわかりやすく展示する。

## 教育普及事業

### ミュージアム・タウン・ヤマグチ

県庁前パークロードから山口市中心商店街にかけての文教・商店街エリアを、〈山口〉を発信する観光・文化・教育拠点とするべく、周辺地域および教育文化施設が一体となってさまざまな事業を展開。

### HEART

ミュージアム・タウン・ヤマグチのメイン事業のひとつ。県美術展覧会の開催に合わせて、近隣の山口市商店街連合会とも協働し、アートイベント「HEART」を開催。様々な視点から現代の美術に接する場を県民に提供する。

### 学校連携

児童生徒、教員が美術文化にふれあい、ともに学ぶ場としての美術館の普及をはかる。

### ボランティア

ボランティアの知識や経験を生かした活動を通じて県民の美術館活動への理解を広めるとともに、その活動が県民にとって美術により深く接する場となることをねらいとする。

### 講演会・講座

美術講座、美術講演会、ワーク・ショップなどを実施し、美術への理解を深める場を県民に提供する。

## 調査研究および収集管理保存事業

本県の美術に関する調査研究を実施し、基礎資料や作品の収集を充実させるとともに、これを保管整理し有効な活用をはかる。

# 事業

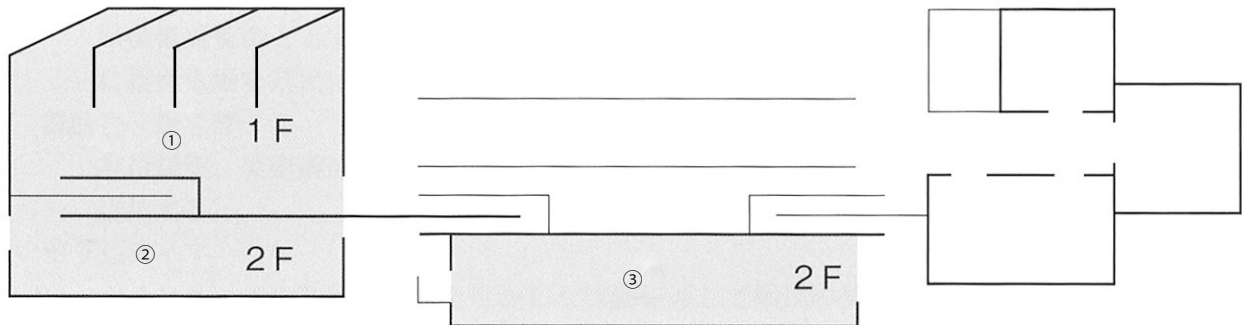
## I. 展覧会事業

## (1) 特別展

令和3年度(2021年度)は、4月20日から始まった「野口哲哉 this is not a samurai」展でスタートを切った(～6月13日)。野口哲哉(1980-)は鎧兜を身に纏った人物をモチーフとした彫刻で知られる美術作家。その精緻なリアリズムによってかたちづくられた侍たちをじっと見ていると、現代に生きる私たちと同じ苦悩や喜びを、時代を越えて共有しているようにも感じられ、コロナ禍で疲れた私たちにひと時の癒しをもたらしてくれる展覧会となった。それに続いて、7月からは、2年前、コロナ禍によって開催を延期した「小村雪岱スタイル 江戸の粋から東京モダンへ」(7月8日～8月29日)を開催。近年、再評価が高まり、〈昭和の春信〉とも称される小村雪岱(1887-1940)の洗練された挿絵、装丁、肉筆画、版画などを一堂に展示し、西日本では初めて、その全貌を紹介する展覧会となった。秋には、「ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展」(9月18日～11月7日)を開催。当館にとっては、34年ぶりのエジプト文明を紹介する展覧会であったと同時に、デジタル技術を駆使したミイラ展示なども話題となり、未だコロナ禍に悩まされているさなかではあったが、6万人の動員を記録した(2021年九州・山口エリア展覧会入場者数ランキング1位)。

また年度末から、令和4年度(2022年度)の初めにかけては、「ミネアポリス美術館 日本絵画の名品」展(3月1日～4月17日)を開催。約9500点にもおよぶミネアポリス美術館コレクションの中から、巡回各館の学芸員による協議の末、92点を厳選。近年人気の高まっている伊藤若冲、曾我蕭白、葛飾北斎、歌川広重など江戸絵画の優品を鑑賞できるまたとない機会となった。4月からは「野田弘志-真理のリアリズム」展(4月27日～6月19日)を開催し、近年の超絶写実絵画ブームの先駆けともいえるべき、野田弘志(1936-)の最初期から近作までを一堂に展示。写真と見紛うばかりの写実絵画の魅力を、静物画、人物画、風景画など様々なジャンルで堪能できる機会となった。また、夏は、山口県出身のアーティスト庵野秀明(1960-)の全貌を紹介する展覧会「庵野秀明展」を開催。高校時代に製作した短編映画から近作まで、膨大な数の資料を展示するとともに、幼少期の庵野に影響を与えた「アニメ」、「特撮作品」などを展示。庵野秀明の原点を垣間見ることのできる機会となった。秋には、当館の収集作品の柱である雪舟の魅力、〈雪舟以前〉、〈雪舟以降〉という観点を通して探る展覧会「唐絵の系譜 将軍家の襖絵/雪舟と狩野派」(9月16日～10月16日)を開催。周文、雪舟、狩野探幽という唐絵画家の系譜を軸に、室町時代から江戸時代末期に至る日本絵画の流れを紹介した。

\*2年間の特別展総入場者数は157,530人(R3:90,298人、R4:67,232人)



展示室 D (①) 583.298 m<sup>2</sup>  
 展示室 E (②) 304.695 m<sup>2</sup>  
 展示室 F (③) 471.825 m<sup>2</sup>

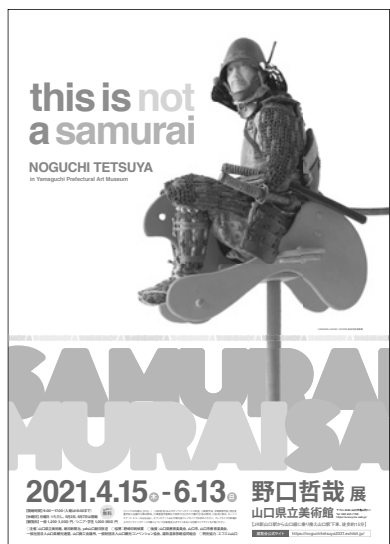
\* 凡例

以下の展覧会は名称(会期・主催等)、  
 (1)趣旨・概要、(2)会場構成、(3)カタログ、(4)出品目録、  
 (5)講演会等の順で編集した。



# 野口哲哉 this is not a samurai 展

会 期 令和3年(2021年)4月15日(木)~6月13日(日) \*月曜休館、ただし5月3日、6月7日は開館  
 主 催 山口県立美術館、朝日新聞社、yab山口朝日放送  
 協 賛 野崎印刷紙業  
 後 援 山口県教育委員会、山口市、山口市教育委員会、一般社団法人山口県観光連盟、山口商工会議所、  
 一般財団法人山口観光コンベンション協会、湯田温泉旅館協同組合  
 特別協力 エフエム山口



ポスター(B2)



チラシ(A4)表面



チラシ裏面

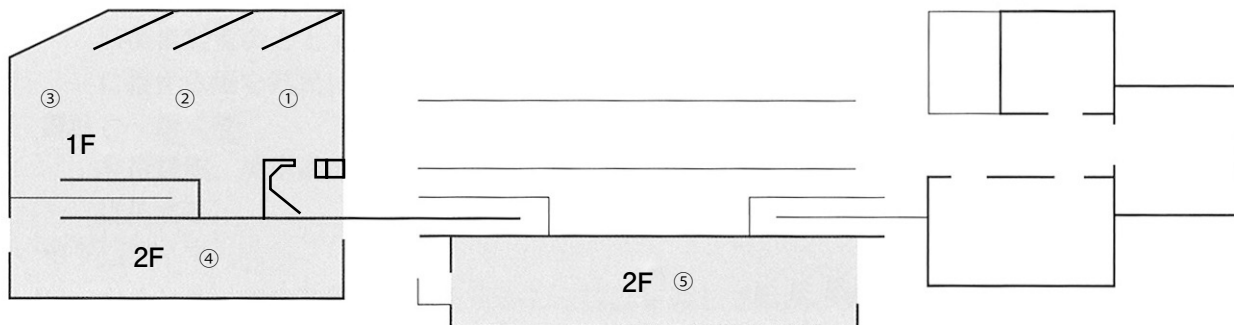
## (1) 趣旨・概要

野口哲哉(1980年、高松市生まれ)は、鎧と人間をテーマに、現代という時代について、あるいは人間とは何かという問いについて、真摯に問い続けている美術作家である。作品は一貫して日本の鎧を着た人物像ではあるものの、そこからにじみ出る多様な文化や感情の混ざり合うユニークな世界観が、近年、国内外の幅広い層の支持を集めている。所在なくたたずんでいるかと思えば、風船を見つめたり、空中に浮かんだり、時にはブランドロゴの付いた鎧を自然に着こなしたりといった鎧姿の人物たちは、一見ユーモラスであると同時に、その表情やしぐさが、どこか物悲しい雰囲気をもたえている。野口がかたちづくってきたこうした作品には、目まぐるしく移り変わる文明の中で、喜びや苦悩といった矛盾を抱えながら生きる人間の姿が、鋭い視点で映し出されているといえるであろう。

本展では、鎧をまとう人々の彫刻や絵画など、初期から新作まで約180点により、野口哲哉の幅広い思考と、精緻な作品に込められた優しさと悲しさ、人間への好奇心にあふれた世界を紹介した。

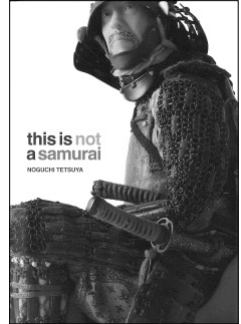
## (2) 会場構成

- ① 鎧の中へ
- ② 仮想現実の中で
- ③ 鎧を着て見る夢
- ④ 別世界旅行
- ⑤ 鎧をまとう人々



### (3) カタログ

- 企画・構成 野口哲哉、牧野裕二(高松市美術館)、斎藤郁夫・河野通孝(山口県立美術館)、神尾玲子(群馬県立美術館)、神谷剛生(刈谷市美術館)、玉屋喜崇・沖田貴一・阿達佳子・中野佐恵子(ギャラリー玉英)、朝日新聞社
- 編集 朝日新聞社、木村しのぶ(福本事務所)
- 翻訳 Patryk Czekai、阿達佳子、森内誠子、八出千寿乃
- デザイン 上原正彦(ヌードウェア)、TITTO、野口一将(ドキュンカンパニー)、原瑞穂(野崎印刷紙業株式会社)
- 印刷 野崎印刷紙業株式会社
- 発行 朝日新聞社
- 内容 012 ごあいさつ  
 014 はじめに 野口哲哉  
 018 私たちの夢は彷徨う ジョン・ウィー・トム  
 028 図版  
 250 野口哲哉とは何か 牧野裕二  
 258 作品リスト  
 270 プロフィール  
 \* A4判272頁



カタログ表紙

### (4) 出品目録

no.	作品名	制作年	所蔵表記	素材
第1章 鎧の中へ				
1	作者式拾四歳寿像	2004	個人蔵	紙本アクリル彩色
2	Heart shot	2019	個人蔵	ミクストメディア
3	Dead sad head	2019	個人蔵	ミクストメディア
4	黒漆塗鯉形兜	2013	個人蔵	ミクストメディア
5	金箔押桃形兜	2009	個人蔵	ミクストメディア
6	Phantom of a helmet	2011	個人蔵	ミクストメディア
7	～ Japanese armour variation 加賀具足之事～ 加賀具足図	2012	個人蔵	紙本アクリル彩色
8	～ Japanese armour variation 加賀具足之事～ 浅葱糸素懸威 鉄錆塗十六間 筋兜 両頬 前立付	2012	個人蔵	ミクストメディア
9	～ Japanese armour variation 加賀具足之事～ 加賀具足用人物立像	2012	個人蔵	ミクストメディア
10	SAMURAI WING	2013	個人蔵	ミクストメディア
11	サムライ・スタンス ～武士のみちたる姿～	2013	個人蔵	ミクストメディア
12	Red Man	2008	個人蔵	ミクストメディア
13	The Hanged Man (吊るされた男)	2008	個人蔵	ミクストメディア
14	lady beetle	2016	個人蔵	ミクストメディア
15	小武人 肘掛様態像	2017	個人蔵	ミクストメディア
16	Three Wise Monkeys	2015	個人蔵	ミクストメディア
17	Folding fan - 扇 -	2016	個人蔵	ミクストメディア
18	リーフ	2017	個人蔵	ミクストメディア
19	Small sweet passion ～南北朝の花～	2018	個人蔵	ミクストメディア
20	THE DEER - 鹿 -	2016	個人蔵	ミクストメディア
21	The gradation - 河津伊豆守佑邦像 -	2014	個人蔵	ミクストメディア
22	Shoulder bag and Sneaker and SAMURAI	2013	個人蔵	ミクストメディア
23	small & Giant	2012	個人蔵	ミクストメディア
24	Traveler ～旅する侍～	2013	個人蔵	ミクストメディア
25	SAMURAI BOX	2013	個人蔵	ミクストメディア
26	after the rain	2013	個人蔵	ミクストメディア
27	Talking Head	2010	個人蔵	ミクストメディア
28	Sleeping Head	2010	個人蔵	紙本アクリル彩色
29	着甲武人自転車乗車出陣影	2008	個人蔵	紙本アクリル彩色
30	ホバリングマン浮遊図	2008	個人蔵	紙本アクリル彩色
31	Cat-walk 2020	2020	個人蔵	紙本アクリル彩色
32	Cat-option1	2020	個人蔵	紙本アクリル彩色
33	Cat-option2	2020	個人蔵	紙本アクリル彩色
34	猫寿像	2008	個人蔵	紙本アクリル彩色
35	猫鎧	2008	個人蔵	ミクストメディア
第2章 仮想現実の中で				
36	シャネル侍着甲座像	2009	個人蔵	ミクストメディア
37	紗鎌家伝来冑図 部分	2009	個人蔵	紙本アクリル彩色
38	シャネル紋入二枚胴具足図	2009	個人蔵	紙本アクリル彩色
39	シャネル侍着甲座像	2009	個人蔵	紙本アクリル彩色

40	Rabbit Type	2008	個人蔵	ミクストメディア
41	誰モ喋ッテハイケナイ	2008	個人蔵	ミクストメディア
42	Rocket Man -homage to miniture model-	2009	個人蔵	ミクストメディア
43	Rocket Man -homage to miniture model- バッケージ原画	2009	個人蔵	紙本アクリル彩色
44	THE EGG MAN -homage to miniature model-	2012	個人蔵	ミクストメディア
45	THE EGG MAN -homage to miniature model- バッケージ原画	2012	個人蔵	紙本アクリル彩色
46	Target Marks 1580 - 1610	2009	個人蔵	ミクストメディア
47	Thing of the operation 稼働する事 -Haramaki Style 紫糸威腹巻 筋兜鉢付-	2010	個人蔵	ミクストメディア
48	WHO ARE YOU ~木下利房と仮定~	2020	個人蔵	ミクストメディア
49	魅	2020	個人蔵	ミクストメディア
50	風船追物語図	2017	個人蔵	アクリル・ボード
51	鞆圖	2019	個人蔵	アクリル・ボード
52	鞆乗者図	2019	個人蔵	アクリル・ボード
53	武人宇宙図	2019	個人蔵	アクリル・ボード
54	Traveller	2019	個人蔵	アクリル・ボード
55	samurai armour and nice driving yellow	2014	個人蔵	ミクストメディア
56	samurai armour and nice driving silver	2014	個人蔵	ミクストメディア
第3章 鎧を着て見る夢				
57	Sleep Away	2015	個人蔵	ミクストメディア
58	Package of Past man -armour Black "NIMAIDO" and Big "SASHIMONO" 17c style	2012	個人蔵	ミクストメディア、桐
59	Package of Past man -armour Red and Gold "NIMAIDO" and Big "MAETATE"	2012	個人蔵	ミクストメディア、桐
60	Package of Past man -armour iron "NIMAIDO" and Big "SASHIMONO"	2012	個人蔵	ミクストメディア、桐
61	二人の清正	2012	個人蔵	ミクストメディア、桐
62	Insectman -Golden armour and "WARABI" sashimono-	2012	個人蔵	ミクストメディア、桐
63	Insectman -" KAGA" armour and "FAN" sashimono-	2012	個人蔵	ミクストメディア、桐
64	Insectman -Armour colorful gusoku and "BUTTERFLY" sashimono-	2012	個人蔵	ミクストメディア、桐
65	BLACK MAN & HIS OPTION	2016	個人蔵	ミクストメディア、木
66	小人連帯像	2017	個人蔵	ミクストメディア
67	Samurai Wing 2014 (TypeA)	2014	個人蔵	ミクストメディア、桐
68	samurai option -the Gold-	2015	個人蔵	ミクストメディア、木
69	samurai option -the Silver-	2015	個人蔵	ミクストメディア、木
70	samurai option -the Black-	2015	個人蔵	ミクストメディア、木
71	samurai option -the Brown-	2015	個人蔵	ミクストメディア、木
72	ビット・マン 鉢巻	2016	個人蔵	ミクストメディア
73	ビット・マン 鹿角	2016	個人蔵	ミクストメディア
74	ビット・マン 番瓦	2016	個人蔵	ミクストメディア
75	ビット・マン 一之谷	2016	個人蔵	ミクストメディア
76	ビット・マン 金烏帽子	2016	個人蔵	ミクストメディア
77	ビット・マン 具	2016	個人蔵	ミクストメディア
78	ビット・マン 熊耳	2016	個人蔵	ミクストメディア
79	ビット・マン 金桃形	2018	個人蔵	ミクストメディア
80	PERFECTION ARMOUR - 具足 -	2016	個人蔵	ミクストメディア、木
81	GREAT ARMOUR - 大鎧 -	2016	個人蔵	ミクストメディア、木
82	OLD MAN	2016	個人蔵	ミクストメディア、木
83	small sleep	2019	個人蔵	ミクストメディア
84	騎乗昇空図 -SAMURAI AND BALLOON-	2019	個人蔵	アクリル・ボード
第4章 別世界旅行				
85	Pointed Helm & White Goose 「限定9個のエディション」	2015	個人蔵	樹脂
86	Pointed Helm	2015	個人蔵	アクリル絵具・紙、布、木
87	The Goose	2015	個人蔵	アクリル絵具・紙、布、木
88	Night Drive	2015	個人蔵	アクリル絵具・紙、布、木
89	The Yellow Court	2015	個人蔵	ミクストメディア
90	The Night Watch	2015	個人蔵	アクリル絵具・紙、布、木
91	Square and Triangle	2015	個人蔵	ミクストメディア
92	Big Man	2015	個人蔵	アクリル絵具・紙、布、木
93	断簡 (Fragment)	2015	個人蔵	アクリル絵具・紙、布、木
94	鹿角 (antler)	2015	個人蔵	アクリル絵具・紙、布、木
95	紳士 (Gentleman)	2015	個人蔵	アクリル絵具・紙、布、木
96	双子 (Gemini)	2015	個人蔵	アクリル絵具・紙、布、木
97	Iron King	2015	個人蔵	ミクストメディア
98	Lunch Viking	2015	個人蔵	アクリル絵具・紙、布、木
99	Crown Helm	2015	個人蔵	ミクストメディア
100	Ring Helm	2015	個人蔵	ミクストメディア
101	Phantom of Helmet series "Pointed Helm and White Goose"	2015	個人蔵	ミクストメディア
102	Feather Helm	2015	個人蔵	ミクストメディア

103	Samurai Wing 2015 (蛾)	2015	個人蔵	ミクストメディア、木
104	Samurai Wing 2015 (蜻蛉)	2015	個人蔵	ミクストメディア、木
105	The Ghost	2015	個人蔵	アクリル絵具・紙、布、木
106	Phantom of Helmet series "Iron Face"	2015	個人蔵	ミクストメディア
107	別世界旅行	2015	個人蔵	アクリル絵具・紙、布、
108	AD1565 ～音楽の寓意～	2017	個人蔵	アクリル・ボード、木
109	AD1620 ～筋兜を被った男～	2017	個人蔵	アクリル・ボード、木
110	AD1660 ～日本の兜を被ったレンブラント～	2017	個人蔵	アクリル・ボード、木
111	AD1230 ～紫裾濃白妻取の鎧と雀～	2017	個人蔵	アクリル・ボード、木
112	AD1430 ～藍草肩赤威の鎧に同毛の兜～	2017	個人蔵	アクリル・ボード、木
113	AD1450 ～朱波紋入綏包の胴丸～	2017	個人蔵	アクリル・ボード、木
114	AD1490 ～色威の腹巻とフタツルの景色～	2017	個人蔵	アクリル・ボード、木
115	AD1530 ～鹿角の立物と水玉紋入りのカフタン～	2017	個人蔵	アクリル・ボード、木
116	AD1555 ～三日月の兜と釣鐘草～	2017	個人蔵	アクリル・ボード、木
117	AD1637 ～大波の前立兜～	2017	個人蔵	アクリル・ボード、木
118	17C ～濁朱の大鹿角～	2017	個人蔵	アクリル・ボード、木
119	17C ～大水牛角の兜と南蛮胴～	2017	個人蔵	アクリル・ボード、木
120	17C ～音楽の寓意～フェルメールに基づく	2017	個人蔵	アクリル・ボード、木
121	AD1400 ～地学の寓意～	2017	個人蔵	アクリル・ボード
122	AD1510 ～美食の寓意～	2017	個人蔵	アクリル・ボード
123	AD1585 ～赤母衣と空～	2017	個人蔵	アクリル・ボード、木
124	「Helm Pinakothek - ヘルム ピナコテーク」・細巻貝の兜を被った男	2017	個人蔵	アクリル・ボード、木
125	「Helm Pinakothek - ヘルム ピナコテーク」・平貝の兜を被った男	2017	個人蔵	アクリル・ボード、木
126	「Helm Pinakothek - ヘルム ピナコテーク」・蟹の兜を被った男	2017	個人蔵	アクリル・ボード、木
127	「Helm Pinakothek - ヘルム ピナコテーク」・巻貝の兜を被った男	2017	個人蔵	アクリル・ボード、木
128	「Helm Pinakothek - ヘルム ピナコテーク」・風船の兜を被った男	2017	個人蔵	アクリル・ボード、木
129	21st Century Light Series ~Classic Domaru~	2020	個人蔵	アクリル・ボード
130	21st Century Light Series ~Black Armour~	2020	個人蔵	アクリル・ボード
131	21st Century Light Series ~Red Armour~	2020	個人蔵	アクリル・ボード
132	21st Century Light Series ~The Tap~	2020	個人蔵	アクリル・ボード
133	21st Century Light Series ~The Slide~	2020	個人蔵	アクリル・ボード
134	21st Century Light Series ~Yellow-green Armour~	2020	個人蔵	アクリル・ボード
135	PANDA IS COMING	2020	個人蔵	アクリル・ボード
136	THE SWING	2020	個人蔵	アクリル・ボード
第5章 鎧を纏うひとびと				
137	cheap wings	2019	個人蔵	ミクストメディア
138	白虎	2010	個人蔵	ミクストメディア
139	Thing of the operation 稼働する事 - Engineering Armour 工学の鎧 -	2010	個人蔵	ミクストメディア
140	Think of Operation - 桃山の鎧 -	2011	個人蔵	ミクストメディア
141	Think of Operation - 工学の鎧 -	2011	個人蔵	ミクストメディア
142	THE RED MAN 2013	2013	個人蔵	ミクストメディア
143	CLEVER BIRD	2016	個人蔵	ミクストメディア
144	Avatar 1 - 現身 -	2016	個人蔵	ミクストメディア
145	Avatar 2 - 現身 -	2016	個人蔵	ミクストメディア
146	AD16 末 ～唐冠の兜～	2017	個人蔵	ミクストメディア
147	AD17 初 ～海洋生物の兜～	2017	個人蔵	ミクストメディア
148	Strawberry head and Black bottom	2019	個人蔵	ミクストメディア
149	POCKET	2017	個人蔵	ミクストメディア
150	TRANSMISSION ～ジャーマン・スペシャル～	2017	個人蔵	ミクストメディア
151	ARMOUR STYLE ～備前風～	2017	個人蔵	ミクストメディア
152	IRON ARMOUR ～雑賀風～	2018	個人蔵	ミクストメディア
153	Action Man 無形之弓	2016	個人蔵	ミクストメディア
154	Action Man 大地讃頌	2016	個人蔵	ミクストメディア
155	Action Man 太陽賛美	2016	個人蔵	ミクストメディア
156	Action Man 銅之身体	2016	個人蔵	ミクストメディア
157	Action Man 泰然自若 - 割胎 -	2016	個人蔵	ミクストメディア
158	HUMAN RACE	2018	個人蔵	ミクストメディア
159	DOG HOOD	2016	個人蔵	ミクストメディア
160	Un samourai vient	2012	個人蔵	ミクストメディア
161	Armoured Dream	2015	個人蔵	ミクストメディア
162	Little man sleeping	2019	個人蔵	ミクストメディア
163	Moon and Star	2011	個人蔵	ミクストメディア
164	ビッグホーン	2017	個人蔵	ミクストメディア
165	deep sleep	2016	個人蔵	ミクストメディア
166	STRIPE	2018	個人蔵	ミクストメディア

167	Clumsy heart	2018	個人蔵	ミクストメディア
168	black armour & Fronteer	2019	個人蔵	ミクストメディア
169	Tiger tail	2019	個人蔵	ミクストメディア
170	THE MET	2020	個人蔵	ミクストメディア
171	Grand Helm & Cheap Japanese	2019	個人蔵	ミクストメディア
172	ONE' S SOME LIE	2019	個人蔵	ミクストメディア
173	BIAS	2019	個人蔵	ミクストメディア
174	WOODEN HORSE	2020	個人蔵	ミクストメディア
175	PRISM	2019	個人蔵	アクリル・ボード
176	Mask -The iron-	2019	個人蔵	アクリル・ボード
177	Mask -The red-	2019	個人蔵	アクリル・ボード
178	Mask	2020	個人蔵	アクリル・ボード
179	knave of heart	2020	個人蔵	アクリル・ボード
180	Convex mirror 凸面鏡の画像	2020	個人蔵	アクリル・ボード

## (5) 講演会等

### ■講演会「野口哲哉、自作を語る」Vol.1

講師：野口哲哉

日時：4月17日(土) 14：00～15：30

会場：山口県立山口図書館

定員：50名

### ■講演会「野口哲哉、自作を語る」Vol.2

講師：野口哲哉

日時：5月16日(土) 14：00～15：30

会場：山口県立山口図書館

定員：50名

※「野口哲哉、自作を語る」Vol.2は新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、中止となった。

# 小村雪岱スタイル 江戸の粋から東京モダンへ SETTAI STYLE—From Edo Chic to Tokyo Modern

会 期 令和3年(2021年)7月8日(木)～8月29日(日) ※月曜休館、ただし8月2日・9日は開館  
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月25日(水)で閉幕。

主 催 山口県立美術館、朝日新聞社、yab山口朝日放送

協 力 清水三年坂美術館

監 修 山下裕二(明治学院大学教授)

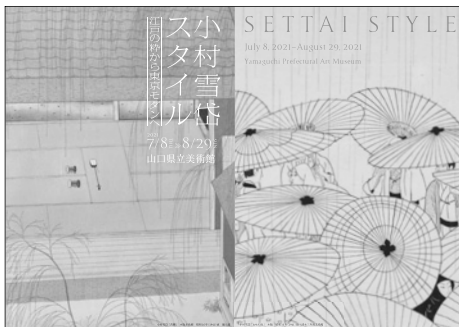
企画協力 広瀬麻美(浅野研究所)

後 援 山口県教育委員会、山口市、山口市教育委員会、一般社団法人山口県観光連盟、山口商工会議所、一  
般財団法人山口観光コンベンション協会、湯田温泉旅館協同組合

特別協力 エフエム山口

特別後援 資生堂ジャパン株式会社

特別協賛 西京銀行



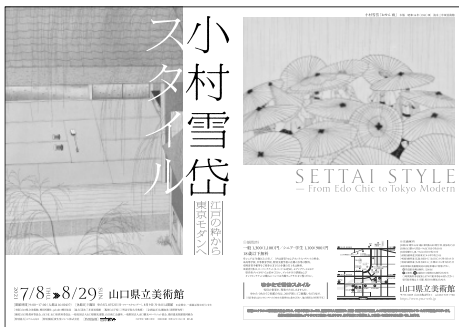
プレチラシ(A4二つ折り)表面(青柳&おせん雨)



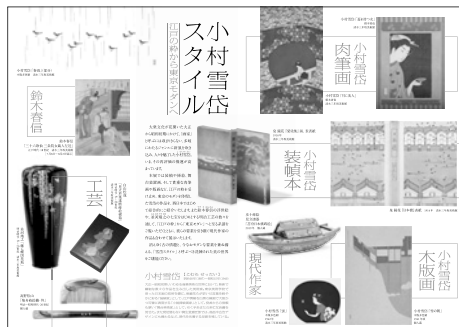
プレチラシ(A4二つ折り)表面(日本橋)



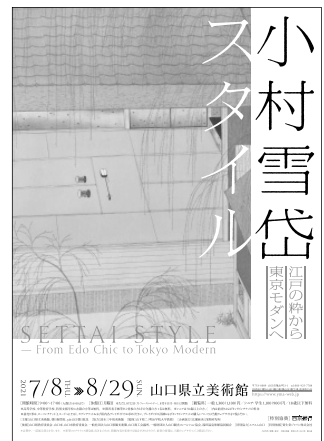
プレチラシ(A4二つ折り)中面(青柳&おせん雨)



チラシ(A3二つ折り)表面



チラシ中面



ポスター(B2)

## (1) 趣旨・概要

小村雪岱(1887-1940)は大正から昭和初期にかけて、装幀・挿絵・舞台美術家など、多彩なジャンルに新風を吹き込んだ人物である。東京美術学校の日本画科出身でありながら、画壇と交わることはほとんどなく、いわゆる商業美術の世界を活躍の場とした。多分野にわたり数多の仕事を手掛けたが、これまで既存のアカデミックな美術史上では等閑視され、また戦中戦後の混乱のなか、表舞台からは忘れられた存在であった。しかし没後50年を経て、随筆集の復刊や評伝の刊行、平成21(2009)年度の回顧展(埼玉県立近代美術館)などを契機に、再評価の機運が次第に高まっている。本展覧会は清水三年坂美術館(京都)のコレクションを中心として、雪岱の主要な仕事であった挿絵や装幀、舞台



会場風景1



会場風景2



会場風景3

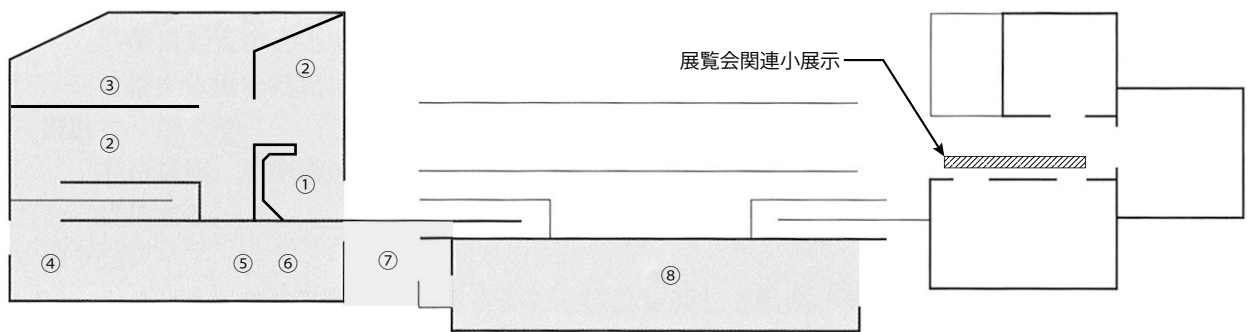
装置画をはじめ、数少なく貴重な肉筆画や版画作品を通して、その魅力を西日本ではじめて総合的に紹介するものとなった。また合わせて、繊細な技術を併せ持つ、並河靖之や柴田是真らをはじめとする明治・大正期の工芸、さらに雪岱スタイルに私淑する現代美術作家らの作品を交えながら、その美の系譜を複層的に紹介した。

会場は雪岱の作品に共通する、シンプルで洗練された世界観を味わえるように、落ち着いた雰囲気的空間構成を心がけた。また本展は巡回展ではあるが、山口会場独自の要素として、大正時代に資生堂のデザイン部に勤務していたエピソードをピックアップし、資生堂企業資料館の協力を得て、雪岱の商業美術家としての姿を具体的にイメージしやすいよう紹介した。また資生堂の歴代ポスターや香水瓶の小展示も同時開催し、雪岱が残した現代にも通じるイメージに広がりを持たせた。

なお本展会期は、山口県の「新型コロナウイルスデルタ株感染拡大集中対策」の一環における県有施設一斉閉館措置にともない、当初予定より4日短い8月25日をもって閉幕した。

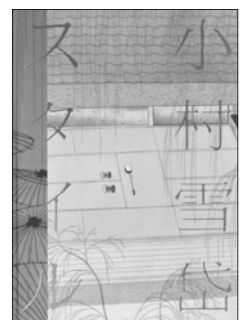
## (2) 会場構成

- ① プロローグ
- ② 小村雪岱 肉筆画・木版画
- ③ 小村雪岱 装幀本
- ④ 小村雪岱 習作・模写
- ⑤ 小村雪岱 挿絵原画
- ⑥ 小村雪岱 舞台装置原画
- ⑦ 小村雪岱と資生堂意匠部
- ⑧ 工芸



## (3) カタログ

- 編集 広瀬麻美(浅野研究所)  
 編集協力 岡本麻美(山口県立美術館)、小林祐子(三井記念美術館)、山口敦子(岐阜県現代陶芸美術館)  
 翻訳 パメラ・ミキ・アソシエイツ  
 デザイン 野村勝久、岡田一星(野村デザイン制作室)  
 発行 浅野研究所  
 印刷 サンニチ印刷  
 内容 004 あいさつ  
 006 小村雪岱——「商業美術家」の逆襲 山下裕二  
 017 図版  
 178 作品解説  
 214 小村雪岱略年譜  
 216 作品リスト  
 \* B5変形判(257×184mm)224ページ



カタログ表紙

## (4) 出品目録

no.	作品名	素材・技法	制作年等	所蔵
小村雪岱 肉筆画・木版画				
1-1	壺を持つ女	絹本着色		清水三年坂美術館蔵
1-2	赤とんぼ	絹本着色	昭和12年(1937)頃	清水三年坂美術館蔵
1-3	櫻	絹本着色	昭和9年(1934) (『オール讀物』昭和9年4月号 表紙絵)	清水三年坂美術館蔵
1-4	こぼれ松葉	絹本墨画		清水三年坂美術館蔵

1-5	月に美人	絹本着色		清水三年坂美術館蔵	
1-6	七夕	絹本着色	昭和15年(1940)	清水三年坂美術館蔵	
1-7	柳橋	絹本着色		清水三年坂美術館蔵	
1-8	梅	絹本着色		清水三年坂美術館蔵	
1-9	芒蜻蛉	紙本着色		個人蔵	
1-10	碧鳥	紙本着色	昭和8年(1933)頃	清水三年坂美術館蔵	
1-11	神域	絹本着色		清水三年坂美術館蔵	
1-12	朝陽紅梅	絹本着色		清水三年坂美術館蔵	
1-13	奴嵐	絹本着色		清水三年坂美術館蔵	
1-14	夜景	紙本着色		清水三年坂美術館蔵	
1-15	木場風景	紙本墨画	昭和12年(1937)頃	清水三年坂美術館蔵	
1-16	見立寒山拾得	絹本墨画		清水三年坂美術館蔵	
1-17	見立寒山拾得	木版多色刷	昭和17年(1942)	個人蔵	
1-18	おせん 縁側	木版	昭和16年(1941)頃	清水三年坂美術館蔵	
1-19	おせん 雨	木版	昭和16年(1941)頃	清水三年坂美術館蔵	
1-20	おせん 暮	木版	昭和16年(1941)頃	清水三年坂美術館蔵	
1-21	お傳地獄 傘	木版多色刷	昭和10年(1935)	清水三年坂美術館蔵	
1-22	お傳地獄 入墨	木版多色刷	昭和10年(1935)	清水三年坂美術館蔵	
1-23	A Beauty	木版多色刷	昭和10年(1935)	清水三年坂美術館蔵	
1-24	燈影	木版多色刷	昭和15年(1940)	清水三年坂美術館蔵	
1-25	深見草	木版多色刷	昭和17年(1942)	清水三年坂美術館蔵	
1-26	雪兎	木版多色刷	昭和17年(1942)	清水三年坂美術館蔵	
1-27	河岸	木版多色刷	昭和17年(1942)	清水三年坂美術館蔵	
1-28	夜雨	木版多色刷	昭和17年(1942)	清水三年坂美術館蔵	
1-29	月	木版多色刷	昭和18年(1943)	清水三年坂美術館蔵	
1-30	筑波	木版多色刷	昭和17年(1942)	清水三年坂美術館蔵	
1-31	春雨	木版多色刷	昭和18年(1943)	清水三年坂美術館蔵	
1-32	涼味	木版多色刷	昭和15年(1940)	清水三年坂美術館蔵	
1-33	螢	木版多色刷	昭和17年(1942)	清水三年坂美術館蔵	
1-34	こおろぎ	木版多色刷	昭和17年(1942)	清水三年坂美術館蔵	
1-35	春雨	木版多色刷		清水三年坂美術館蔵	
1-36	『小村雪俗画集』表紙絵「柳に梅花図帯」より	木版多色刷	昭和17年(1942)	清水三年坂美術館蔵	
1-37	青柳	木版多色刷	昭和16年(1941)頃	個人蔵	
1-38	落葉	木版多色刷	昭和16年(1941)頃	個人蔵	
1-39	雪の朝	木版多色刷	昭和16年(1941)頃	個人蔵	
1-40	写生 ヤマユリ	紙本着色		清水三年坂美術館蔵	
1-41	写生 ヨシ	紙本墨画	東京美術学校時代		
			明治37年(1904)～明治41年(1908)	清水三年坂美術館蔵	
1-42	写生 フトイ	紙本着色	東京美術学校時代		
			明治37年(1904)～明治41年(1908)	清水三年坂美術館蔵	
1-43	写生 法華寺十一面観音	紙本墨画		清水三年坂美術館蔵	
1-44	菅公幼少	紙本着色	明治37年(1904)	清水三年坂美術館蔵	
1-45	模写 松岡映丘「浦の島子」	紙本墨画淡彩、鉛筆		清水三年坂美術館蔵	
1-46	模写 光明皇后	紙本墨画淡彩、鉛筆		清水三年坂美術館蔵	
1-47	習作 三人尼僧	絹本墨画		清水三年坂美術館蔵	
1-48	舞鶴	絹本着色		清水三年坂美術館蔵	
1-49	模写 源氏物語絵巻 宿木二	紙本墨画		清水三年坂美術館蔵	
1-50	模写 稚児大師像	紙本墨画		清水三年坂美術館蔵	
1-51	模写 法隆寺金堂壁画 (三号壁画 観音菩薩)	紙本墨画		清水三年坂美術館蔵	
1-52	模写 法隆寺金堂壁画 (三号壁画 観音菩薩)	紙本墨画		清水三年坂美術館蔵	
1-53	雛	絹本着色	大正15年(1926)頃	清水三年坂美術館蔵	
小村雪岱 装幀本					
1-54	泉 鏡花『日本橋』 装幀:小村雪岱	冊子	大正3年(1914) 千章館	清水三年坂美術館蔵	
1-55	泉 鏡花『鏡花選集』 装幀:小村雪岱	冊子	大正4年(1915) 春陽堂	清水三年坂美術館蔵	
1-56	泉 鏡花『遊里集』 装幀:小村雪岱	冊子	大正4年(1915) 春陽堂	清水三年坂美術館蔵	
1-57	泉 鏡花『愛染集』 装幀:小村雪岱	冊子	大正5年(1916) 千章館	清水三年坂美術館蔵	
1-58	泉 鏡花『由縁文庫』 装幀:小村雪岱	冊子	大正5年(1916) 春陽堂	清水三年坂美術館蔵	
1-59	泉 鏡花『鏡花及紙』 装幀:小村雪岱	冊子	大正5年(1916) 春陽堂	清水三年坂美術館蔵	
1-60	泉 鏡花『粧蝶集』 装幀:小村雪岱	冊子	大正6年(1917) 春陽堂	清水三年坂美術館蔵	
1-61	泉 鏡花『彌生帖』 装幀:小村雪岱	冊子	大正6年(1917) 平和出版社	個人蔵	
1-62	泉 鏡花『鷺鴛帳』 装幀:小村雪岱	冊子	大正7年(1918) 止善堂	清水三年坂美術館蔵	
1-63	泉 鏡花『愛艸集』 装幀:小村雪岱	冊子	大正7年(1918) 春陽堂	個人蔵	
1-64	泉 鏡花『友染集』 装幀:小村雪岱	冊子	大正8年(1919) 春陽堂	清水三年坂美術館蔵	
1-65	泉 鏡花『雨談集』 装幀:小村雪岱	冊子	大正8年(1919) 春陽堂	清水三年坂美術館蔵	
1-66	泉 鏡花『銀燭集』 装幀:小村雪岱	冊子	大正9年(1920) 春陽堂	清水三年坂美術館蔵	



1-67	泉鏡花『蜻蛉集』	装幀：小村雪岱	冊子	大正10年(1921)	國文堂書店	清水三年坂美術館蔵
1-68	泉鏡花『ゆかりのおんな 柳笛集』	装幀：小村雪岱	冊子	大正10年(1921)	春陽堂	清水三年坂美術館蔵
1-69	泉鏡花『新柳集』	装幀：小村雪岱	冊子	大正11年(1922)	春陽堂	清水三年坂美術館蔵
1-70	泉鏡花『龍蜂集』	装幀：小村雪岱	冊子	大正12年(1923)	春陽堂	清水三年坂美術館蔵
1-71	泉鏡花『斧琴菊』	装幀：小村雪岱	冊子	昭和9年(1934)	昭和書房	個人蔵
1-72	新小説臨時増刊 天才泉鏡花	装幀：小村雪岱	冊子	大正14年(1925)	春陽堂	個人蔵
1-73	小村雪岱 新小説臨時増刊 天才泉鏡花 表紙案		紙本着色	大正14年(1925)		清水三年坂美術館蔵
1-74	長田幹彦『祇園夜話』	装幀：小村雪岱	冊子	大正4年(1915)	千章館	清水三年坂美術館蔵
1-75	久保田万太郎『下町情話』	装幀：小村雪岱	冊子	大正4年(1915)	千章館	清水三年坂美術館蔵
1-76	谷崎潤一郎『近代情痴集』	装幀：小村雪岱	冊子	大正8年(1919)	新潮社	清水三年坂美術館蔵
1-77	尾崎久彌『探房綺言』	装幀：小村雪岱	冊子	昭和2年(1927)	春陽堂	清水三年坂美術館蔵
1-78	真山青果『盲魚』	装幀：小村雪岱	冊子	昭和3年(1928)	改造社	清水三年坂美術館蔵
1-79	三田村鳶魚『大衆文藝評判記』	装幀：小村雪岱	冊子	昭和8年(1933)	再版装幀 汎文社	清水三年坂美術館蔵
1-80	邦枝完二『繪入草紙 おせん』	装幀：小村雪岱	冊子	昭和9年(1934)	新小説社	清水三年坂美術館蔵
1-81	鏑木清方『銀砂子』	装幀：小村雪岱	冊子	昭和9年(1934)	岡倉書房	清水三年坂美術館蔵
1-82	邦枝完二『お傳情史』	装幀：小村雪岱	冊子	昭和11年(1936)	新日本社	清水三年坂美術館蔵
1-83	長谷川 伸『段七しぐれ』	装幀：小村雪岱	冊子	昭和18年(1933)	新小説社	清水三年坂美術館蔵

小村雪岱 挿絵原画

里見 弴『闇に開く窓』	挿絵：小村雪岱	昭和4年(1929)9月7日～12月30日「大阪朝日新聞」	連載			
1-84	第45回 日向室(3)		紙本墨画			個人蔵
1-85	第70回 手提鞆(8)		紙本墨画			個人蔵
1-86	第82回 早春(10)		紙本墨画			個人蔵
吉川英治『遊戯菩薩』	挿絵：小村雪岱	昭和10年(1935)6月2日号～9月29日号「サンデー毎日」	連載			
1-87	第1回	昭和10年(1935)6月2日掲載	紙本墨画			清水三年坂美術館蔵
1-88	第3回	昭和10年(1935)6月16日掲載	紙本墨画			個人蔵
1-89	第5回	昭和10年(1935)6月30日掲載	紙本墨画			清水三年坂美術館蔵
1-90	第7回	昭和10年(1935)7月14日掲載	紙本墨画			清水三年坂美術館蔵
1-91	第9回	昭和10年(1935)7月28日掲載	紙本墨画			清水三年坂美術館蔵
1-92	第10回	昭和10年(1935)8月4日掲載	紙本墨画			清水三年坂美術館蔵
1-93	第12回	昭和10年(1935)8月18日掲載	紙本墨画			清水三年坂美術館蔵
1-94	第16回	昭和10年(1935)9月15日掲載	紙本墨画			清水三年坂美術館蔵
1-95	第16回	昭和10年(1935)9月15日掲載	紙本墨画			個人蔵
矢田挿雲『忠臣蔵』	挿絵：小村雪岱	昭和10年(1935)10月12日～昭和15年(1940)6月5日「報知新聞」	連載			
1-96	第17回 素行と赤穂(17)	昭和10年(1935)11月2日掲載	紙本墨画			清水三年坂美術館蔵
1-97	第34回 素行と赤穂(34)	昭和10年(1935)11月22日掲載	紙本墨画			清水三年坂美術館蔵
1-98	第73回 素行と赤穂(73)	昭和11年(1936)1月15日掲載	紙本墨画			個人蔵
1-99	第146回 素行と赤穂(146)	昭和11年(1936)4月28日掲載	紙本墨画			清水三年坂美術館蔵
1-100	第156回 素行と赤穂(156)	昭和11年(1936)5月19日掲載	紙本墨画			清水三年坂美術館蔵
1-102	第186回 若き主従(7)	昭和11年(1936)6月28日掲載	紙本墨画淡彩			清水三年坂美術館蔵
1-103	第588回 山科(194)	昭和12年(1937)11月5日掲載	紙本墨画			清水三年坂美術館蔵
1-104	第679回 出府前後(29)	昭和13年(1938)2月27日掲載	紙本墨画			清水三年坂美術館蔵
1-105	第736回 出府前後(86)	昭和13年(1938)5月5日掲載	紙本墨画			清水三年坂美術館蔵
1-106	第833回 偵察(144)	昭和13年(1938)10月26日掲載	紙本墨画淡彩			個人蔵
1-107	第901回 偵察(162)	昭和13年(1938)11月16日掲載	紙本墨画			清水三年坂美術館蔵
1-108	第904回 偵察(165)	昭和13年(1938)11月19日掲載	紙本墨画			清水三年坂美術館蔵
土師清二『旗本伝法』	挿絵：小村雪岱	昭和12年(1937)1月23日～9月19日「東京日日新聞」	連載			
1-109	画帖1		紙本墨画			清水三年坂美術館蔵
1-110	画帖2		紙本墨画			清水三年坂美術館蔵
1-111	白井喬二『悪華落人』		紙本墨画	昭和7年(1932)「婦人公論」	12号掲載	清水三年坂美術館蔵
	佐藤春夫再述『雨月物語 蛇性の姪』	挿絵：小村雪岱		昭和9年(1934)		
	『婦人公論』	第229号		昭和9年9月号掲載		
1-112	丸山 薫『大島の娘』	挿絵：小村雪岱	紙本墨画			清水三年坂美術館蔵
小村雪岱 舞台装置原画						
1-113	劇名、上映時期、上映場所不明 舞台装置原画：小村雪岱		紙本着色			清水三年坂美術館蔵
1-114	永井荷風『すみだ川』	舞台装置原画：小村雪岱	紙本着色	昭和3年(1928)上演	本郷座	個人蔵
中里介山『大菩薩峠』	舞台装置原画：小村雪岱	昭和5年(1930)9月上演	歌舞伎座			
1-115	四幕の一 嶋原口		紙本着色			清水三年坂美術館蔵
1-116	四幕の二 御簾の間		紙本着色			清水三年坂美術館蔵
1-117	四幕の二		紙本着色			清水三年坂美術館蔵
1-118	坪内逍遙『桐一葉』	舞台装置原画：小村雪岱		昭和10年(1935)11月上演	歌舞伎座	清水三年坂美術館蔵
川口松太郎『風流深川唄』	舞台装置原画：小村雪岱	昭和11年(1936)10月上演	東京劇場			
1-119	序幕 深川亭二階屋敷 秋の夜		紙本着色			清水三年坂美術館蔵
1-120	序幕の一、三 深川亭料理場 夏の夜		紙本着色			清水三年坂美術館蔵
1-121	第二幕の一、第三幕の二 文字方の住居		紙本着色			清水三年坂美術館蔵
1-122	第二幕の二 永代河岸		紙本着色			清水三年坂美術館蔵

川口松太郎『お江戸みやげ』 舞台装置原画：小村雪岱 上演時期、上演場所不明

1-123	湯島天神境内 茶屋	紙本着色		清水三年坂美術館蔵
1-124	芝居茶屋 夜	紙本着色		清水三年坂美術館蔵

鏡木清方

1-125	「鏡の権三重帷子」のおさみ	木版多色刷	大正12年(1923)	清水三年坂美術館蔵
1-126	泉 鏡花『田毎かゝみ』 装幀、口絵：鏡木清方	冊子	明治36年(1903) 春陽堂	個人蔵
1-127	泉 鏡花『薄紅梅』 装幀：小村雪岱、口絵：鏡木清方	冊子	昭和14年(1939) 中央公論社	個人蔵

鈴木春信

1-128	お仙の羽根つき	中判錦絵	江戸時代中期・18世紀	清水三年坂美術館蔵
1-129	京都ざおん二軒茶屋出見世永楽庵	中判錦絵	江戸時代中期・18世紀	清水三年坂美術館蔵
1-130	小鼓を打つ男	中判錦絵	江戸時代中期・18世紀	清水三年坂美術館蔵
1-131	夜更け	中判錦絵	江戸時代中期・18世紀	清水三年坂美術館蔵
1-132	機織り	中判錦絵	江戸時代中期・18世紀	清水三年坂美術館蔵
1-133	浮世七福神 福祿寿	中判錦絵	江戸時代中期・18世紀	清水三年坂美術館蔵
1-134	見立七小町 清水小町	中判錦絵	江戸時代中期・18世紀	清水三年坂美術館蔵
1-135	文読む男女(見立忠臣蔵)	中判錦絵	江戸時代中期・18世紀	清水三年坂美術館蔵
1-136	風流座敷八景 手拭掛掃帆	中判錦絵	江戸時代中期・18世紀	清水三年坂美術館蔵
1-137	和漢朗詠集 牧童	中判錦絵	江戸時代中期・18世紀	清水三年坂美術館蔵
1-138	三十六歌仙 三条院女蔵人左近	中判錦絵	江戸時代中期・18世紀	清水三年坂美術館蔵
1-139	三十六歌仙 清原元輔	中判錦絵	江戸時代中期・18世紀	清水三年坂美術館蔵
1-140	百人一首 陽成院	中判錦絵	江戸時代中期・18世紀	清水三年坂美術館蔵

工芸

2-1	原 羊遊齋 紫陽花黒蒔絵大棗	漆工	江戸時代・19世紀	個人蔵
2-2	柴田是真 蓮に鶯蒔絵残菜入	漆工	江戸～明治時代・19世紀	個人蔵
2-3	柴田是真 荷葉蒔絵香合	漆工	江戸～明治時代・19世紀	清水三年坂美術館蔵
2-4	柴田令哉、梅澤隆真、絵替蒔絵組盃	漆工	江戸～明治時代・19世紀	清水三年坂美術館蔵
	池田泉哉、都築幸哉、市川泰山			
2-5	池田泰真 花鳥蒔絵重香箱	漆工	江戸～明治時代・19～20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-6	池田泰真 春秋草花蒔絵飾棚	漆工	江戸～明治時代・19～20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-7	白山松哉 羽根蒔絵茶器	漆工	明治～大正時代・19～20世紀	個人蔵
2-8	白山松哉 見立芦葉達磨蒔絵硯箱	漆工	明治時代・19～20世紀	清水三年坂美術館蔵
	水滴：海野勝珉			
2-9	春井恒眠 芦に蛸蒔絵雪吹	漆工	明治～大正時代・19～20世紀	個人蔵
2-10	赤塚自得 松鶴蒔絵文台硯箱	漆工	明治～大正時代・19～20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-11	草花蒔絵文庫	漆工	明治～大正時代・19～20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-12	赤塚自得 夜桜黒蒔絵茶器	漆工	大正12年(1923)	個人蔵
	下地：内田宗寛			
2-13	草花蒔絵文机	漆工	明治～大正時代・19～20世紀	個人蔵
2-14	林 小伝治 梅に鶯囀香合	七宝	明治時代・19～20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-15	並河靖之 菊に雀囀花瓶	七宝	明治時代・19～20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-16	並河靖之 藤に蝶囀花瓶	七宝	明治時代・19～20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-17	壽川惣助 桜花囀花瓶	七宝	明治時代・19～20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-18	壽川惣助 菖蒲囀花瓶	七宝	明治時代・19～20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-19	正阿弥勝義 鉄鉢式菓子器	金工	明治時代・19～20世紀	個人蔵
2-20	香川勝廣 鸞囀花瓶	金工	明治～大正時代・19～20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-21	安藤緑山 母牙彫帯留	牙彫	大正～昭和時代・20世紀	三井記念美術館
2-22	高木芳真 桜桃牙彫置物	牙彫	大正～昭和時代・20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-23	銘「一秋」 朽木に蟹彫嵌煙管筒	彫嵌	明治～大正時代・20世紀	個人蔵
2-24	伊藤鉄石 竹籠彫花入	木彫	明治～大正時代・20世紀	個人蔵
2-25	上野玉水 群雀木彫置物	木彫	明治～昭和時代・20世紀	個人蔵
2-26	柳鶯囀刺繍屏風	刺繍	明治～大正時代・20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-27	花兎文煙管	金工	明治～大正時代・19～20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-28	竹に朝顔囀煙管	金工	明治～大正時代・19～20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-29	櫛：銘「是真」 四君子蒔絵櫛・筭	漆工	江戸～明治時代・19世紀	個人蔵
	筭：銘「はし一」			
2-30	銘「はし一」 葛蒔絵螺鈿櫛・筭	漆工	明治～大正時代・20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-31	銘「一秋」 蘭彫嵌櫛	彫嵌	明治～大正時代・20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-32	銘「松山(印形)」 柴舟蒔絵櫛・筭	漆工	明治～昭和時代・20世紀	個人蔵
2-33	銘「松哉」 羽根蒔絵櫛・筭	漆工	明治時代・19世紀～20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-34	草花小禽牙彫櫛・筭	牙彫	明治～大正時代・20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-35	銘「一哉」 波千鳥蒔絵櫛・筭	漆工	明治～大正時代・20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-36	菊唐草龜甲櫛	龜甲	大正～昭和時代・20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-37	紅葉塗櫛	漆工	明治～大正時代・20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-38	銘「月耕」 団扇に回り灯籠蒔絵櫛	漆工	明治～大正時代・20世紀	清水三年坂美術館蔵

2-39	銘「松演」	花寄蒔絵櫛・笄	漆工	明治～大正時代・20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-40	銘「泰真」	草花蒔絵櫛・笄	漆工	江戸～明治時代・19～20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-41	銘「一秋」	秋草彫嵌櫛	漆工	明治～大正時代・20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-42	銘「永政」	葛編蝠蒔絵簪	漆工	江戸～明治時代・19世紀	清水三年坂美術館蔵
2-43	銘「秀鏡」	秋草図簪	金工	明治～大正時代・19～20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-44	銘「貞義」	蓮に蟹文煙管	金工	江戸～明治時代・19世紀	清水三年坂美術館蔵
2-45		梅樹文簪	金工	江戸～明治時代・19世紀	清水三年坂美術館蔵
2-46		兎に木賊文簪	金工	江戸～明治時代・19世紀	清水三年坂美術館蔵
2-47		月に時鳥文簪	金工	江戸～明治時代・19世紀	清水三年坂美術館蔵
2-48	銘「是真」	竹に雀蒔絵鞘印籠	漆工	明治～大正時代・20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-49		秋草に虫図帯留	金工	江戸～明治時代・19世紀	清水三年坂美術館蔵
2-50	銘「なつを」	蝶図帯留	金工	江戸～明治時代・19世紀	清水三年坂美術館蔵
2-51		百合に鈴蘭文帯留	牙彫	明治～昭和時代・20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-52		草花文帯留	牙彫	明治～昭和時代・20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-53	銘「政近」	梅花文帯留	金工	明治～昭和時代・20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-54	銘「春水」	牡丹文帯留	牙彫	明治～昭和時代・20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-55	銘「寛民」	鬼灯文帯留	牙彫	明治～昭和時代・20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-56	銘「勝風」	花寄帯留	金工	明治～大正時代・20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-57	銘「藻己」	茄子文帯留	漆工	明治～大正時代・20世紀	清水三年坂美術館蔵
2-58	松本 涼	枯山百合	楠	2019年	個人蔵
2-59	松本 涼	枯薔薇	楠	2019年	個人蔵
2-60	松本 涼	折鶴	楠	2019年	個人蔵
2-61	本田聖流	輪廻	竹	2019年	個人蔵
2-62	本田聖流	プロミネンス	竹	2019年	個人蔵
2-63	彦十蒔絵	平卓 波紋	木材、天然漆、銀、 和光銀、螺鈿、炭粉	2019年	個人蔵
2-64	彫刻：小黒アリス 漆芸：彦十蒔絵	見立漆器「鉄」	檜、天然漆、和光銀、2019年 乾漆粉		個人蔵
2-65	彦十蒔絵	見立漆器「苦舟日本橋蒔絵」	朴の木、天然漆、金、2019年 螺鈿		個人蔵
2-66	彦十蒔絵	鉄瓶 鉄錆塗	ケヤキ、朴の木、 天然漆、和光銀、 螺鈿、炭粉、銅線	2015～2019年	個人蔵
2-67	白井良平	目薬と手鏡	ガラス	2019年	個人蔵

## (5) 講演会等

### ■ゆかたで雪岱スタイル

ゆかた・きものでの来館者は、入館料200円引き

### ■有料配信オンライン講座

「NIKKEI ART ACADEMIA 日本美術応援団オンライン講座 小村雪岱「江戸の粋から東京モダンへ」」

講師：山下裕二

ゲスト：壇蜜

日時：7月15日(木)より配信(本編約40分)

会場：オンライン配信(500円)

視聴期間：購入後30日間(期間内は何度でも視聴可能)

tysテレビ山口開局50周年記念

# ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展

会 期 令和3年(2021年)9月18日(土)～11月7日(日)  
※月曜休館、ただし9月20日、10月4日、11月1日は開館  
※新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い、9月18日～26日まで臨時休館

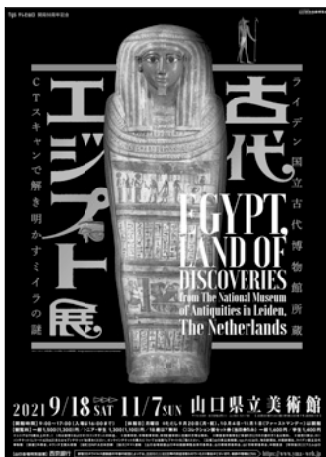
主 催 山口県立美術館、tysテレビ山口、毎日新聞社、中国新聞社、ライデン国立古代博物館

後 援 外務省、オランダ王国大使館

協 賛 DNP大日本印刷

協 力 ヤマト運輸

山口会場後援 山口ゆめ回廊博覧会実行委員会、山口県教育委員会、山口市教育委員会、中国放送



ポスター(B2)



チラシ(A3二つ折)表面



チラシ(中面)



棺型二つ折りDM 表・裏面



棺型二つ折りDM 中面

## (1) 趣旨・概要

オランダのライデン国立古代博物館は、世界で最も古い国立博物館の一つである。古代エジプト、ギリシャ、ローマの美術品など総数約20万点(2018年現在)のコレクションのうち、エジプト・コレクションは約2万5千点にのぼり、ヨーロッパでは大英博物館、ルーブル美術館、ベルリン・エジプト博物館、トリノ・エジプト博物館とあわせて5大エジプト・コレクションに数えられる。本展では、同館の所蔵品から、人や動物のミイラ、棺をはじめ、パピルス、石碑、宝飾品など約250点を展示し、ヨーロッパにおける「エジプト学」の歴史的な変遷を辿るとともに、古代エジプト人の生活や社会、死生観といった様々な文明の側面を紹介した。さらに、国際的な研究機関でもあるライデン国立古代博物館の最新の研究成果を世界初公開し、先端技術を活用した考古学の現在と、その未来の可能性を提示した。

本展は巡回展であり、章立ておよび展示品の並びについては、すでに定められたものに基本的には準拠する必要があった。しかし、当館での展示効果という観点から、本展監修者の中野智章中部大学教授と協議を重ね、最終的に章立てと展示品の並び順を変更して当館独自の構成とした。



会場風景1



会場風景2



会場風景3



会場風景4



会場風景5

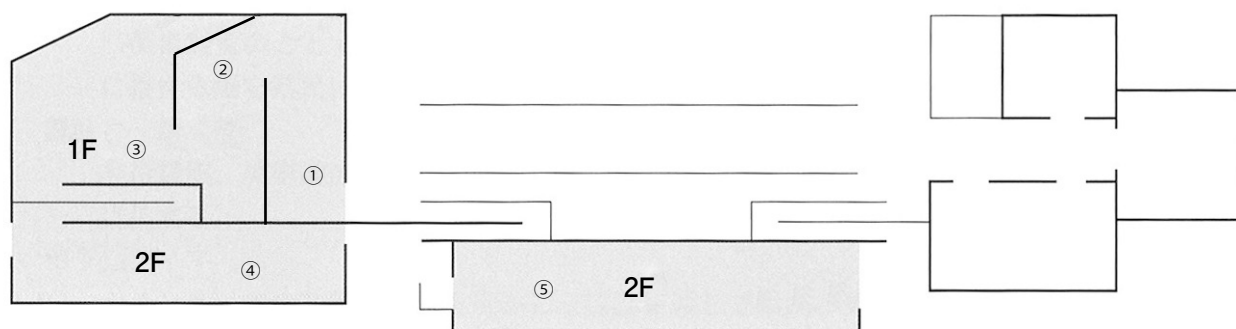


会場風景6

新型コロナウイルス感染症関連の事案としては、クーリエが来日できなかったため、作品点検をリモートで行った。また、夏季の流行拡大に伴って開幕が遅れた他、通常の感染症対策に加えて、館内の過度な混雑を避けるため、入館整理券(当日配布)によって一日あたりの入館者数に制限を設けた。会期後半には新型コロナウイルス感染症の流行も落ち着き、古代エジプトの文物を興味深そうに見つめる多くの来場者の姿が見られた。

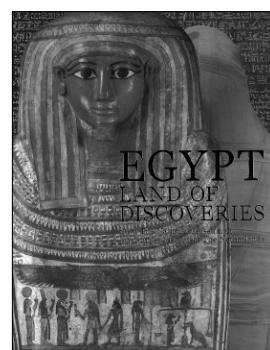
## (2) 会場構成

- ① 序章
- ② 第1章 エジプトを探検する
- ③ 第2章 エジプトを解説する
- ④ 第3章 エジプトを発見する
- ⑤ 第4章 エジプトをスキャンする



## (3) カタログ

- 監修 中野智章(中部大学教授)
- 編集 愛知県美術館、静岡市美術館、Bunkamura ザ・ミュージアム、仙台市博物館、山口県立美術館、兵庫県立美術館、東京新聞、中日新聞社、フジテレビジョン
- 執筆 中野智章、ララ・ヴァイス(ライデン国立古代博物館)、ダニエル・ソーリマン(ライデン国立古代博物館)、ペトラ・ホーゲンブーム(ライデン国立古代博物館)、ハネケ・キク(ライデン国立古代博物館)
- 翻訳 中野智章
- デザイン 桑畑吉伸
- 制作 リーヴル
- 発行 東京新聞、中日新聞社、フジテレビジョン
- 内容
- 12 ごあいさつ
  - 14 メッセージ
  - 16 謝辞
  - 20 ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展の位置づけと見どころ  
中野智章
  - 27 ライデン国立古代博物館による調査と発掘  
ララ・ヴァイス、ダニエル・ソーリマン、ペトラ・ホーゲンブーム
  - 34 第1章 エジプトを探検する



カタログ表紙

49	コラム	ライデン国立古代博物館によるサッカラ遺跡の発掘
58	第II章	エジプトを発見する
92	第III章	エジプトを解説する
119	コラム	ライデン国立古代博物館のシャブティ・コレクション—ハンス・シュナイダー氏による研究
148	第IV章	エジプトをスキャンする
160	コラム	ライデン国立古代博物館のミイラ研究と今回のスキャン結果
182	ヴァチカン・プロジェクトとライデンの木棺研究	
184	古代エジプト美術をよりよく理解するために	
186	古代エジプト史年表	
190	古代エジプト関連地図	
192	エジプトの神々	
197	List of Works	
* A4変形判(227×290mm) 216ページ		

#### (4) 出品目録

no.	資料名	年代	出土地/制作地	材質
序章				
144	アメンヘテプのミイラ覆い	第3中間期、第21王朝(前1076-944年頃)	テーベ	木
47	呪術テキストが記された彫像の断片	後期王朝時代、第26王朝(前664-525年頃)	エジプト	玄武岩
26	王の書記パウティのピラミディオン	新王国時代、第19王朝、セティ1世の治世(前1290-1279年頃)	サッカラ	石灰岩
75	猫の像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
108	羊頭の付いた首飾り	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	金、紅玉髓、施釉硬石、アメジスト、茶色の不透明な石
109	多くのスカラベが付いた首飾り	年代不詳	エジプト	ファイアンス、紅玉髓、瑪瑙、ガラス、金
113	胸飾り	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	木、亜麻布、ガラス、木に金彩
1	アプシールのピラミッド複合体模型	2001年	オランダ	厚紙、木
229	パセルの神話バビルス	第3中間期、第21王朝(前1076-944年頃)	テーベ	バビルス
第1章 エジプトを探検する				
2	ギザの大スフィンクス(『コレネリス・ドゥ・ブラウンの旅』より)	1698年		
3	ルクソール神殿(『エジプト誌』第3巻より)	1809-22年		
4	ヒエログリフの表(『エジプト誌』第5巻より)	1809-22年		
5	ロゼッタ・ストーン(レプリカ)	1972年	ロンドン	合成樹脂
6	敵を討つラメセス2世(『エジプトとスビアの記念物』第1巻より)	1832-34年		リトグラフ
7	外国から連れてこられた動物(『エジプトとスビアの記念物』第2巻より)	1832-34年		リトグラフ
8	テーベの貴族墓に描かれた文様(『エジプトとスビアの記念物』第2巻より)	1832-34年		リトグラフ
9	ツタンカーメン王の倚像	新王国時代、第18王朝、前1330年頃	テーベ	花崗閃緑岩
10	円筒形壺	初期王朝時代、第1王朝(前2900-2730年頃)	アブー・ラワシュ	方解石(アラバスター)
11	壺	初期王朝時代、第1王朝(前2900-2730年頃)	アブー・ラワシュ	方解石(アラバスター)
12	皿	初期王朝時代、第1王朝(前2900-2730年頃)	アブー・ラワシュ	片岩
13	ミニチュア円筒形壺	古王国時代、第4王朝(前2543-2436年頃)	アブー・ラワシュ	方解石(アラバスター)
14	壺	後期メロエ時代(2-4世紀)	ショカン	土器
15	瓶	後期メロエ時代(2-4世紀)	ショカン	土器
16	オイル・ランプの断片	後期メロエ時代(2-4世紀)	ショカン	土器
17	アブダッラー・ニルキ教会の模型	1982-83年	オランダ	木、ポリスチレン
18	高台付壺	古スビア時代(8-15世紀頃)	アブダッラー・ニルキ教会	土器
19	コプト十字架の断片	古スビア時代(8-15世紀頃)	アブダッラー・ニルキ教会	青銅
20	マヤとメリトの墓の模型	1997年	オランダ	厚紙、木
21	ホルミンの供養像	新王国時代、第19王朝、セティ1世からラメセス2世の治世(前1290-1213年頃)	サッカラ	石灰岩
22	アメンヘテプ・フィの方形座像	新王国時代、第19王朝、ラメセス2世の治世(前1279-1213年頃)	サッカラ	石灰岩
23	イウイウの供養像	新王国時代、第18王朝(前1539-1292年頃)	サッカラ	方解石
25	アメンヘテプ・フィのピラミディオン	新王国時代、第18王朝、アメンヘテプ3世の治世(前1390-1353年頃)	サッカラ	花崗岩
27	バカルの石碑	新王国時代、第18王朝、ツタンカーメンからアイの治世(前1332-1320年頃)	サッカラ	石灰岩
28	バゲルゲルのナオス形石碑	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	サッカラ	石灰岩
29	バゲルゲルのナオス形石碑	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	サッカラ	石灰岩
30	バゲルゲルのナオス形石碑	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	サッカラ	石灰岩
31	バゲルゲルのナオス形石碑	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	サッカラ	石灰岩
32	サッカラの将軍ホルエムヘブの墓から出土したレリーフ(レプリカ)	20世紀	オランダ	石膏、銅鉄
33	将軍ホルエムヘブの供養像	新王国時代、第18王朝、ツタンカーメンの治世(前1332-1324年頃)	サッカラ	石灰岩
第2章 エジプトを解説する				

84	ネスナクトの『死者の書』	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	エジプト	バビルス
85	ネスナクトの『死者の書』	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	エジプト	バビルス
86	ネスナクトの『死者の書』	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	エジプト	バビルス
87	ネスナクトの『死者の書』	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	エジプト	バビルス
88	アセトウエレットの『死者の書』	後期王朝時代、第30王朝(前380-343年頃)	テーベ	バビルス
89	心臓スカラベ	後期王朝時代、第26王朝(前664-525年頃)	エジプト	灰色/緑色の石
90	心臓スカラベ	年代不詳	エジプト	緑石
91	パァ	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	木
92	パァ	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	木
93	パァのついたタァとチャイのシャブティ	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	サッカラ(?)	片岩
94	供物卓	中王国時代(前1980-1760年頃)	アビドス	石灰岩
95	セベクテンの石碑	中王国時代(前1980-1760年頃)	アビドス	赤色砂岩
96	黄金の顔を持つパヘルベンエスの像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	石灰岩
97	睡蓮の花を持つ女性像	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	エジプト	石灰岩、金箔
98	家族の群像	新王国時代、第18王朝、アメンヘテプ2世の治世(前1425-1400年頃)	エジプト	砂岩
99	イルナクトアメンとワウイの像	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	エジプト	砂岩
100	黄金の耳飾り	新王国時代、第18王朝(前1539-1292年頃)以降	エジプト	金
101	黄金の耳飾り	新王国時代、第18王朝(前1539-1292年頃)以降	エジプト	金
102	黄金の耳飾り	新王国時代、第18王朝(前1539-1292年頃)以降	エジプト	金
103	黄金の耳飾り	新王国時代、第18王朝(前1539-1292年頃)以降	エジプト	金
104	雄牛の耳飾り	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	エジプト	金、ガーネット、エメラルド
105	護符とビーズの首飾り	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	金、トルコ石、紅玉髓、瑪瑙
106	ホルスの眼が付いた首飾り	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	金、紅玉髓、ガラス
107	護符のついた首飾り	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	ファイアンス
110	さまざまな色のガラス製ビーズが付いた首飾り	年代不詳	エジプト	ファイアンス、紅玉髓、ラピスラズリ、金、ガラス
111	大型金製ビーズのついた首飾り	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	金、ガラス、ファイアンス
112	花形のペンダントが付いた首飾り	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	金、ファイアンス
114	醸造所の模型	中王国時代(前1980-1760年頃)	エジプト	木
115	船の模型	中王国時代、第11王朝(前2009-1940年頃)	エジプト	木
116	楕円形のバスケット	新王国時代、第18王朝(前1539-1292年頃)	エジプト	葦
117	杯	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	ファイアンス
118	隼のついた鏡	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	青銅
119	野生ヤギの把手付アンフォラ	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	方解石
120	シチュラ	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	方解石
121	タツア	新王国時代、第18王朝から第19王朝、 アメンヘテプ2世からラメセス2世の治世(前1425-1213年頃)	エジプト	方解石
122	双把手付アンフォラ	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	方解石
123	双把手付多色ガラス壺	新王国時代、第18王朝、 アメンヘテプ3世からアクエンアテンの治世(前1390-1336年頃)	エジプト	ガラス
124	ヤシ柱形ガラス製瓶	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	ガラス
125	パァキのセネト・ゲーム箱	新王国時代、第18王朝から第19王朝(前1539-1191年頃)	エジプト	木
126	少女の形をした把手付軟膏スプーン	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	木
127	ハトホルの把手が付いた鏡	新王国時代(前1539-1077年頃)	テーベ(?)	青銅
128	木製の枕	新王国時代、第18王朝(前1539-1292年頃)	エジプト	木
129	オシリスの姿をしたホルのバビルス容器	後期王朝時代、第26王朝(前664-525年頃)	テーベ	木、亜麻布、穀物
130	イトホルルウのブタハ・ソカル・オシリス像	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	エジプト	木、金箔
131	ネヒのシャブティ	第2中間期(前1759-1539年頃)	アビドス(?)	石灰岩
132	プサムテクのシャブティ	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	ファイアンス
133	ホルウジャのシャブティ	後期王朝時代、第30王朝(前380-343年頃)	ハワラ	ファイアンス
134	タァのシャブティ	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	テーベ	石灰岩
135	ピアトのシャブティ	新王国時代、第18王朝後期(前1353-1292年頃)	エジプト	石灰岩
136	イビウの棺の模型	新王国時代、第18王朝から第19王朝(前1539-1191年頃)	テーベ(?)	木
137	イビウのシャブティ	新王国時代、第18王朝から第19王朝(前1539-1191年頃)	テーベ(?)	木
138	メリトアメンのシャブティ	第3中間期、第21王朝(前1076-944年頃)	ディーラ・エル=バハリ	ファイアンス
139	ネスパネフェルヘルのシャブティ	第3中間期、第21王朝(前1076-944年頃)	ディーラ・エル=バハリ	ファイアンス
140	メリのシャブティ	新王国時代、第18王朝、 アメンヘテプ3世の治世(前1390-1353年頃)	テーベ(?)	木
141	バハリベジェトのシャブティ	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	エジプト	木
142	コンスウヘテプのミイラ覆い	第3中間期、第20王朝から第21王朝(前1190-944年頃)	テーベ	木
143-1	コンスウヘテプの内棺	第3中間期、第20王朝から第21王朝(前1190-944年頃)	テーベ	木
143-2				
145-1	アメンヘテプの内棺	第3中間期、第21王朝(前1076-944年頃)	テーベ	木
145-2				
146-1	パネシウの外棺	第3中間期、第22王朝(前943-746年頃)	テーベ	木
146-2				

147	ネヘムスウのカルトナージュ棺	第3中間期、第22王朝(前943-746年頃)	テーベ	カルトナージュ
148-1	ホルの外棺	後期王朝時代、第25王朝(前722-655年頃)	テーベ	木
148-2				
149-1	ハイトエムハトの棺	後期王朝時代(前722-332年頃)	サッカラまたはエム・ヒバ(?)	木
149-2				
150	男のミイラの肖像	グレコ・ローマン時代、ローマ時代、1-2世紀	ファイユーム(?)	木
152	金彩のミイラマスク	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	エジプト	カルトナージュ、金箔
153	デンレグの葬祭コーン	新王国時代(前1539-1077年頃)	テーベ	テラコッタ
154	アバアの葬祭コーン	後期王朝時代、第26王朝(前664-610年頃)	テーベ	テラコッタ
155	メンケベルラーセネブの葬祭コーン	新王国時代、第18王朝、トメス3世の治世(前1479-1425年頃)	テーベ	テラコッタ
156	モンチュウエムハトの葬祭コーン	後期王朝時代、第25王朝から第26王朝(前722-525年頃)	テーベ	テラコッタ
157	ミイラ作りの道具	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
158	死者の内臓を納めた木箱	後期王朝時代、第30王朝(前380-343年頃)	エジプト	木
159	樹脂	前500-後300年	エジプト	樹脂
160	石製ナイフ	新王国時代もしくは後期王朝時代(?) (前1539-332年頃)	エジプト	フリント
161	ミイラの包帯	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	テーベ	亜麻布
162	ハレレムのミイラ	後期王朝時代、第25王朝から第26王朝(前722-525年頃)	テーベ	ミイラ、亜麻布、ファイアンス製ビーズ
163	護符のリストが記されたパピルス	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	サッカラ	パピルス
164	蛇形護符	年代不詳	エジプト	紅玉髓
165	ジェド柱の護符	年代不詳	エジプト	紅玉髓
166	ジェド柱の護符	年代不詳	エジプト	ラピスラズリ
167	ジェド柱の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス
168	ウジャトの眼形護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス
169	枕形護符	年代不詳	エジプト	黒曜石または赤鉄鉱
170	パピルス柱形護符	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	ファイアンス
171	アヌビス形護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス
172	ドゥアトエフ神の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス
173	ハビ神の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス
174	ケベフセスエフ神の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス
175	イムセト神の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス
176	イシス神の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス
177	ネフティス神の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス
178	イシスの結び目の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス
179	有翼スカラベの護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス
180	階段形護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス
181	指形護符	年代不詳	エジプト	黒色の石材
182	亜麻布でできた護符	年代不詳	エジプト	亜麻布
183	ベス神の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス
184	タウレット神の護符	後期王朝時代、第26王朝(前664-525年頃)	エジプト	ファイアンス
185	男根を強調した像の護符	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年)	エジプト	ファイアンス
186	羊頭形護符	新王国時代(?) (前1539-1077年頃)	エジプト	ファイアンス
187	ハトホル女神の護符	年代不詳	エジプト	ファイアンス
第3章エジプトを発見する				
34	ワニの描かれた壺	先王朝時代、ナカーダ1期(前3750-3650年頃)	エジプト	彩色土器
35	船の描かれた壺	先王朝時代、ナカーダ1期(前3500-3300年頃)	エジプト	彩色土器
36	ペレイブセン王の印影がついた土器の栓	初期王朝時代、第2王朝(前2660-2650年頃)	アビドス	泥
38	名前不詳の供養碑	第1中間期、第11王朝、前2000年頃	ゲベレイン(?)	石灰岩
39	クウと家族の供養碑	中王国時代、第12王朝、アメンエムハト2世の治世(前1878-1843年頃)	アビドス	石灰岩
40	カーメスとセネブセンの石碑	第2中間期、第17王朝(前1540年頃)(?)	リザイカート	石灰岩
43	アメンエムヘブの碑	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	エジプト	ファイアンス
44	フルート	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	葦
45	ハマアエフの碑	第3中間期、第22王朝(前943-746年頃)	テーベ	彩色された木
46	タネトアメンのプタハ・ソカル・オシリス像	第3中間期、第21王朝(前1076-944年頃)	テーベ	木
48	ホルの碑	後期王朝時代、第26王朝(前664-525年頃)	テーベ	木
49	イシスの像	グレコ・ローマン時代、ローマ時代	エジプト	花崗閃緑岩
51	神官の小像	後期王朝時代もしくはプトレマイオス朝(前722-30年頃)	エジプト	青銅
52	プタハイルディスが奉獻した神官の小像	後期王朝時代もしくはプトレマイオス朝(前722-30年頃)	エジプト	青銅
53	アメン神に捧げられたカーエムテルの像	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	ティール・エル=メディーナ	木
54	シチュラ	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
55	シストラム	グレコ・ローマン時代、前332年から後1世紀頃	エジプト	青銅
56	シストラムの断片	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
57	香炉の部分	新王国時代、第18王朝末から第19王朝(前1300-1191年頃)	エジプト	青銅
58	神の標章の装飾	後期王朝時代、第26王朝(前664-525年頃)	エジプト	青銅
59	イシスとオシリスが彫られた石碑	新王国時代、第18王朝から第19王朝(前1300年頃)	アビドス	石灰岩
60	膝にホルス神を載せたイシス女神の像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅



61	ハルボクラテスの立像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
62	二重冠をかぶるハヤブサ	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
63	パディコンスの『死者の書』	第3中間期、第21王朝(前1076-944年頃)	エジプト	パピルス
64	台座にのったプタハ神の像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
65	ト神の像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
66	角の間に太陽円盤と羽のついた冠をかぶる ハトホル女神(?)の像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
67	ムウト神の像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
68	モンチュウ神の像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
69	月の神の像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
70	ネフェルテム神の像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
71	蛇の頭を持つ神像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
72	プトレマイオス王の立像	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝、前3世紀	エジプト	青銅
73	バステト女神の像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
74	台座にのったイクニューモン	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
76	イクニューモン	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
77	コブラ	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
78	ヒビの像	新王国時代、第18王朝(前1539-1292年頃)	エジプト	石灰岩
79	オクシリンコス魚	新王国時代後期、前1170-1150年頃	エジプト	石鹸石
80	コウモリ	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
81	サンリ	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
82	ハリネズミ	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	ファイアンス
83	アトゥム神の像	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
第4章エジプトをスキャンする				
188	女性のミイラ	第3中間期、第22王朝、前817年頃	テーベ	ミイラ、亜麻布
189	タディスもしくはタ(ネト)カルウのミイラ	第3中間期、第22王朝、前800年頃	テーベ	ミイラ、亜麻布
190	男性のミイラ	第3中間期、第22王朝、前800年頃	テーベ(?)	ミイラ、亜麻布
191	センサオスのミイラ	グレコ・ローマン時代、ローマ時代、109年	テーベ	ミイラ、亜麻布
192	センサオスの顔の復元過程を示した模型	1998年	デルフト(オランダ)	プラスチック
193	センサオスの顔の復元模型	1998年	デルフト(オランダ)	プラスチック
194	偽のトキ(?)のミイラ	後期王朝時代もしくはグレコ・ローマン時代(前722年もしくはそれ以降)	エジプト	ミイラ、亜麻布
195	猫のミイラ	後期王朝時代もしくはグレコ・ローマン時代(前722年もしくはそれ以降)	エジプト	ミイラ、亜麻布
196	ハヤブサのミイラ	グレコ・ローマン時代、ローマ時代(前30-後395年頃)	エジプト	ミイラ、亜麻布
197	トキのミイラを入れた壺	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝、前3-1世紀	サッカラ(?)	ミイラ、亜麻布、土器
198	トキの壺	ローマ時代(前30-後395年頃)	ヘルモポリス	粘土
199	トキのミイラ	ローマ時代(前30-後395年頃)	エジプト	ミイラ、亜麻布
200	ワニのミイラ	ローマ時代(前30-後395年頃)	エジプト	ミイラ、亜麻布
201	蛇のミイラ	年代不詳	エジプト	ミイラ、亜麻布
203	楕円形のカノボス壺	中王国時代(前1980-1760年頃)	ダハシュール(?)	方解石
205	イレトルウのカノボス壺	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	方解石
206	ウアフィブラーのカノボス壺	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	方解石
207	葬祭用(カノボス用)箱	後期王朝時代(前722-332年頃)	アクミム(エジプト)	木
208	ホルネジトエフの内臓を納めた木箱	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝、前250-200年頃	テーベ	木
209	パウイアメンのカルトナーージュ	後期王朝時代、第25王朝から第26王朝(前722-525年頃)	テーベ	カルトナーージュ
210	カルトナーージュ製の足覆い	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	サッカラ	カルトナーージュ
211	カルトナーージュ製の襟飾り	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	エジプト	カルトナーージュ
212	木棺	グレコ・ローマン時代、プトレマイオス朝(前304-30年頃)	エジプト	木
214	木棺のマスク断片	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	木
216	木棺につけられたひげ	新王国時代、第18王朝(前1539-1292年頃)	エジプト	木
217	木棺につけられた神のひげ	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
218	木棺につけられた神のひげ	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	木
219	木棺用の象眼の眼	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅、石
220	木棺用の象眼の眼	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅、石
222	王の書記ジェフティの筆記用パレット	新王国時代、第18王朝、トメス3世の治世(前1479-1425年頃)	エジプト	スレート
223	容器形護符	第3中間期(前1076-723年頃)	テーベ	ファイアンス
224	ベン	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	葦
225	ベン	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	葦
226	ベン	新王国時代(前1539-1077年頃)	エジプト	葦
227	第19王朝の魔術/医術パピルス	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	サッカラ	パピルス
228	ラメセス2世の称号が記された魔術/医術パピルス	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	サッカラ	パピルス
230	ラメセス朝の手紙	新王国時代、第19王朝(前1292-1191年頃)	サッカラ	パピルス
231	コプト語写本の断片	10世紀末から11世紀初頭	ソハーグ	羊皮紙
232	サギの像用の鋳型	後期王朝時代もしくはプトレマイオス朝(前722-30年頃)	エジプト	粘土
233	サギの像用の鋳型	後期王朝時代もしくはプトレマイオス朝(前722-30年頃)	エジプト	粘土
234	花の鋳型	新王国時代から後期王朝時代(前1539-332年頃)	エジプト	粘土

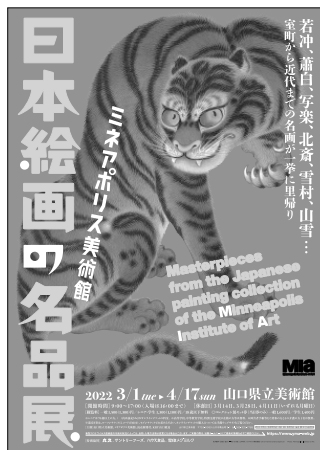
235	ロゼット用鋳型	新王国時代から後期王朝時代(前1539-332年頃)	エジプト	粘土
236	青銅製ベス像	後期王朝時代もしくはプトレマイオス朝(前722-30年頃)	エジプト	青銅
237	ベス像の鋳型	後期王朝時代もしくはプトレマイオス朝(前722-30年頃)	エジプト	粘土
238	イシス女神	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
239	イシス女神の冠	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
240	ネイト女神の頭部	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
241	オンシリス神のアテフ冠の左羽	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
242	座っているトキ	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅、木
243	トキの足	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
244	トキの頭部	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
245	人間の足	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅
246	人間の足	後期王朝時代(前722-332年頃)	エジプト	青銅

## (5) 講演会等

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い実施せず

# ミネアポリス美術館 日本絵画の名品

会 期 令和4年(2022年)3月1日(火)～4月17日(日)  
 ※月曜休館、ただし3月7日・21日、4月4日は開館  
 主 催 山口県立美術館、ミネアポリス美術館、読売新聞社、KRY山口放送  
 特別協賛 丸久、サントリーフーズ、ハウス食品、雪印メグミルク



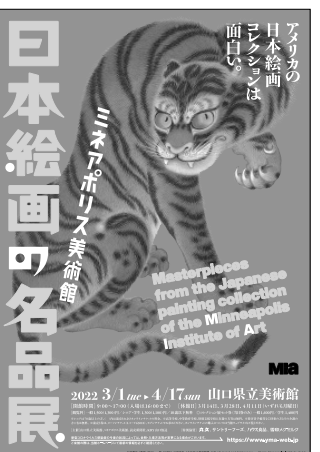
ポスターA(B2)



ポスターB(B2)



チラシ(A3二つ折り)表面



チラシ中面

## (1) 趣旨・概要

アメリカ中西部ミネソタ州最大の都市ミネアポリスに所在するミネアポリス美術館(Minneapolis Institute of Art、通称Mia〈ミア〉)は、1883年にミネアポリスの市民や実業家によって設立されたミネアポリス美術協会を前身として、1915年に開館した。Miaには世界各地の9万点を超える美術作品が所蔵される。その内、約9,500点近くに及ぶ日本美術のコレクションは、質・量ともに国際的に高い評価を得ている。本展は、Miaのコレクションによって、狩野派・琳派・奇想派・浮世絵など江戸絵画を中心に、中世から近代にいたる日本絵画の変遷を選びすぐりの優品で紹介するものであり、写楽、北斎、広重、若冲、曾我蕭白など、日本美術を代表する画家の作品が大挙して里帰りする貴重な機会となった。本展はアンドレアス・マークス氏(ミネアポリス美術館 メアリー・グリッグス・パーク日本・朝鮮美術学芸部長)の監修により、サントリー美術館(2021.4.14-6.27)、福島県立美術館(2021.7.8-9.5)、MIHO MUSEUM(2021.9.18-12.12)および当館の四会場を巡回した。入場者数は20,693人。



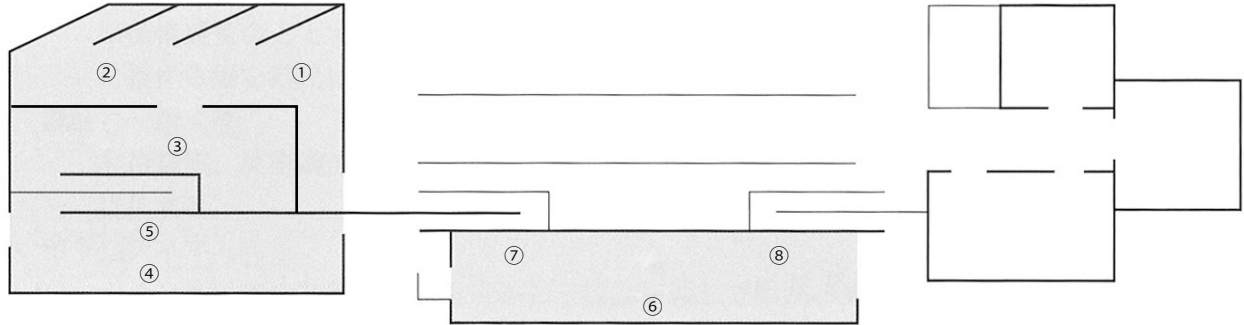
会場風景1



会場風景2

## (2) 会場構成

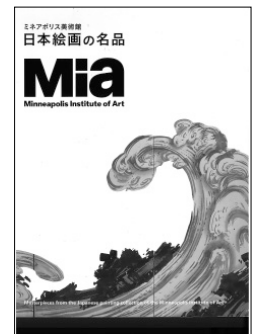
- ① 水墨画
- ② やまと絵—景物画と物語絵—
- ③ 琳派
- ④ 狩野派の時代
- ⑤ 浮世絵
- ⑥ 画壇の革新者たち
- ⑦ 日本の文人画〈南画〉
- ⑧ 幕末から近代へ



## (3) カタログ

編集 サントリー美術館、福島県立美術館、MIHO MUSEUM、山口県立美術館、読売新聞東京本社  
 発行 読売新聞東京本社  
 内容

- 004 ごあいさつ  
 006 メッセージ  
 008 関連地図  
 012 ミネアポリス美術館の日本美術コレクション  
 アンドレアス・マークス  
 018 The Japanese Art Collection at the Minneapolis Institute of Art  
 Dr. Andreas Marks  
 026 第1章 水墨画  
 040 第2章 狩野派の時代  
 064 第3章 やまと絵—景物画と物語絵—  
 086 第4章 琳派  
 104 第5章 浮世絵  
 140 第6章 日本の文人画〈南画〉  
 156 第7章 画壇の革新者たち  
 172 第8章 幕末から近代へ  
 \* A4変形判 (227×290 mm) 264ページ



カタログ表紙

## (4) 出品目録

no.	作者	作品名	員数	材質技法	制作年
水墨画					
1	藝愛	粟に雀図	1幅	紙本墨画	室町時代 16世紀
2	藝愛	菊花小禽図	1幅	絹本着色	室町時代 16世紀
3	雪村周継	花鳥図屏風	6曲1双	紙本墨画	室町時代 16世紀
4	雪村周継	山水図	1幅	絹本墨画淡彩	室町時代 16世紀
5	海北友松	江天暮雪図(瀟湘八景図のうち)	1幅	紙本墨画	桃山時代 16-17世紀
6	雲谷等顔	岩上鶴鶴図	1幅	紙本墨画	桃山時代 17世紀
7	山田道安	龍虎図屏風	6曲1双	紙本墨画	室町時代 16世紀
やまと絵—景物画と物語絵—					
16	作者不詳	秋冬景物図屏風	6曲1隻	紙本金地着色	室町時代 16世紀
17	作者不詳	西行物語図屏風	6曲1双	紙本金地着色	江戸時代 17世紀
18	長谷川等哲	白梅図屏風	6曲1双	紙本金地着色	江戸時代 17世紀

19	作者不詳	武藏野図屏風	6曲1双	紙本金地着色	江戸時代 17世紀
20	作者不詳	誰が袖図屏風	6曲1双のうち右隻	紙本金地着色	江戸時代 17世紀
21	作者不詳	蹴鞠図屏風	6曲1隻	紙本金地着色	江戸時代 18世紀
22	伝 土佐光吉	源氏物語図「胡蝶」	1幅	紙本着色	江戸時代 17世紀
23	伝 住吉如慶	きりぎりす絵巻	1巻	紙本着色	江戸時代 17世紀
琳派					
24	伝 俵屋宗達	伊勢物語図色紙「布引の滝」	1幅	紙本着色	江戸時代 17世紀
25	伝 俵屋宗達	虎図	1幅	紙本墨画	江戸時代 17世紀
26	伝 俵屋宗達	童子図	1幅	紙本墨画	江戸時代 17世紀
27	伝 俵屋宗達	源氏物語図屏風	8曲1隻	紙本金地着色	江戸時代 17世紀
29	酒井抱一	源氏物語「秋好中宮」・白萩図	团扇1柄	絹本着色	江戸時代 19世紀
31	鈴木其一	三夕図	3幅対	絹本墨画淡彩	江戸時代 19世紀
32	中村芳中	燕子花図	1幅	絹本墨画淡彩	江戸時代 19世紀
34	池田孤邨	三十六歌仙図屏風	2曲1隻	絹本墨画着色	江戸時代 19世紀
狩野派の時代					
8	狩野之信	鷹図	1幅	紙本墨画	室町時代 16世紀
9	伝 狩野山楽	四季耕作図襖(旧・大覚寺正寢殿襖絵)	16面のうち8面	紙本着色	江戸時代 17世紀
10	狩野山雪	群仙図襖(旧・天祥院客殿襖絵)	4面	紙本金地着色	江戸時代 正保3年(1646)
11	狩野山雪	雲門好日図	1幅	紙本墨画淡彩	江戸時代 17世紀
12	狩野探幽	笛吹地藏図	1幅	絹本墨画淡彩	江戸時代 寛文10年(1670)
13	狩野探幽	瀟湘八景図屏風	8曲1隻	絹本墨画淡彩	江戸時代 寛文3年(1663)
14	清原雪信	騎獅文殊図	1幅	絹本着色	江戸時代 17世紀
15	清原雪信	飛天図	1幅	絹本墨画淡彩	江戸時代 17世紀
浮世絵					
35	作者不詳	阿国歌舞伎図屏風	6曲1隻	紙本金地着色	江戸時代 17世紀
36	作者不詳	舞妓図	1幅	紙本着色	江戸時代 17世紀
37	月岡雪鼎	藤娘図	1幅	絹本着色	江戸時代 18世紀
38	勝川春章	美人図	1幅	絹本着色	江戸時代 18世紀
39	歌川豊春	三代目瀬川菊之丞図	1幅	絹本着色	江戸時代 18世紀
40	歌川豊広	鴨川納涼図	1幅	絹本着色	江戸時代 19世紀
41	三島上龍	美人図	1幅	絹本着色	江戸時代 19世紀
42	三島上龍	舞妓覗き見図	対幅	絹本着色	江戸時代 19世紀
43	鈴木春信	坐舖八景 台子の夜雨	1枚	中判錦絵	江戸時代 明和3年(1766)頃
44	鈴木春信	見立渡辺綱と茨木童子	1枚	中判錦絵	江戸時代 明和4-5年(1767-68)
45	鳥居清長	四條河原夕涼鉢 三枚続	3枚続	大判錦絵	江戸時代 天明4年(1784)頃
46	鳥居清長	三冊神社の夕立	3枚続	大判錦絵	江戸時代 天明7年(1787)頃
47	喜多川歌麿	『画本虫撰』より「虻・とかげ」	1枚	彩色摺大本	江戸時代 天明8年(1788)
48	喜多川歌麿	風俗美人時計 未ノ刻 娘	1枚	大判錦絵	江戸時代 寛政10-11年(1798-99)頃
49	喜多川歌麿	青樓六家選 大文字屋 一もと	1枚	大判錦絵	江戸時代 享和元-2年(1801-02)
50	東洲斎写楽	二代目市川門之助の伊達与作	1枚	大判錦絵	江戸時代 寛政6年(1794)
51	東洲斎写楽	市川皷藏の竹村定之進	1枚	大判錦絵	江戸時代 寛政6年(1794)
52	東洲斎写楽	三代目市川八百歳の不破伴左衛門重勝	1枚	細判錦絵	江戸時代 寛政6年(1794)
53	歌川豊国	役者舞臺之姿繪 かうらいや	1枚	大判錦絵	江戸時代 寛政7年(1795)
54	葛飾北斎	百物語 さらやしき	1枚	中判錦絵	江戸時代 天保2-3年(1831-32)
55	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州 三寫越	1枚	大判錦絵	江戸時代 天保元-4年(1830-33)
56	葛飾北斎	富嶽三十六景 凱風快晴	1枚	大判錦絵	江戸時代 天保元-4年(1830-33)
57	葛飾北斎	富嶽三十六景 山下白雨	1枚	大判錦絵	江戸時代 天保元-4年(1830-33)
58	葛飾北斎	諸國龍廻り 下野 黒髪山 きりふりの滝	1枚	大判錦絵	江戸時代 天保3年(1832)頃
59	葛飾北斎	諸國名橋奇覽 飛越の堺 つりはし	1枚	大判錦絵	江戸時代 天保5年(1834)頃
60	葛飾北斎	朝顔に蛙	1枚	大判錦絵	江戸時代 天保4-5年(1833-34)頃
61	溪斎英泉	江戸不忍弁財ヨリ東叡山ヲ見ル圖	1枚	大判錦絵	江戸時代 19世紀
62	歌川広重	東海道五拾三次之内 箱根 湖水圖	1枚	大判錦絵	江戸時代 天保3-4年(1832-33)
63	歌川広重	東海道五拾三次之内 蒲原 夜之雪	1枚	大判錦絵	江戸時代 天保3-4年(1832-33)
画壇の革新者たち					
74	曾我蕭白	群鶴図屏風	6曲1双	紙本墨画	江戸時代 18世紀
76	伊藤若冲	旭日老松図	1幅	絹本墨画淡彩	江戸時代 寛政12年(1800)
77	伊藤若冲	叭々鳥図	1幅	紙本墨画	江戸時代 18世紀
78	伊藤若冲	鶏図押絵貼屏風	6曲1双のうち左隻	紙本墨画	江戸時代 18世紀
79	熊斐	喜報三元図	1幅	絹本墨画淡彩	江戸時代 18世紀
80	松井慶仲	虎図	1幅	紙本着色	江戸時代 19世紀
81	横山華山	蘭亭曲水図屏風	6曲1隻	紙本金地着色	江戸時代 19世紀
日本の文人画(南画)					
64	高芙蓉	山水画帖	1帖	紙本墨画淡彩	江戸時代 18世紀
65	池玉瀾	西湖図	1幅	絹本着色	江戸時代 18世紀
66	与謝蕪村	虎溪三笑図	1幅	絹本墨画淡彩	江戸時代 18世紀

68	細川林谷	仙台観猿図	1幅	紙本墨画淡彩	江戸時代 19世紀
69	細川林谷	戸隠連峰図	1幅	紙本墨画淡彩	江戸時代 19世紀
71	細川林谷	洪温泉図	1幅	紙本墨画淡彩	江戸時代 19世紀
72	細川林谷	山水図巻	1巻	紙本墨画淡彩	江戸時代 天保6年(1835)
73	浦上春琴	春秋山水図屏風	6曲1双	絹本墨画淡彩	江戸時代 文政4年(1821)
幕末から近代へ					
82	佐竹永海	風神雷神図	対幅	絹本墨画淡彩	江戸時代 19世紀
83	冷泉為恭	蟬丸図	1幅	絹本着色	江戸時代 19世紀
84	柴田是真	漆絵画帖	1帖	紙本漆絵	明治20年(1887)
85	河鍋晩斎	手長足長図	対幅	紙本墨画淡彩	明治時代 19世紀
86	河鍋晩斎	お多福図	1幅	紙本墨画淡彩	明治時代 19世紀
87	狩野芳崖	巨鷲図	1幅	紙本墨画	明治21年(1888)頃
88	青木年雄	鍾馗鬼共之図	1幅	絹本着色	明治時代 19世紀
89	鈴木松年	春山掃樵図	1幅	絹本着色	明治時代 19-20世紀
90	渡辺省亭	紫式部図	1幅	絹本着色	明治時代 19-20世紀
91	池田蕉園	花見図	1幅	絹本着色	大正時代 20世紀
92	山村耕花	春	1幅	絹本着色	大正4年(1915)

## (5) 講演会等

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い実施せず

# 野田弘志— 真理のリアリズム

## Noda Hiroshi: Absolute Realism

会 期 令和4年(2022年)4月27日(水)～6月19日(日)  
 ※月曜休館、ただし5月2日および6月6日は開館  
 主 催 山口県立美術館、朝日新聞社、yab山口朝日放送  
 特別協力 エフエム山口



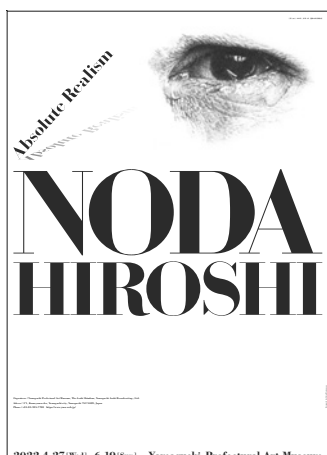
チラシ(A3二つ折り)表面



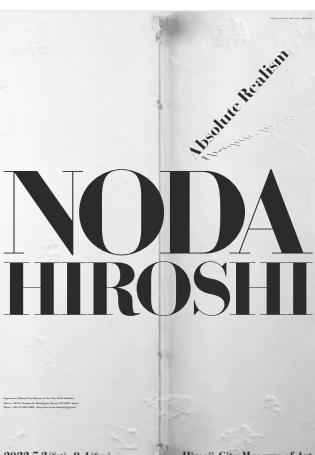
チラシ(A3二つ折り)中面



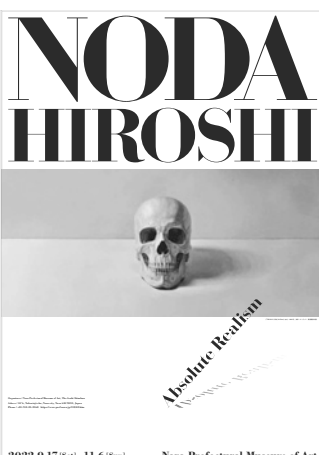
ポスター(B2)



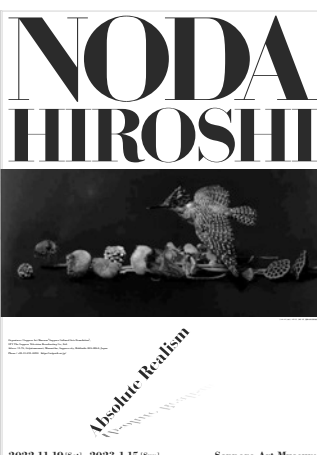
ポスター(B0)山口会場版



ポスター(B0)姫路会場版



ポスター(B0)奈良会場版



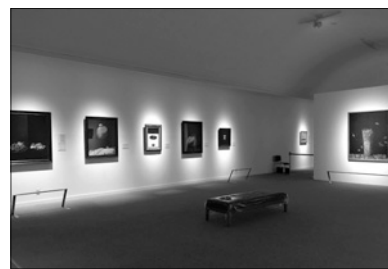
ポスター(B0)札幌会場版

### (1) 趣旨・概要

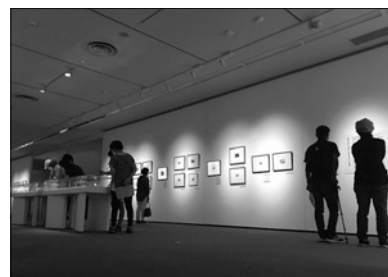
野田弘志(1936-)は、現代日本のリアリズム絵画を代表する画家の一人である。東京藝術大学を卒業後、広告会社でイラストレーターとして活動した時代を経て、30代半ばより、画業に専念するようになった。広島市立大学芸術学部で後進の指導にあたったのち、現在は北海道・洞爺湖を望む原生林の中に構えたアトリエにおいて日夜制作に没頭する日々を送り、傘寿を超えてなお、リアリズムの画壇をけん引し続けている。

本展は、画家・野田弘志の最初期から近作まで、その画業の全容を回顧するものである。したがって、学生時代の作品、広告会社時代のイラストやデザインに始まり、画壇デビューを果たした頃の細密な静物画群(「黒の時代/金の時代」)、その名が全国的に知られる契機となった新聞連載小説『湿原』(加賀乙彦著)の挿絵原画、骨あるいは生ける人間を描いたシリーズ「TOKIJIKU(非時)」「THE」、等身大肖像シリーズ「聖なるもの」「崇高なるもの」まで、野田弘志が一貫して追求してきたリアリズムの道を、ほぼ年代順にたどる構成となった。

画家本人の希望をふまえ、本展ポスターデザインはデザイナー・松永真氏に依頼。氏からは、巡回4館共通のデザインではなく、巡回館ごとにメインビジュアルを変更すること、一般的なB2サイズに加え、B0サイズ制作の提案があ



会場風景1



会場風景2

り、ポスターはB0およびB2サイズ各4種のデザインを制作。モノトーンを基調に、野田弘志作品の世界観がデザインによってさらにクリアに浮かび上がった、インパクトある広報物となった。B0サイズのポスターは、一組を額装して巡回4館すべてで館内に展示。なお、カタログ表紙デザインも松永真氏による。



ポスター展示風景【松永真氏デザイン】



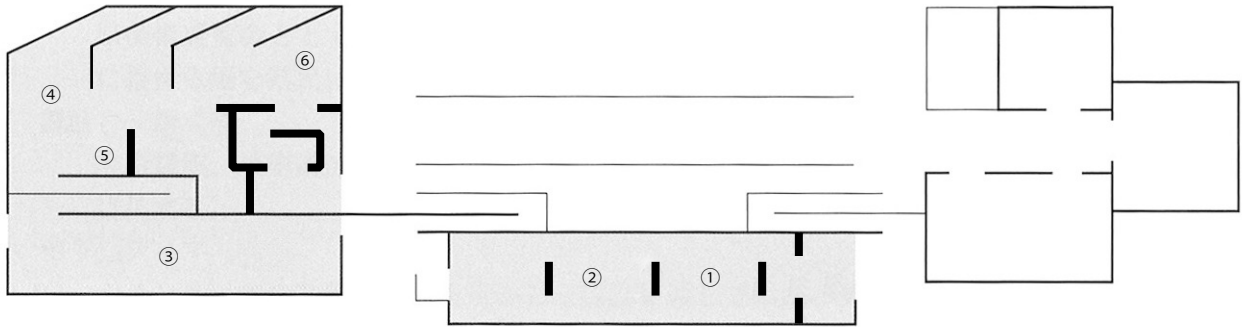
会場風景3



会場風景4

## (2) 会場構成

- ① 第1章 黎明 —学生からイラストレーター時代—
- ② 第2章 写実の起点と静物画 —黒の時代／金の時代—
- ③ 第3章 挿画芸術 —新聞連載小説『湿原』—
- ④ 第4章 風景を描く —自然への憧憬—
- ⑤ 第5章 生と死を描く —TOKIJIKUシリーズ／THEシリーズ—
- ⑥ 第6章 存在の崇高を描く —聖なるものシリーズ／崇高なるものシリーズ—



## (3) カタログ

寄稿 野田弘志  
高階秀爾  
諏訪 敦  
安藤忠雄  
野依良治

執筆 安部すみれ(姫路市立美術館)  
深谷 聡(奈良県立美術館)  
橋本柚香(札幌芸術の森美術館)  
矢追愛弓(山口県立美術館)

表紙デザイン 松永 真  
レイアウト 近藤正之(求龍堂)  
編集 清水恭子、和田寧路(求龍堂)  
印刷・製本 光村印刷株式会社  
プリンティング・ディレクション 川崎智徳(光村印刷)

発行日 2022年4月27日  
発行者 足立欣也  
発行所 株式会社求龍堂



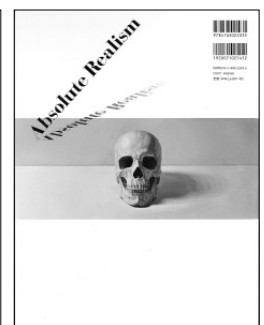
カタログ(帯あり)表紙



カタログ(帯あり)裏表紙



カタログ(帯なし)表紙



カタログ(帯なし)裏表紙



内容	003	ごあいさつ   主催者
	005	序   野田弘志
	008	総論 野田弘志—その人と作品   安部すみれ
	015	第Ⅰ章 黎明—学生からイラストレーター時代—
	035	第Ⅱ章 写実の起点と静物画—黒の時代／金の時代—
	053	「リアリズム(写実主義)絵画」とは何か   高階秀爾(美術評論家)
	055	第Ⅲ章 挿画芸術—新聞連載小説『湿原』—
	069	第Ⅳ章 風景を描く—自然への憧憬—
	079	壮瞥のアトリエの方へ   諏訪敦(画家)
	082	第Ⅴ章 生と死を描く TOKIJIKUシリーズ／THEシリーズ
	087	野田弘志さんのこと   安藤忠雄(建築家)
	115	第Ⅵ章 存在の崇高を描く—聖なるものシリーズ／崇高なるものシリーズ—
	133	—科学者が考えるリアリズム   野依良治(ノーベル化学賞受賞者)
	138	作品リスト
	150	年譜
		* A4変型判(297×226mm)160ページ

#### (4) 出品目録

no.	タイトル	制作年	技法・材質	所蔵
第1章 黎明—学生からイラストレーター時代—				
1-1	裸婦習作	1955年頃	油彩／カンヴァス	ふくやま美術館
1-2	静物	1958年	油彩／カンヴァス	個人蔵
1-3	浜名湖(仮称)	1954年	油彩／カンヴァス	個人蔵
1-4	白い風景	1962年	油彩／カンヴァス	豊橋市美術博物館
1-5	俳優島原智夫ノ肖像	1968年	油彩／カンヴァス	豊橋市美術博物館
1-6	風景	不詳	ペン・インク／紙	個人蔵(ふくやま美術館寄託)
1-8	不詳(雑誌のためのカット原画)	不詳	ペン／紙	作家蔵
1-9	不詳(女性イラスト)	1970年頃	鉛筆・色鉛筆／紙	個人蔵
1-10	ナイフ	不詳	鉛筆／紙	個人蔵
1-11	My Minitopia My Minica '70(三菱自動車ポスター)	1970年	印刷物	個人蔵
1-12	『まほうのベッド』挿絵(講談社・世界名作図書館より)	1968年	書籍	個人蔵
1-13	『バーゴルフ』表紙	1969-75年	印刷物	作家蔵
1-14	なかにし礼「エロスの美学」挿絵	不詳	印刷物	作家蔵
1-15	『吉行淳之介傑作小説選集』挿絵	1967年頃	印刷物	作家蔵
1-16	『ヤングレディ』表紙	1968年	印刷物	作家蔵
1-18	『中2の学習』表紙 1969年7月号	1969年	印刷物	作家蔵
1-19	『婦人倶楽部』口絵	1969年	印刷物	作家蔵
1-21	『暮しの設計』カット	1966-70年	印刷物	作家蔵
1-23	読売新聞カット 1970年1月1日号	1970年	印刷物	作家蔵
1-25	女性・花カット(原画)	不詳	ペン・インク／紙ほか	作家蔵
1-26	ダブルギター ※特別追加出品	1970年	水彩／ケント紙	一番星画廊
資料	小林秀雄編集『現代日本文学館 42 三島由紀夫』挿絵：野田弘志	1966年	書籍	個人蔵
第2章 写実の起点と静物画—黒の時代／金の時代—				
2-1	アーティチョーク	1970年	油彩／板	豊橋市美術博物館
2-2	マンゴー	1970年	油彩／板	個人蔵(ふくやま美術館寄託)
2-3	やませみ	1971年	油彩／板	豊橋市美術博物館
2-4	パネル	1971年	油彩／板	豊橋市美術博物館
2-5	石榴	1971年	油彩／カンヴァス	個人蔵
2-6	南瓜Ⅱ	1972年	油彩／カンヴァス	北海道伊達市
2-7	葡萄Ⅲ	1972年	油彩／カンヴァス	株式会社サンロード
2-8	マンゴスチンとシュガーアップルと南瓜	1973年	油彩／カンヴァス	豊橋市美術博物館
2-9	独楽	1974年	油彩／カンヴァス	豊橋市美術博物館
2-10	きもの	1974年	油彩／板	豊橋市美術博物館
2-11	黒い風景 其の壹	1974年	油彩／カンヴァス	豊橋市美術博物館
2-12	黒い風景 其の参	1973年	油彩／板・麻布	豊橋市美術博物館
2-13	メガロポリスⅢ	1978年	アクリル／カンヴァス	愛知県立時習館高等学校
2-14	貝と静物	1980年	油彩／板	一番星画廊
2-15	1・9・4・5	1986年	油彩／板	個人蔵
2-16	酒	1988年	油彩／カンヴァス	個人蔵
2-17	牡丹	1988年	油彩／板	ふくやま美術館
第3章 挿画芸術—新聞連載小説『湿原』—				

3-1	ラーメン [第10回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-2	谷地様の木の实 [第16回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-3	裏道 [第18回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-4	ヘルメットと角材 [第21回連載]	1983年	鉛筆/紙	一番星画廊
3-5	乱闘 [第29回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-7	刑務所 [第39回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-8	ホッケー [第40回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-11	投石 [第45回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-12	ゲバ棒 [第47回連載]	1983年	鉛筆/紙	一番星画廊
3-13	鳥の巢 [第55回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-14	雨 [第62回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-15	スマガレイ [第64回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-16	厚岸の大牡蠣(地まきの牡蠣) [第72回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-17	ブランコ(元町公園にて) [第75回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-18	遊郭跡 [第78回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-19	菊 [第79回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵(ふくやま美術館寄託)
3-20	オナガガモ [第81回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵(ふくやま美術館寄託)
3-21	谷地坊主 [第83回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-24	北の海のやどかり [第101回連載]	1983年	鉛筆/紙	豊橋市美術館
3-25	手を組む [第102回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-26	機動隊員 [第106回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-27	安田講堂の塔の内部 [第110回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-28	催涙ガス(安田講堂) [第113回連載]	1983年	鉛筆/紙	豊橋市美術館
3-30	指 [第115回連載]	1983年	鉛筆/紙	豊橋市美術館
3-31	バリケードづくり [第119回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-33	破壊 [第123回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-35	安田講堂 [第126回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-36	安田講堂 [第129回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-37	塔の中 [第132回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-39	塔の落城 [第142回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-40	電球 [第144回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵(ふくやま美術館寄託)
3-41	学生 [第145回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-42	涙 [第148回連載]	1983年	鉛筆/紙	豊橋市美術館
3-43	びしょ濡れ [第155回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-44	焼酎 [第157回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-45	靖国神社の展示品 [第159回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-46	男女 [第163回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-47	ぶよぶよの床 [第164回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-50	白鳥 [第172回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-51	氷下魚漁 [第174回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-52	しろはやぶさ [第176回連載]	1983年	鉛筆/紙	豊橋市美術館
3-53	雪 [第181回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-54	ホッチャレ [第197回連載]	1983年	鉛筆/紙	豊橋市美術館
3-55	子供 [第200回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-56	スケソウ漁船 [第204回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-57	スケトウダラの競り(羅白で) [第205回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-58	洞窟の水柱(羅白) [第206回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-59	溪流(羅白) [第207回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-60	雪山 [第208回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-61	縄 [第215回連載]	1983年	鉛筆/紙	個人蔵
3-66	オオセグロカモメ [第239回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-68	タバコ [第244回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵(ふくやま美術館寄託)
3-71	タバコ [第252回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-73	鹿とガンのコール [第266回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-75	オス鹿とマガモのコール [第274回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-76	椿 [第287回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-77	アジサイ [第288回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-78	ハマエンドウ [第289回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵(ふくやま美術館寄託)
3-79	はぎ [第295回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵(ふくやま美術館寄託)
3-82	砂 [第304回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-84	夕日 [第315回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-85	しらかばのカサ [第317回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-86	海タケ [第324回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-88	カラス [第328回連載]	1984年	鉛筆/紙	豊橋市美術館
3-90	しだれ梅 [第335回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵(ふくやま美術館寄託)

3-91	菖蒲 [第342回連載]	1984年	鉛筆/紙	豊橋市美術博物館
3-92	タンポポのつぼみ [第345回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-93	フリージャ [第356回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵(ふくやま美術館寄託)
3-94	アヤマ [第357回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-97	拘留所 [第364回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-98	拘留所の壁 [第368回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-100	やまぶき [第373回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-103	外燈 [第381回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-106	根室の燈台で [第392回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-107	女の手 [第395回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-108	男・女 [第396回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-109	男の手 [第400回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-110	男女の手 [第401回連載]	1984年	鉛筆/紙	豊橋市美術博物館
3-111	東京駅の時計 [第411回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-113	きずついたハシボソミズナギドリ [第420回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-114	オスビス・ド・ボヌ61 [第421回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-115	シャトー・マルゴー'53 [第422回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-116	ワインの栓 [第423回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-119	カラス [第434回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-120	ヒイラギナンテン [第442回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵(ふくやま美術館寄託)
3-121	中国で(3) [第457回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-122	中国で(6) [第461回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-124	福寿草 [第470回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-125	海ほおずき [第478回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-128	手 [第490回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-129	厚夫 [第503回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-131	ぼたん [第507回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-132	くもの巣 [第513回連載]	1984年	鉛筆/紙	豊橋市美術博物館
3-133	千葉刑務所 [第519回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-134	ツブ貝 [第521回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-135	池にコイ [第532回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-136	二羽のカラス [第536回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-137	カラス [第537回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-138	電線にカラス [第541回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-139	柏の木の实 [第548回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵(ふくやま美術館寄託)
3-141	海松に寄生する生物 [第557回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-142	破片 [第560回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-143	セミのメケガラ [第571回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-144	厚夫 [第573回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-145	カラス [第581回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-146	ロマネコンティのモンラッシェ1976 [第582回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-147	カラス [第591回連載]	1984年	鉛筆/紙	個人蔵
3-148	わかさぎ釣り [第602回連載]	1985年	鉛筆/紙	個人蔵
3-149	北海道風景 [第606回連載]	1985年	鉛筆/紙	個人蔵
3-150	コーヒーカップ [第607回連載]	1985年	鉛筆/紙	個人蔵
3-151	風蓮川口 [第608回連載]	1985年	鉛筆/紙	個人蔵
3-152	ミズナラ [第609回連載]	1985年	鉛筆/紙	個人蔵
3-153	バラ [第611回連載]	1985年	鉛筆/紙	個人蔵
3-154	根室風景 [第615回連載]	1985年	鉛筆/紙	個人蔵
資料	加賀乙彦著『湿原』(上下)	1985年	書籍	個人蔵
	朝日新聞連載小説『湿原』 掲載紙面		スクラップブック	作家蔵
	『湿原』 挿画資料写真等		スクラップブック	作家蔵
第4章	風景を描くー自然への憧憬ー			
4-1	白根火山	1989年	油彩/カンヴァス	個人蔵
4-2	屈斜路湖・夏	1990年	油彩/カンヴァス	公益財団法人蘭島文化振興財団 蘭島閣美術館
4-3	トドワラ(北海道野付半島・8月)	1990年	油彩/カンヴァス	法人蔵
4-4	摩周湖・霧	1996年	油彩/カンヴァス	公益財団法人ウッドワン美術館
4-5	竹	2000年	油彩/カンヴァス	広島県
4-6	朝の美ヶ原	2005年	油彩/カンヴァス	松本市美術館
4-8	安芸灘大橋	2000年	油彩/カンヴァス	公益財団法人蘭島文化振興財団 蘭島閣美術館
第5章	生と死を描くーTOKIJKUシリーズ/THEシリーズー			
5-1	貝と化石	不詳	油彩/カンヴァス	個人蔵
5-2	化石のある静物	1988年	油彩/カンヴァス	ふくやま美術館
5-3	ガラスと骨Ⅱ	1990年	油彩/カンヴァス	ふくやま美術館
5-4	Skeleton	1995年	油彩/カンヴァス	豊田市美術館

5-5	TOKIJIKU (非時) I Egg	1991年	油彩／カンヴァス	豊橋市美術博物館
5-6	TOKIJIKU (非時) VII Pyramid	1992年	油彩／カンヴァス	一番星画廊
5-10	TOKIJIKU (非時) XII Wing	1993年	油彩／カンヴァス	豊橋市美術博物館
5-12	TOKIJIKU (非時) X III	1995年	油彩／カンヴァス	豊田市美術館
5-14	TOKIJIKU (非時) X X I Mammoth II	1996-2002年	油彩／カンヴァス	一番星画廊
5-15	TOKIJIKU (非時) X X III Ankole Longhorn	2000-04年	油彩／カンヴァス	豊橋市美術博物館
5-16	THE-1	1997-2000年	油彩／カンヴァス	一番星画廊
5-17	THE-2	1997-2000年	油彩／カンヴァス	一番星画廊
5-18	THE-4	1999-2007年	油彩／カンヴァス	河村アートプロジェクト(北海道伊達市寄託)
5-19	THE-7	2002-05年	油彩／カンヴァス	広島市立大学芸術資料館
5-20	THE-8	2002-07年	油彩／カンヴァス	河村アートプロジェクト(北海道立近代美術館寄託)
5-21	THE-9	2003-04年	油彩／カンヴァス	姫路市立美術館
第6章	存在の崇高を描くー聖なるものシリーズ／崇高なるものシリーズー			
6-2	聖なるもの THE-III	2011年	油彩／カンヴァス	個人蔵
6-3	聖なるもの THE-IV	2013年	油彩／カンヴァス	ホキ美術館
6-4	聖なるもの THE-V	2014年	油彩／カンヴァス	北海道伊達市
6-5	聖なるもの THE-VI	2015年	油彩／カンヴァス	北海道伊達市
6-6	「崇高なるもの」OP.1-1	2014年	油彩／カンヴァス	個人蔵
6-7	「崇高なるもの」OP.1-2	2013年	油彩／カンヴァス	個人蔵
6-8	「崇高なるもの」OP.1-3	2019年	油彩／カンヴァス	個人蔵
6-9	「崇高なるもの」OP.3	2012年	油彩／カンヴァス	ホキ美術館
6-10	「崇高なるもの」OP.4	2014年	油彩／カンヴァス	ホキ美術館

## (5) 講演会等

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず

# 庵野秀明展

## HIDEAKI ANNO EXHIBITION

会 期 令和2年(2022年)7月8日(金)～9月4日(日)  
 ※月曜休館、ただし7月18日、8月1日・15日は開館

主 催 山口県立美術館、宇部市、山口市、KRY山口放送、朝日新聞社

協 賛 DNP大日本印刷

企 画 庵野秀明展実行委員会

企画協力 カラー、グラウンドワークス：、アニメ特撮アーカイブ機構

山口会場特別協賛 UBE株式会社、西京銀行



チラシ(A4変型[上部折])表面



チラシ(A4変型[上部折])裏面



ポスター(B2)

### (1) 趣旨・概要

庵野秀明(1960-)は、山口県宇部市出身の映像作家である。高校、大学での自主映画制作を経て、アニメーターとして『風の谷のナウシカ』(1984)『王立宇宙軍 オネアミスの翼』(1987)などの作品に参加。『トップをねらえ!』(1988)で初監督を務めた後、『ふしぎの海のナディア』(1990)や、社会現象を巻き起こした『新世紀エヴァンゲリオン』(1995)と話題作を監督した。2006年に株式会社カラーを設立し、代表取締役役に就任。『エヴァンゲリオン新劇場版』シリーズ及び『シン・エヴァンゲリオン劇場版』(2007～2021)の制作に加え、2016年には『シン・ゴジラ』脚本・総監督を務めた。2017年、特定非営利活動法人アニメ特撮アーカイブ機構(ATAC)を設立し、理事長に就任。

本展は、庵野の学生・アマチュア時代の自主制作作品、アニメーター時代に参加していた作品から、監督、プロデューサーとして活躍する最新の仕事までを網羅するだけでなく、少年時代に見ていた「アニメ」「特撮」作品にま



会場風景1



会場風景2



会場風景3



会場風景4



会場風景5



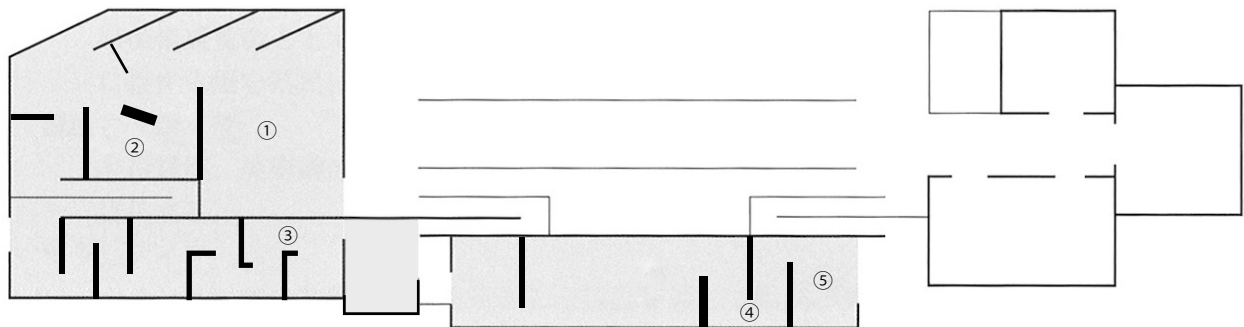
会場風景6

で遡って概観し、その「原点」から創作活動の秘密に迫ろうとするものである。また、会場では、多くの作品について、残された資料等と合わせて映像(本編の一部や特報など)が視聴可能であり、来館者の理解と満足度を高める内容となった。

加えて、会場内のスロープ壁面には庵野が子供時代を過ごした1960~70年代の宇部市の写真12点を展示。同市が舞台となった監督作品「式日」のコーナーでは、現地を下見した際に庵野が撮影した写真が追加展示されるなど、出身地ならではの展示が設置され、来場者を楽しませた。なお宇部市では同時期に「まちじゅうエヴァンゲリオン」第2弾(2022年7月8日~9月4日)を開催し、市内の飲食店や山口宇部空港、JR西日本などとコラボレーションした企画を実施。ときわ湖水ホール(大展示ホール)では「ふしぎの海のナディア」展(2022年7月8日~9月4日)が開催された。

## (2) 会場構成

- ① 第1章 原点、或いは呪縛
- ② 第2章 夢中、或いは我儘
- ③ 第3章 挑戦、或いは逃避
- ④ 第4章 憧憬、そして再生
- ⑤ 第5章 感謝、そして報恩



## (3) カタログ

- 編集 齊藤陸志(クラフトワークス)  
国立新美術館  
朝日新聞社
- 編集協力 宮本亮平(アニメ特撮アーカイブ機構)  
筒井亮子  
真木圭太(ジェネット)
- 執筆 氷川竜介  
安野モヨコ  
神村靖宏(グラウンドワークス：)  
三好 寛(アニメ特撮アーカイブ機構)  
辻 壮一(アニメ特撮アーカイブ機構)  
永島 収  
原口正宏
- 翻訳 クリストファー・ステイヴンズ
- デザイン 彦根大助
- 撮影 竹中博信(スタジオ・エッグ)  
富森浩幸
- 印刷・製本 DNPアートコミュニケーションズ
- 発行 朝日新聞社
- 発行日 2021年11月25日 初版



カタログ表紙

- 内容 003 ごあいさつ  
Greeting
- 005 庵野秀明 略歴  
Biography Hideaki Anno
- 007 過去と未来を無限につなぐエンジン 氷川竜介  
Infinite Engine Linking Past and Future

020	アニメーション・特撮作品 専門用語・技術用語解説	
022	第1章 原点、或いは呪縛	
	CHAPTER 1 Origins: Childhood Enchantment	
062	自分自身を育ててくれたものに対する、感謝の念	安野モヨコ
064	第2章 夢中、或いは我儘	
	CHAPTER 2 Obsessions: Obstinate Pursuit	
296	第3章 挑戦、或いは逃避	
	CHAPTER 3 Challenges: Beyond Anime	
468	第4章 憧憬、そして再生	
	CHAPTER 4 Admirations: Rebuilding Legacies	
479	第5章 感謝、そして報恩	
	CHAPTER 5 Gratitude: Giving Back	
486	個人履歴／仕事履歴／原点となった作品	
	Profile／Worklist／Starting Point	
491	展示物リスト	
494	謝辞	
	Acknowledgements	
	* A4変型判(297×229mm)496ページ	

## (4) 出品目録

no.	作品名	展示物	制作年
第1章	原点、或いは呪縛		
1	宇宙大戦争(1959年)	シートポスター、模型	
2	モスラ(1961年)	シートポスター、模型	
3	妖星ゴラス(1962年)	シートポスター、模型	
4	海底軍艦(1963年)	シートポスター、模型	
5	ウルトラマン(1966年)	イラスト、スーツ、模型、飛行シーン用	
6	マグマ大使(1966年)	模型	
7	ウルトラセブン(1967年)	イラスト、模型、飛行シーン用、マスク、複製絵画	
8	怪獣総進撃(1968年)	シートポスター、模型	
9	マイティジャック(1968年)	模型、複製絵画	
10	宇宙猿人ゴリ対スペクトルマン(1971年)	マスク	
11	帰ってきたウルトラマン(1971年)	スーツ、模型、飛行シーン用	
12	仮面ライダー(1971年)	マスク、ミニチュア	
13	スペクトルマン(1971年)	高速回転シーン用	
14	ミラーマン(1971年)	マスク	
15	マジンガーZ(1972年)	永井豪原画(複製)	
16	バビル2世(1972、1973年)	横山光輝原画(複製)	
17	ザ・ムーン(1972～1973年頃)	ジョージ秋山原画(複製)	
18	ウルトラマンタロウ(1973年)	模型	
19	ゴジラ対メガロ(1973年)	飛行シーン用	
20	ジャンボーグA(1973年)	模型、マスク	
21	宇宙戦艦ヤマト(1974年)	雑誌、原画、セル画、美術背景、書籍、カード	
22	ゲッターロボ(1974年)	永井豪：原作、石川賢：作画 原画(複製)	
23	超少女明日香(1976年)	和田慎二原画(複製)	
24	惑星大戦争(1977年)	模型	
25	スターウルフ(1978年)	模型	
26	機動戦士ガンダム(1979年)	原画、レイアウト、ポスター、書籍	
27	バトルフィーバーJ(1979年)	模型	
28	ウルトラマン80(1980年)	模型	
29	電子戦隊デンジマン(1980年)	模型	
30	その他	庵野秀明の実家にあったマシン 特撮博物館 特別編集映像(2012) 生誕50周年『仮面ライダー』メモリアル映像(2021) 特別映像インストール 漫画雑誌・単行本等 中学・高校時代の油彩画 庵野秀明の実家に残っていた私物一式 かふえれすと らいふ(LIVE) カップ&ソーサー ※会期中より展示	

第2章 夢中、或いは我儘

ナカムライダー	映像、スチールアニメ用素材	1978年
ことわざ辞典 へたな鉄砲も数うちゃあたる！	映像	1979年
映像計画学科一回生時の提出課題じょうぶなタイヤ！		
SHADOタイヤ	映像、プロット、設定、画コンテ、原画兼動画、その他資料	1980年
自主制作作品 ウルトラマン	映像、メモ類	1980年
短編あにめ 水たまり	画コンテ	1980年
レーザー庫を開けたら戦車がとび出した！	映像	1980年
バス停にて...	映像	1980年頃
短編アニメ TEA TIME	映像、企画案	1981年
DAICON III オープニングアニメーション	映像、原画兼動画、画コンテ、セル画、冊子、設定、書籍、その他資料	1981年
超時空要塞マクロス	映像、原画、セル画、画コンテ	1982年
ゼネラルプロダクツ	商品・PR用イラスト、関連資料	1982年頃
DAICON FILM企画案	『サンダーバード』デザイン案	1982年頃
DAICON FILM企画案	『マイティジャック』デザイン案	1982年頃
短編アニメ 恵子ちゃんinよーちえん	デザイン	1982～83年頃
DAICON FILM版 帰ってきたウルトラマン	映像、衣装・小道具、ミニチュア、画コンテ、設定、イラスト	1983年
DAICON IV オープニングアニメーション	映像、企画書、原画、設定、原画兼動画、画コンテ、セル画、デザイン	1983年
DAICON FILM企画案	『仮面ライダー』デザイン案	1983年
漫画 あつい日	原画	1983年頃
風の谷のナウシカ	映像、原画用下描き、レイアウト下描き、落書き・メモ	1984年
超時空要塞マクロス 愛・おぼえていますか	映像、レイアウト、その他資料	1984年
メガゾーン23	映像、画コンテ、その他資料	1985年
王立宇宙軍 パイロットフィルム	映像、設定、メモ	1986年
王立宇宙軍 オネアミスの翼	映像、設定、原画、デザイン、イメージボード、セル画、イメージ、絵コンテ、ポスター、その他資料	1987年
火垂るの墓 原作：野坂昭如「火垂るの墓」（新潮文庫「アメリカひじき・火垂るの墓」所収）、監督：高畑勲 ※庵野は観艦式シーンの原画を担当	映像、原動画、タイムシート	1988年
トップをねらえ！	映像、設定、原画、デザイン、レイアウト、画コンテ、台本、イメージ、セル画、ポスター、メモ、その他資料	1988年
ふしぎの海のナディア	映像、画コンテ、設定、イメージ、ポスター、セル画、台本、プロット、シナリオ、その他資料	1990年
新世紀エヴァンゲリオン	映像、プロット、画コンテ、設定、デザイン、レイアウト、イメージ、色指定、企画書、メモ、シナリオ	1995年
新世紀エヴァンゲリオン劇場版Air／まごころを、君に	レイアウト、デザイン、ポスター、シナリオ、画コンテ	1997年
その他	大学時代の制作資料一式 DAICON FILM関連資料一式 カレンダー表紙 習作イラスト 宇部高校美術部作品集(1978) 撮影機材 その他商品用イラストなど 『監督不行届』関連資料 庵野秀明肖像画、自画像	

第3章 挑戦、或いは逃避

美少女戦士セーラームーンS 原作：武内直子 ※庵野はセーラーウラス、セーラーネプチューンの変身バンクの画コンテを担当	映像、画コンテ	1994年
彼氏彼女の事情	映像、画コンテ、デザイン、台本、イラスト、レイアウト、原画、ポスター、その他資料	1998年
ラブ&ポップ	映像、画コンテ、プロット、台本、パンフレット、ビデオソフトなど、衣装、ポスター	1998年
式日	映像、シナリオ案、画コンテ、台本、チラシ、パンフレット、ポスター、ロケハン写真	2000年
空想の機械達の中の破壊の発明	映像、プロット、画コンテ、その他資料	2002年
流星課長	映像、台本、設定、画コンテ、デザイン	2002年
キューティーハニー	映像、設定、デザイン、イメージ、プロット、台本、画コンテ、ポスター	2004年
ローレライ	設定、デザイン、書籍、台本	2005年
シュガシュガルー	映像、イメージ、プロット、画コンテ	2005年
日本沈没	デザイン、模型	2006年
エヴァンゲリオン新劇場版：序	レイアウト、デザイン、設定、マーク、イメージ、ポスター	2007年
エヴァンゲリオン新劇場版：破	設定、レイアウト、模型、ポスター、修正指示など、イメージ、デザイン、原画兼設定	2009年
エヴァンゲリオン新劇場版：Q	映像、イメージボード、イメージ、デザイン、設定、模型、ポスター	2012年
巨神兵東京に現わる	画コンテ、デザイン、小道具、書籍	2012年
宇宙戦艦ヤマト2199	画コンテ、模型	2013年
シン・ゴジラ	映像、コンセプトアート、イメージ、画コンテ、艦型、シナリオ案・台本など、その他資料	2016年
シン・エヴァンゲリオン劇場版	イメージボード、設定、デザイン、ミニチュア、画コンテ、メモ、ポスター、背景パネル、サムネイル	2021年
出演作台本	『恋の門』、『茶の味』、『ラストレター』、『キャッチボール屋』、『トゥルーラヴ』、『DEATH KAPPA』、『ホームカミング』、『風立ちぬ』、『クワイエットルームにようこそ』、『FROG RIVER』、『監督失格』	



	その他	特撮博物館ポスター	
第4章	憧憬、そして再生		
	シン・ウルトラマン	映像、雛型、小道具、複製絵画、デザイン、立像、台本、ポスター	2022年
	シン・仮面ライダー	映像、マスク、模型、ポスター、脚本、イラスト、デザイン、立像	2023年
第5章	感謝、そして報恩		
	アニメ特撮アーカイブ機構	映像、レイアウト(機動戦士ガンダム)	
	ではざらりー	背景画	
	日本アニメ(ーター)見本市	書籍	
	シン・ゴジラ	立像	
	シン・ウルトラマン	立像	
	シン・仮面ライダー	立像	
	その他	庵野秀明フィギュア	
		庵野秀明サイン色紙	

## (5) 講演会等

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず

# 唐絵の系譜 将軍家の襖絵／雪舟と狩野派

会 期 令和4年(2022年)9月16日(火)～10月16日(日) ※休館日は9月26日(月)  
 主 催 山口県立美術館、防府市、山口市、読売新聞社、KRY山口放送  
 特別協賛 山口銀行  
 企画協力 根津美術館 [将軍家の襖絵展]



チラシ(A3二つ折り)表面



チラシ(A3二つ折り)中面



ポスター(B2)

## (1) 趣旨・概要

日本美術史を代表する水墨画家・雪舟等楊(1420-1502/06?)は、室町時代(1338-1573)に山口で活躍した。この雪舟を庇護した守護大名・大内氏は強い京都指向を持ち、山口の街は京都を模して計画され、大内氏の居館は足利将軍邸を倣って築かれた。

応仁の乱(1467-77)のただ中に雪舟を明(中国)へと渡航させ、水墨画の本場での学習を可能にした大内政弘(1446-95)は乱後、自らの邸を京都の将軍邸に倣って整備し、その襖は雪舟が描いた山水図によって飾られた。大内館の山水図襖絵を制作するに当たり、雪舟は自らの師であり、足利将軍家の御用絵師でもあった名人・周文(生没年不詳)の山水図を先例としたものと考えられる。これら周文・雪舟の山水図は、当時「唐絵」と呼ばれ尊重されていた中国絵画に基づいて描かれ、周文や雪舟の作品もまた「唐絵」の一種として人気を呼んだ。こうした、「唐絵」を愛好し制作の規範とする美術文化は、室町時代の足利将軍家から、江戸時代の徳川将軍家へと継承され、武家文化の大きな柱の一つになった。

本展では、周文・雪舟・狩野探幽という唐絵画家の系譜を中心に、室町時代から江戸時代末期にまで至る絵画史の大きな流れを、「将軍家の襖絵」と「雪舟と狩野派」という二つの展示によって紹介した。カタログは「将軍家の襖絵」と「雪舟と狩野派」の二種類を制作した。入場者数は6,026人。

二つの展示のうち「将軍家の襖絵」は、根津美術館と相互の企画協力によって実現したものであり、令和4年11月3日(木・祝)～12月4日(日)の会期で根津美術館に会場を移して開催された。



会場風景1



会場風景2

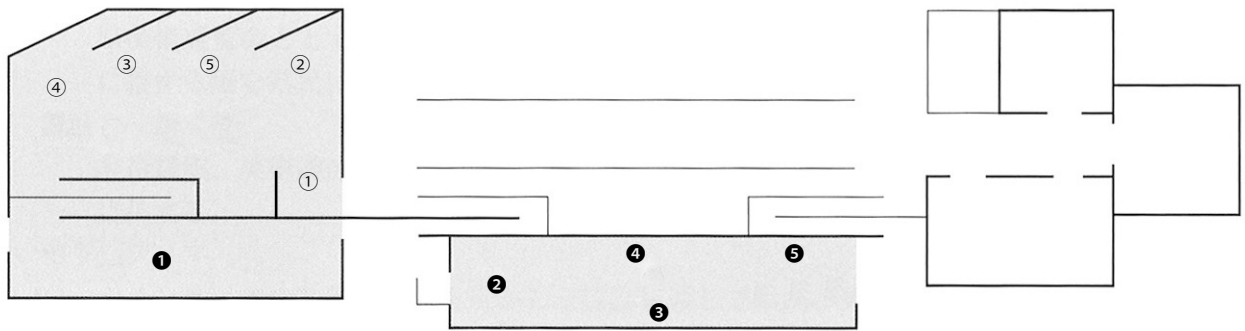
## (2) 会場構成

### 【将軍家の襖絵】

- ① 序 章 足利将軍家の絵画—唐絵と和製の唐絵—
- ② 第一章 山水莊嚴—四季山水と瀟湘八景—
- ③ 第二章 将軍の理想—勸戒と狩猟—
- ④ 第三章 和歌世界の領有—名所と遊樂—
- ⑤ 第四章 周文画の記憶—山水景の中の花と鳥—

### 【雪舟と狩野派】

- ① 第一章 国宝《山水長巻》と幻の雪舟筆山水図巻
- ② 第二章 雪舟と富士山 [細川家と雪舟Ⅰ]
- ③ 第三章 雪舟猿の屏風 [細川家と雪舟Ⅱ]
- ④ 第四章 山水図巻の謎 [細川家と雪舟Ⅲ]
- ⑤ 第五章 幕末狩野派と雪舟



### (3) カタログ

#### 【将軍家の襖絵】

- 編集 山口県立美術館・根津美術館  
 執筆 荏開津通彦(山口県立美術館)・野口剛(根津美術館)  
 デザイン 栗原朗(クワハラデザイン)  
 発行 山口県立美術館・根津美術館  
 内容 004 ごあいさつ  
 006 将軍家の襖絵 荏開津通彦  
 022 将軍邸と会所  
 025 足利将軍邸襖絵画題一覧(稿)  
 027 第一章 山水荘嚴—四季山水と瀟湘八景—  
 048 唐絵・周文・弟子  
 059 第二章 将軍の理想—勸戒と狩猟—  
 063 筆様と画本  
 073 第三章 和歌世界の領有—名所と遊樂—  
 087 第四章 周文画の記憶—山水景の中の花と鳥—  
 098 周文論 荏開津通彦  
 114 足利将軍邸会所の名所襖絵について 野口剛  
 120 関連略年表  
 122 主要参考文献  
 126 出品目録  
 \* A4変形判(222×297mm) 136ページ



カタログ表紙

#### 【雪舟と狩野派】

- 編集 山口県立美術館  
 執筆 荏開津通彦(山口県立美術館)・野田麻美(静岡県立美術館)  
 デザイン 栗原朗(クワハラデザイン)  
 発行 山口県立美術館  
 内容 002 ごあいさつ  
 005 第一章 国宝《山水長巻》と幻の雪舟筆山水図巻  
 015 雪舟の書  
 033 第二章 雪舟と富士山 [細川家と雪舟Ⅰ]  
 045 第三章 雪舟猿の屏風 [細川家と雪舟Ⅱ]  
 056 猿曳はどこから来たのか  
 057 第四章 山水図巻の謎 [細川家と雪舟Ⅲ]  
 060 『木下俊長由来書』の秘密  
 063 第五章 幕末狩野派と雪舟  
 070 雪舟と狩野派 江戸時代初期 荏開津通彦  
 082 江戸狩野派による雪舟「山水長巻(四季山水図)」(毛利博物館)の学習 野田麻美  
 092 主要参考文献  
 094 出品目録  
 \* A4変形判(222×297mm) 96ページ



カタログ表紙

## (4) 出品目録

【將軍家の襖絵】							●国宝 ○重要文化財 ○重要美術品
no.	指定	作者	作品名	材質	形状・頁数	制作年代	所蔵
足利將軍家の絵画—唐絵と和製の唐絵—							
1	●	李安忠 [伝]	鶉図	絹本着色	一幅	南宋時代・12～13世紀	根津美術館蔵
2	○	牧翁 [伝]	竹雀図	紙本墨画	一幅	元時代・13世紀	根津美術館蔵
3	○	雪舟等楊	倣李唐牧牛図(牧童)	紙本墨画淡彩	一幅	室町時代・15世紀	山口県立美術館蔵
4	○	雪舟等楊	倣李唐牧牛図(渡河)	紙本墨画淡彩	一幅	室町時代・15世紀	山口県立美術館蔵
5	○	雪舟等楊	倣夏珪山水図	紙本墨画淡彩	一幅	室町時代・15世紀	個人蔵
6	○	芸阿弥	観瀑図	紙本墨画淡彩	一幅	室町時代・文明12年(1480年)	根津美術館蔵
7	○	狩野正信	山水図	紙本墨画淡彩	二幅	室町時代・15世紀	九州国立博物館蔵
山水荘厳—四季山水と瀟湘八景—							
8	○	天章周文 [伝]	四季山水図屏風	紙本墨画淡彩	六曲一雙	室町時代・15世紀	ウッドワン美術館蔵
9	○	芸愛	山水図巻	紙本墨画淡彩	一卷	室町時代・16世紀	文化庁蔵
10	○	天章周文 [伝]	四季山水図屏風	紙本墨画淡彩	六曲一雙	室町時代・16世紀	白鶴美術館蔵
11	○	鑑貞	春夏山水図屏風	紙本墨画淡彩	六曲一雙	室町時代・16世紀	九州国立博物館蔵
12	○	狩野元信 [伝]	秋冬山水図屏風	紙本墨画淡彩	六曲一雙	室町時代・16世紀	九州国立博物館蔵
將軍の理想—勳戒と狩獵—							
13	○	伊沢八郎	梁楷筆耕作養蚕図巻模本	紙本墨画淡彩	二巻	江戸時代・天明6年(1786年)	東京国立博物館蔵
14	○	前島宗祐	四季耕作図屏風	紙本墨画淡彩	六曲一雙	室町時代・16世紀	神奈川県立歴史博物館蔵
15	○	狩野元信 [伝]	春夏耕作図屏風	紙本墨画淡彩	六曲一雙	室町時代・16世紀	九州国立博物館蔵
16	○	式部輝忠	韃靼人狩獵図屏風	紙本着色	六曲一雙	室町時代・16世紀	文化庁蔵
17	○	雲谷等益	韃靼人狩獵図屏風	紙本着色	八曲一雙	江戸時代・17世紀	個人蔵
和歌世界の領有—名所と遊樂—							
18	○	作者不詳	天橋立・須磨図屏風	紙本着色	六曲一雙	桃山時代・16世紀	個人蔵
19	○	進藤尚郁	住吉・近江名所図屏風	紙本着色	六曲一雙	江戸時代・享保20年(1735年)	個人蔵
20	○	作者不詳	石山寺蒔絵源氏筆筒	木胎漆塗り	一基	江戸時代・17世紀	根津美術館蔵
21	○	狩野永徳	洛外名所遊樂図屏風	紙本着色	四曲一雙	桃山時代・16世紀	個人蔵
22	○	浮田一憲	大堰川遊覧図屏風	紙本着色	六曲一雙	江戸時代・19世紀	泉涌寺蔵
周文画の記憶—山水景の中の花と鳥—							
23	○	芸愛	四季花鳥図屏風	紙本着色	六曲一雙	室町時代・16世紀	京都国立博物館蔵
24	○	狩野松栄	四季花鳥図屏風	紙本着色	六曲一雙	室町時代・16世紀	山口県立美術館蔵
25	○	狩野常信	四季花鳥図屏風	紙本着色	六曲一雙	江戸時代・17世紀	板橋区立美術館蔵
【雪舟と狩野派】							●国宝 ○重要文化財 ○重要美術品
no.	指定	作者	作品名	制作年代	材質	頁数	所蔵
国宝《山水長巻》と幻の雪舟筆山水図巻							
1	●	雪舟等楊	四季山水図巻(山水長巻)	室町時代 1486年(文明18)	紙本墨画淡彩	1巻	毛利博物館蔵
2	○	徐璉	送雲谷詩并序	明時代 1469年(成化5)	紙本墨書	1幅	毛利博物館蔵
3	○	魯庵	送雲谷詩并序	明時代 1468年(成化4)	紙本墨書	1幅	永青文庫蔵
4	○	狩野探幽	雪舟山水図巻	江戸時代 1671年(寛文11)	紙本墨画淡彩	1巻	個人蔵
5	○	雪舟等楊	山水図	室町時代 15世紀	紙本墨画	1幅	絲原記念館蔵
6	○	雪舟等楊	山水図	室町時代 15世紀	紙本墨画淡彩	1幅	福岡市美術館蔵
7	○	作者不詳	雲谷等村家蔵山水図巻	江戸時代 18世紀	紙本墨画淡彩	1巻	個人蔵
8	○	雪舟等楊	四季山水図巻(山水小巻)	室町時代 15世紀	紙本墨画淡彩	1巻	京都国立博物館蔵
9	○	狩野探幽	毛利秀元像	江戸時代 1651年(慶安4)	絹本墨画淡彩	1幅	下関市立歴史博物館蔵
10	○	雪舟等楊 [款]	西湖図	室町時代 16世紀	絹本墨画淡彩	1幅	静嘉堂文庫美術館蔵
雪舟と富士山							
11	○	雪舟等楊 [款]	富士三保清見寺図	室町時代 16世紀	紙本墨画	1幅	永青文庫蔵
12	○	狩野常信	富士三保清見寺図	江戸時代 18世紀	紙本墨画	1幅	鳥根県立石見美術館蔵
13	○	狩野探幽	富士山図	江戸時代 1666年(寛文6)	紙本墨画淡彩	1幅	鎌倉国宝館蔵
14	○	狩野探幽	富士山図屏風	江戸時代 17世紀	紙本墨画淡彩	1双	板橋区立美術館蔵
15	○	狩野山雪	富士三保松原図屏風	江戸時代 17世紀	紙本墨画金泥引	1双	静岡県立美術館蔵
16	○	狩野探幽	天橋立図模本	江戸時代 17世紀	紙本墨画淡彩	1幅	個人蔵
雪舟猿の屏風							
17	○	雪舟等楊 [款]	琴棋書画図屏風	室町時代 16世紀	紙本墨画淡彩	1双	永青文庫蔵
18	○	狩野元信 [伝]	猿曳図屏風	桃山時代 16～17世紀	紙本墨画淡彩	1隻	根津美術館蔵
19	○	狩野安信	猿曳・醉舞図屏風	江戸時代 17世紀	紙本墨画淡彩	1双	静岡県立美術館蔵
20	○	狩野探幽	猿曳図	江戸時代 17世紀	紙本墨画	1幅	個人蔵
山水図巻の謎							
21	○	雪舟等楊	山水図巻	室町時代 1474年(文明6)	紙本墨画	1巻	山口県立美術館蔵
22	○	原本雪舟	木下家山水図 [復元複製]	現代	紙本・インクジェット	1幅	山口県立美術館蔵
23	○	原本雪舟	細川家山水図 [復元複製]	現代	紙本・インクジェット	1幅	山口県立美術館蔵
24	○	雪舟等楊 [款]	山水図	江戸時代	紙本墨画	1幅	永青文庫蔵
幕末狩野派と雪舟							
25	○	雪舟等楊	梅潜寿老図	室町時代 15世紀	絹本着色	1幅	東京国立博物館蔵
26	○	狩野邦信	倣雪舟梅潜寿老図	江戸時代 19世紀	紙本着色	1幅	個人蔵
27	○	狩野芳崖	寿老人図	明治時代 19世紀	紙本墨画淡彩	1幅	静岡県立美術館蔵
28	○	狩野芳崖	寿老人図	明治時代 19世紀	紙本墨画淡彩	1幅	毛利博物館蔵

## (5) 講演会等

### ■入門講座

「周文・雪舟・探幽 唐絵の系譜」

講師：荏開津通彦(山口県立美術館 学芸専門監)

日時：令和4年10月2日(日) 14:00~15:00

会場：山口県立美術館講座室

定員：40名

### ■ギャラリーツアー

日時：9月18日(日)・10月2日(日) 11:00~11:40

## (2) 山口県美術展覧会

### 第74回山口県美術展覧会

会期：令和3年(2021年)12月3日(金)～12月19日(日) ※12月13日(月)休館  
主催：山口県

#### 運営委員(50音順)

岡本正康(下関市立美術館館長)  
金子 司(陶芸家、萩陶芸家協会理事)  
河村佳彦(観光スポーツ文化部文化振興課長)  
倉田研治(山口県立大学国際文化学部准教授)  
中野良寿(美術家、山口大学教育学部教授、N3アトラボ代表)  
原井輝明(画家、宇部フロンティア大学短期大学部准教授)  
山本綾香(防府市地域交流センター アスピラート事業係)  
若林英樹(山口県民文化ホールいわくにシンフォニア岩国館長)

#### (1) 審査員(50音順)

川浪 千鶴(インディペンデント・キュレーター)  
松井 紫朗(彫刻家、京都市立芸術大学教授)  
鷺田めるろ(十和田市現代美術館館長)

#### (2) 審査結果

出品点数	入選点数	入賞点数	入選・入賞合計点数	展示率(%)
396点	37点	23点	60点	15.2%

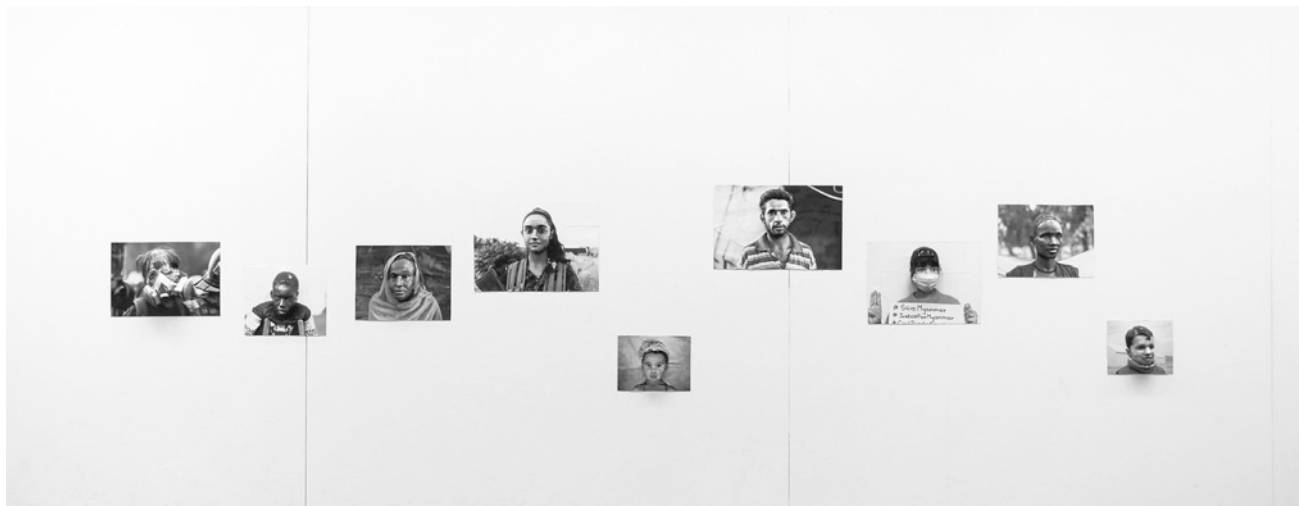
#### (3) 受賞者

〈大賞〉

Hello Japan

大村 洋二郎

広島県



大賞作品 Hello Japan 大村 洋二郎

〈優秀賞〉

包容

外出自粛

百花繚乱・コロナに負けるな花は咲く😊

コモンセンス

ドゥローイングによる行為とその現象 『Hot Night』

山口県立美術館2Fバージョン

木本 多津子

河野 孝文

田畑 省自

ミヤガミ/外

ミヨシイチロウ

周南市

光市

周南市

千葉県

岩国市

〈佳作〉

サーカスの夜

「起床時刻 就寝時刻 睡眠時間」No.7 2018 7.25 - 2020 8.29

「起床時刻 就寝時刻 睡眠時間」No.3 2009 4.5 - 2012 10.31

虚勢「あーだこーだ、なんやかんや、」

脳の天気

仮面

凍結結晶釉水紋大皿

ハレとケとくつした -complex shelter-

また、みんなと遊べる日を願って

移りゆく季節と変わらない風景

その先について……。 「甘い蜜壺に蓋をせよ」

あいちゃん

WOOD CUT シリーズ

オブジェー風景 2021S100-1

ふるさとの山

顔

理の探求

四季の海

河村 志津代

久遠 湖

コサカ ダイキ

難波 瑞穂

難波 瑞穂

藤井 輝昭

松田 淳

宗岡 卓治

村上 知亜砂

Motoco Tanabe

安永 福美

山下 哲郎

山根 秀信

山本 一芯

吉岡 幸音

和崎 正美

渡邊 正

周南市

山陽小野田市

防府市

福岡県

福岡県

周南市

島根県

山陽小野田市

広島県

山口市

岩国市

周防大島町

山口市

岩国市

山口市

島根県

山口市

〈特別展示〉

どこからかやってきて積もっていくほこりみたいな誰か

津川 奈菜

広島県

(4) ワークショップ

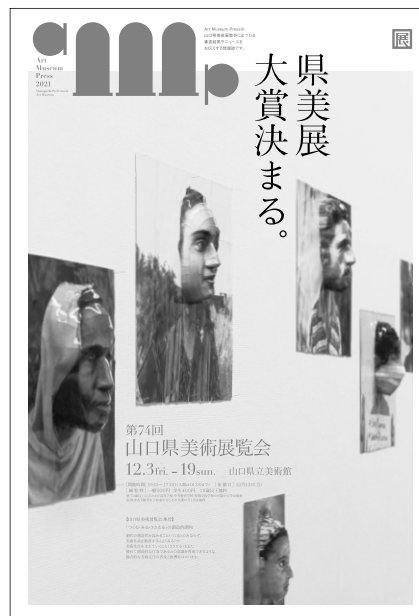
① 「自作を語る」

県美展入賞者・入選者による自作解説文を29点掲示。

② 「私のイチオシ！」

美術館ボランティアスタッフによる企画。来館者による入賞作品へのコメントを掲示。

コメントは展覧会終了後に出品者へフィードバックした。



タブロイド表紙

# 第75回山口県美術展覧会

会期：令和4年(2022年)11月24日(木)～12月11日(日) ※11月28日(月)休館  
主催：山口県

## 運営委員(50音順)

岡本正康(下関市立美術館館長)  
金子 司(陶芸家、萩陶芸家協会理事)  
河村佳彦(観光スポーツ文化部文化振興課長)  
倉田研治(山口県立大学国際文化学部准教授)  
中野良寿(美術家、山口大学教育学部教授、N3アートラボ代表)  
原井輝明(画家、宇部フロンティア大学短期大学部准教授)  
若林英樹(山口県民文化ホールいわくにシンフォニア岩国館長)

## (1) 審査員(50音順)

岩崎貴宏(美術作家)  
川浪千鶴(インディペンデント・キュレーター)  
千 宗屋(武者小路千家家元後嗣)

## (2) 審査結果

出品点数	入選点数	入賞点数	入選・入賞合計点数	展示率(%)
246点	70点	32点	102点	41.5%

## (3) 受賞者

### 〈大賞〉

ザルの惑星

吉村 大星

山口市



大賞作品 ザルの惑星 吉村大星

### 〈優秀賞〉

とびら

Zentangle(終息を願って)

The Back 1,2

原風景

オブジェ - 風景S40 - 2022

上本 ひとし

河童

中野 寿子

難波 瑞穂

山根 秀信

下松市

山口市

山口市

福岡県

山口市



〈佳作〉

サクラ5月

風のあしあとーうたかた(この庭に、落ち葉うたかた、とどまらず)

映す

PAPER - RANMA

ザ・ピーナッツ

下心。(化面)

時

祈り

エンドレス毎日

彩泥釉線状文壺

パーティーのあと

孫達のためにファイト!ファイト!!ファイト!!(私は74才の理容師です。)

映しだすもの

ある日のM

踊(日積八朔大踊り)

Self portrait 42-12

Dark Night Shine 2022

いのり(ももくり)

楽園 歩こう

たとえこの世界が崩壊したとしても

在る記憶の記録「私はこの島に生まれました」

our voice

全物質生命論 聖ジョルジュ編～ギリシャから人間へ～

氷華-この現実には咲く-

時

たどり着きしも、今宵の安寧や如何に?

石川 幸子

逢坂日出夫、河野文彦、

中原 修、田中 穰

大島 靖江

大谷 桂子

川中 和好

木村 富広

古村 裕子

島崎 こずえ

随行 奏子

角屋敷 公子

竹重 弘子

田畑省自 Family

土谷 寛子

手嶋 弘靖

西本 富雄

平田 詩織

平田 隆宏

松田 淳

宗岡 卓治

村上 知亜砂

森野 清和

守山 幸伸

矢田 誠一

山根 みどり

吉岡 幸音

レ昇る

岩国市

平生町

岩国市

萩市

周南市

下関市

下松市

和木町

広島県

周南市

福岡県

周南市

山口市

宇部市

柳井市

周防大島町

愛知県

島根県

山陽小野田市

広島県

下関市

宇部市

広島県

山口市

広島県

山口市

〈特別展示〉

明るく楽しく分かりやすい。安心安全人畜無害な展示

大村 洋二郎

広島県

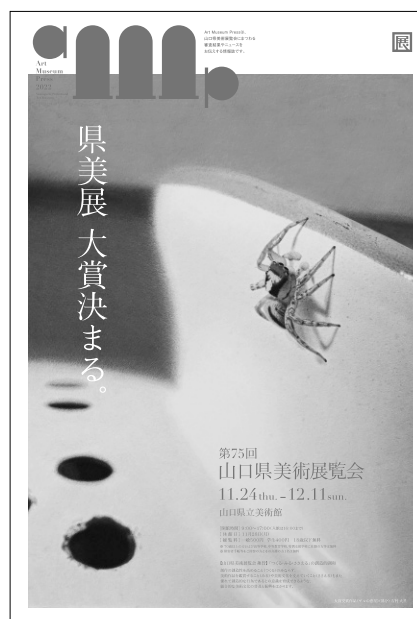
(4) ワークショップ

①「自作を語る」

県美展入賞者・入選者による自作解説文を63点掲示。

②「私のイチオシ!」

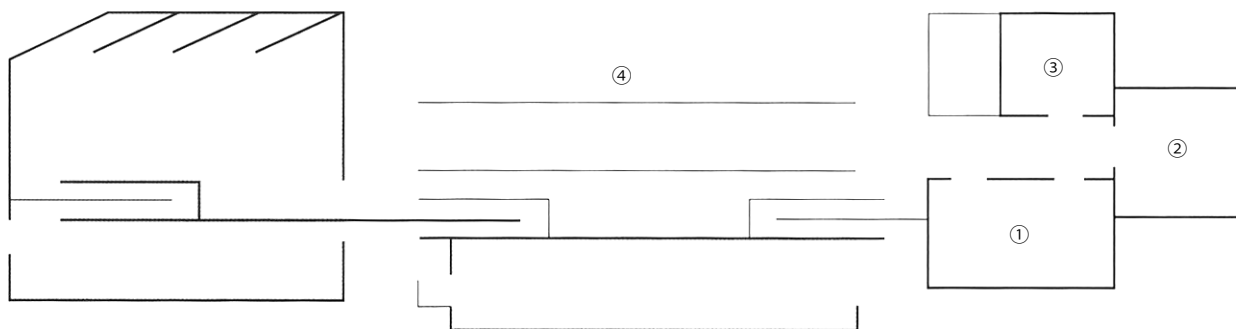
美術館ボランティアスタッフによる企画。来館者による入賞作品へのコメントを掲示。コメントは展覧会終了後に出品者へフィードバックした。



タブロイド表紙

### (3) コレクション展

館藏品(寄託品、借用作品を含む場合もあり)の常時公開の場としてコレクション展示室を設け、テーマを設定して館藏品を公開。近年は、同時に開催されている特別展と関連付けたテーマでコレクション展を企画したうえで、特別展とコレクション展がセットとなったお得チケットを販売。特別展への来館者がより多くコレクション展に入場するよう努めている。



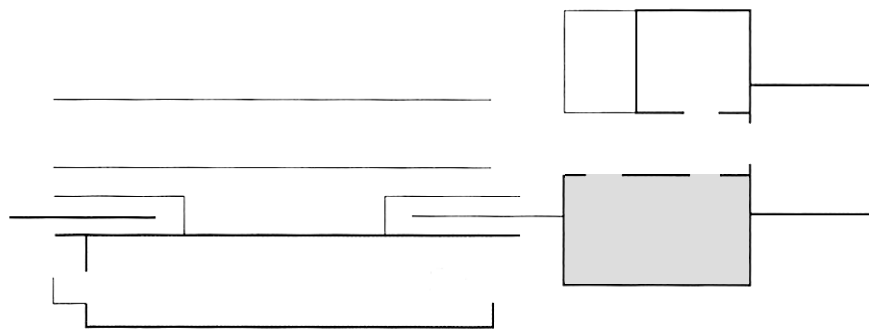
展示室A・B・C(①、②、③)  
野外展示場(④)

462.309㎡  
1,370.000㎡

#### \*凡例

- ・以下のコレクション展は、令和3年度(2021年度)、令和4年度(2022年度)のそれぞれについて、展示室ごとに整理し、原則として、名称、会期、趣旨概要、出品作品リストの順に記した。
- ・「出品作品リスト」中のIDの項には、原則として山口県立美術館における作品整理番号を記す。Zに始まる整理番号は寄託作品に付される。その他は『山口県立美術館蔵品目録1979』にほぼ準拠する。

令和3年度  
展示室A



山口の甲冑・武具 4月15日(木)～6月13日(日)

戦い方の変化によって形を変化させてきた甲冑・武具。やがて個性的な装飾が施されるようになり、多種多様なものが作り出されていった。鉄の芸術作品と呼ぶにふさわしいその魅力を、山口県ゆかりの逸品によって紹介した。

no.	作品名	作家名	制作年	所蔵
01	標糸胸紅白威胴丸具足 ※山口県指定文化財		桃山時代	毛利博物館
02	華文章包仏丸胴具足(尼子氏伝来)		桃山時代	山口県立山口博物館
03	防長古器考有図第六毛利廣圓家 (兜 結城秀康伝来具足のうち)		明和6～安永3年(1769-74)	山口県文書館
04	防長古器考有図第三十四二宮辰永家 (大袖 毛利元就伝来具足のうち)		明和6～安永3年(1769-74)	山口県文書館
05	中の丸宛 毛利元就書状		永祿12年(1569)10月	萩博物館
06	栗色革包紺糸威二枚胴具足(福原越後所用)		江戸時代後期	萩博物館
07	脇指「銘 長州住顕国」	顕国	応永年間(1394-1428)中頃	山口県立山口博物館
08	脇指「銘 二王清綱作」	二王清綱	室町時代	山口県立山口博物館
09	刀「銘 長門国住人直邦造之／天保六年仲秋」	二王直邦	天保6年(1835)	山口県立山口博物館
10	鎗・桐紋螺鈿拵 「銘 長州萩住玉井刑部左衛門尉二王方清作」	二王方清	17-18世紀	山口県立山口博物館
11	譜録 玉井治郎左衛門清忠細工人(刀鍛冶師)		明和3年(1766)	山口県文書館
12	温故東の花第四篇旧諸侯參勤御入府之図	楊洲周延	明治22年(1889)5月	山口県立山口博物館



チラシ(葉書変形)表面



チラシ裏面



解説パンフレット-詳細版(A4)



解説パンフレット-簡易版  
(A4変形・蛇腹型)

それぞれの「モダン」―大正昭和の日本画 7月8日(金)～8月2日(月)

当代人気画家が列挙された「改訂 古今書画名家一覧表」(昭和12(1937)年)には、特別展で紹介している小村雪岱の名がみえる。そこに同じく名を連ねる画家たちが、それぞれに「モダン」な感覚で描きだした、大正昭和期ならではの日本画を紹介した。

no.	作品名	作家名	制作年	材質	ID
01	梅妃	中村 貞以	大正13年(1924)	紙本着色	J-0289
02	春宵賀之図	樋口 富麻呂	大正13年(1924)	絹本着色	J-0134
03	唐美人図	檜崎 鉄香	大正8年(1919)	絹本着色	R-0054
04	盆踊り	北野 恒富	大正時代	絹本着色	J-0217
05	布袋	鯨崎 英朋	明治-昭和時代	絹本墨画淡彩	J-0330
06	鐘馗	鯨崎 英朋	明治-昭和時代	絹本着色	J-0331
07	黄初平	樋口 富麻呂	大正13年(1924)	絹本着色	J-0133
08	仮面の宴	山村 耕花	明治-昭和時代	紙本着色	J-0332
09	喫茶室	田口 壯	昭和9年(1934)	紙本着色	J-0264
10	人影	野長瀬 晩花	大正-昭和時代	絹本着色	J-0219
11	花水木二小禽図	玉村 方久斗	昭和3-4年(1928-29)	絹本着色金泥	J-0176
12	梅にかささぎ	兼重 暗香	昭和5年(1930)	絹本着色	J-0011

## たたずむ女たち—窠本武雄の世界 8月3日(火)～8月29日(日)

大正から昭和にかけて、主に京都で活動した窠本武雄(1901-96)。静謐な空間にたたずむ女たちは、上品でかすかな笑みを湛え、どこか夢幻的である。大画面に描かれ、独特の魅力を放つ窠本武雄の美人画の世界を紹介した。

no.	作品名	作家名	制作年	材質	ID
01	雪姫	窠本 武雄	昭和5年(1930)	絹本着色	J-0231
02	湖畔の女	窠本 武雄	大正時代	絹本着色	J-0223
03	雨上がり	窠本 武雄	昭和時代	絹本着色	J-0233
04	夕月	窠本 武雄	昭和8年(1933)	絹本着色	J-0232
05	梳る女	窠本 武雄	大正時代	絹本着色	J-0226
06	化粧	窠本 武雄	大正時代	絹本着色	J-0225
07	おふね	窠本 武雄	昭和2年(1927)	絹本着色	J-0234
08	献花	窠本 武雄	昭和時代	絹本着色	J-0236

※8月26日(木)～9月26日(日)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館となった。

## 雪舟の仏画 11月26日(金)～12月19日(日)

新型コロナウイルス感染症の流行による展覧会スケジュールの変更に伴い、臨時の企画として、「雪舟の仏画」「雪舟の山水画」(展示室C)を同時に開催することとした。「雪舟の仏画」では、新発見の伝雪舟筆《観音図》など雪舟による仏画を展示。

no.	作品名	作家名	制作年	材質	ID
01	雪舟像	雲谷等益	江戸時代17世紀	絹本墨画淡彩	Z-0094
02	雪舟像	雲谷等與	江戸時代17世紀	絹本墨画淡彩	Z-0147
03	騎獅文殊・黄初平・張果老図	雪舟等楊	室町時代15世紀	紙本墨画	Z-0289
04	東帯天神図	雪舟等楊	明応2年(1493)	紙本墨画淡彩	J-0154
05	達磨図	如寄 [款]	室町時代15世紀	紙本墨画淡彩	J-0308
06	達磨図	周徳	室町時代16世紀	紙本墨画淡彩	J-0205
07	楼閣山水人物図	雪舟 [款]	室町時代16世紀	紙本墨画淡彩	J-0088
08	観音図 如日虚空住幅	雪舟等楊 [款]	室町時代16世紀	紙本墨画淡彩	J-0298
09	観音図 或遭王難苦幅	雪舟等楊 [款]	江戸時代17-18世紀	紙本墨画淡彩	Z-0384
10	観音図模本 居士身幅	原本雪舟等楊	江戸時代18世紀	紙本墨画淡彩	Z-0378
11	観音図模本 自在天身幅	原本雪舟等楊	江戸時代18-19世紀	紙本墨画淡彩	Z-0158

## 黄金の花鳥 令和4年1月20日(木)～2月20日(日)

室町時代末から贈答や慶賀の席などに好んで用いられた豪華な金屏風。きらびやかな花鳥画の世界を、萩藩お抱え絵師・雲谷派の金色と極彩色の花鳥図屏風によって紹介した。

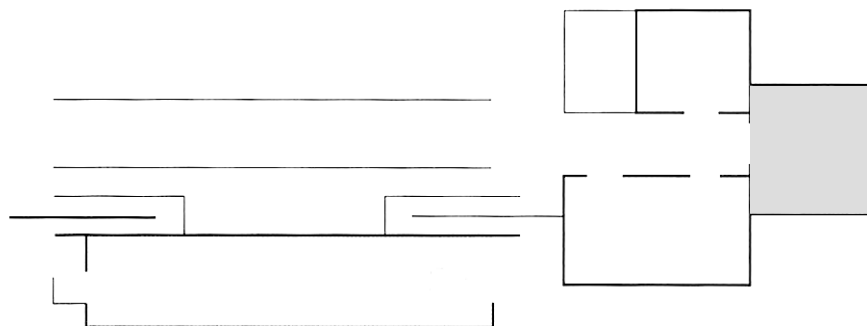
no.	作品名	作家名	制作年	材質	ID
01	群鶴図屏風	雲谷等與	17世紀	紙本金地着色	J-0132
02	花鳥図屏風	雲谷等鶴	17-18世紀	紙本金地着色	J-0109
03	牡丹図屏風	雲谷等恕	17-18世紀	紙本金地着色	Z-0001

## アメリカで愛される水墨画 令和4年3月1日(火)～4月17日(日)

ミネアポリス美術館に所蔵される日本絵画のラインナップを見ると、有名無名にかかわらず「見て面白い」作品が集められている。この展示では、当館の所蔵品の中から、「アメリカ人だったらこんな絵を選ぶのでは」と思われる面白い作品を紹介した。

no.	作品名	作家名	制作年	材質	ID
01	耕作図屏風	雲谷等與	江戸時代・17世紀	紙本墨画淡彩	J-0301
02	龍虎図屏風	雲谷等爾	江戸時代・17世紀	紙本墨画淡彩	J-0306
03	雪景山水図	雲谷等爾	江戸時代・17世紀	紙本墨画	R-0012-010
04	叭々鳥図	雲谷等爾	江戸時代・17世紀	紙本墨画	J-0272
05	瀟湘八景画帖	雲谷等顔	江戸時代・17世紀	紙本墨画	Z-0022

令和3年度  
展示室B



5GVRで探る山水長巻 4月15日(木)~6月13日(日)

令和2年度に開催した同企画の会期を延長して引き続き開催した。ただし、場所は展示室Bに変更。

コレクション特別企画 松田正平展 7月8日(木)~8月29日(日)

令和2年度、当館は50点を超える松田正平作品の寄贈を受けた。このことを記念して、新収蔵品を中心に、代表作を含む油彩、水彩、素描を画家のことばと併せて展示。詩情豊かな松田正平の世界を紹介した。展示室BおよびCの2室で開催。



チラシ(葉書変形)表面

チラシ裏面

no.	作品名	作家名	制作年	材質	ID
01	光海岸	松田正平	1950年頃	油彩/カンヴァス	O-0244
02	祝島風景	松田正平	1953年	油彩/カンヴァス	O-0270
03	こち	松田正平	1950-55年頃	油彩/カンヴァス	O-0275
04	魚	松田正平	1960年代	油彩/カンヴァス	O-0277
05	烏賊	松田正平	1965年	油彩/カンヴァス	O-0279
06	釣り舟(祝島梅雨)	松田正平	1980年代	油彩/カンヴァス	O-0271
07	祝島	松田正平	1970-80年代	油彩/カンヴァス	O-0272
08	周防灘風景	松田正平	1979年	油彩/カンヴァス	Z-0273
09	周防灘	松田正平	1989年	油彩/カンヴァス	O-0268
10	周防灘	松田正平	1980-90年代	油彩/カンヴァス	Z-0142
11	周防灘(祝島)	松田正平	1980年	油彩/カンヴァス	O-0139
12	周防灘	松田正平	1974年	油彩/カンヴァス	O-0227
13	祝島風景	松田正平	1994年	油彩/カンヴァス	O-0269
14	バラ	松田正平	1980-90年代	油彩/カンヴァス	O-0283
15	バラ	松田正平	1978年	油彩/カンヴァス	O-0276
16	バラ	松田正平	1950-60年代	パステル・鉛筆/紙	D-0055
17	バラ	松田正平	1970-80年代	水彩・パステル・鉛筆/紙	W-0406
18	笛吹き	松田正平	1983年	油彩/カンヴァス	O-0274
19	辻音楽師	松田正平	1980-90年代	水彩・パステル・鉛筆/紙	W-0404
20	少女	松田正平	1980-90年代	油彩/カンヴァス	O-0282
21	NC嬢	松田正平	1977年	油彩/カンヴァス	O-0278
22	四国犬	松田正平	1979年	油彩/カンヴァス	O-0234
23	筍	松田正平	1970-80年代	油彩/カンヴァス	O-0273
24	洋梨	松田正平	1970年	油彩/カンヴァス	O-0231
25	小魚	松田正平	1960-70年代	油彩/カンヴァス	O-0285
26	くわい	松田正平	1980-90年代	油彩/カンヴァス	O-0281
27	裸婦	松田正平	1970-80年代	油彩/カンヴァス	O-0280
28	裸婦	松田正平	1980-90年代	油彩/カンヴァス	O-0284
29	ボクシング	松田正平	1960年代	水彩/紙	W-0402
30	アダムとイヴ	松田正平	制作年不詳	グワッシュ・クレヨン・色鉛筆/紙	W-0385
31	周防灘	松田正平	1999年	水彩・パステル/紙	W-0399
32	鯉のぼり	松田正平	1980-90年代	パステル/紙	D-0049
33	祝島	松田正平	1987年	パステル/紙	D-0052
34	ハゲ(カワハギ)	松田正平	1991年	パステル・鉛筆/紙	D-0053
35	たこ	松田正平	1980-90年代	パステル・鉛筆/紙	D-0059
36	船おろし	松田正平	1991年	パステル・鉛筆/紙	D-0051
37	自画像	松田正平	2000年	鉛筆/紙	D-0047

※8月26日(木)~9月26日(日)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館となった。

## パノラマ山水長巻—国宝・四季山水図 11月26日(金)~12月19日(日)

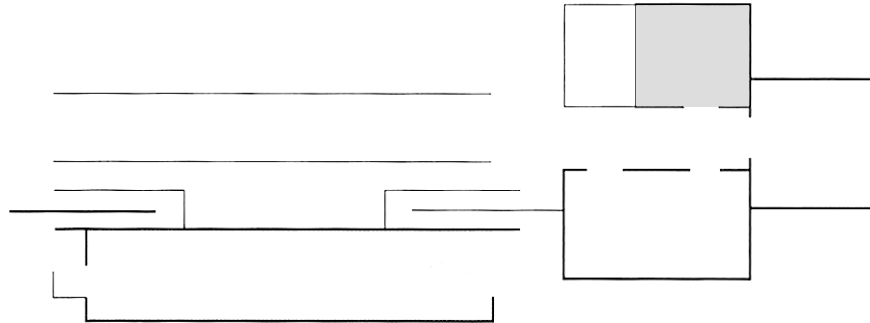
雪舟等楊《四季山水図(通称：山水長巻)》(国宝・毛利博物館蔵)のパノラマ映像展示を行った。

## HEART特別企画 志村信裕展 令和4年1月20日(木)~4月17日(日)

秋吉台国際芸術村のレジデンス・サポート・プログラムへの参加(2012-13)を機に、一時、山口を拠点に活動した作家、志村信裕(1982-、東京生まれ)。山口で制作した《見島牛》(2015)ほか、3点を紹介した。

no.	作品名	作家名	制作年	材質	ID
01	見島牛	志村信裕	2015年	8ミリ白黒フィルムを変換したビデオ、サウンド、20分26秒	V-0001
02	光の曝書	志村信裕	2014年	ビデオ、古書(『日本新名勝俳句』1931年刊)	作家蔵
03	ルーブルの羊	志村信裕	2019年	8ミリカラーフィルムを変換したビデオ、サイレント、2分	作家蔵

令和3年度  
展示室C



顔・カオ・貌 4月15日(木)～6月13日(日)

私たちは、普段目にするたくさんの〈カオ〉から、その人の個性や感情といった情報を読み取っている。山口県立美術館のコレクションから、作品に表現された様々な〈カオ〉を紹介した。

no.	作品名	作家名	制作年	材質	ID
1	怒髪天をつく	桂ゆき	1953年	油彩／カンヴァス	O-0166
2	笑う人	桂ゆき	1968年	油彩／カンヴァス	O-0054
3	つぶされた	桂ゆき	1973年	油彩／紙・板	O-0128
4	猫になった女	桂ゆき	1950年	油彩／カンヴァス	O-0165
5	渴	中本達也	1958年	油彩／カンヴァス	O-0118
6	人	中本達也	1967年	油彩／カンヴァス	O-0125
7	四国犬	松田正平	1990年	油彩／カンヴァス	O-0261
8	画家の父	松田正平	1942年	油彩／カンヴァス	O-0153
9	自画像	松田正平	1955年	油彩／カンヴァス	O-0215
10	M夫人の肖像	松田正平	1953年	油彩／カンヴァス	O-0236
11	大威徳明王	松田正平	1975年	油彩／カンヴァス	O-0090
12	女性肖像(パリの女)	松田正平	1984年	油彩／カンヴァス	O-0221
13	FISH-84-8	吉村芳生	1984年	鉛筆／紙	D-0023
14	フォードと郭	郭徳俊	1976年	石版／紙	P-0186
15	ハロウィーン	石元泰博	1959-61年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1425
16	フランソワーズ・サガン	川原舜	1954-55年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1565
17	高山稲荷<婆バクハツ>より	内藤正敏	1970年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0193
18	白紙	福田勝治	1952年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0401
19	おとめ	福田勝治	1952年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0399
20	静物	福田勝治	1952年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0400

コレクション特別企画 松田正平展 7月8日(木)～8月29日(日)

※詳細は令和3年度コレクション展示室Bの項を参照(51頁)。

雪舟の山水画 11月26日(金)～12月19日(日)

新型コロナウイルス感染症の流行による展覧会スケジュールの変更に伴い、臨時の企画として、「雪舟の仏画」(展示室A)「雪舟の山水画」を同時に開催することとした。「雪舟の山水画」では、当館所蔵の雪舟筆重要文化財3点を展示。

no.	作品名	作家名	制作年	材質	ID
01	山水図巻	雪舟等楊	室町時代15世紀	紙本墨画	J-0070
02	木下家山水図(複製)	原本雪舟	現代	紙本インクジェットプリント	
03	細川家山水図(複製)	原本雪舟	現代	紙本インクジェットプリント	
04	傲夏珪山水図	雪舟等楊	室町時代15世紀	紙本墨画淡彩	Z-0277
05	傲李唐牧牛図(牧童)	雪舟等楊	室町時代15世紀	紙本墨画淡彩	J-0076
06	傲李唐牧牛図(渡河)	雪舟等楊	室町時代15世紀	紙本墨画淡彩	J-0077

## ウィン・パロッカー人と自然 令和4年1月20日(木)～2月20日(日)

森や海など、自然をとらえた写真で知られるウィン・パロック(1902-75)。当館が所蔵する全12点のほか、コレクションから人と自然をキーワードに選んだ写真を紹介した。

no.	作品名	作家名	制作年	材質	ID
01	森の中の子ども	ウィン・パロック	1951年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1672
02	流木	ウィン・パロック	1951年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1673
03	森の中の女と犬	ウィン・パロック	1953年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1674
04	子どもと未知のもの	ウィン・パロック	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1675
05	蜘蛛の巣まみれの窓のフード	ウィン・パロック	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1676
06	女の手	ウィン・パロック	1956年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1677
07	森の道の子ども	ウィン・パロック	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1678
08	テールライト	ウィン・パロック	1968年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1679
09	椰子の木	ウィン・パロック	1968年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1680
10	小石の浜	ウィン・パロック	1970年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1681
11	ロボス岬の潮溜り	ウィン・パロック	1972年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1682
12	ロボス岬の岩	ウィン・パロック	1973年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1683
13	『SELF AND OTHERS』(1977)より	牛腸茂雄	1976-77年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0071
14	『SELF AND OTHERS』(1977)より	牛腸茂雄	1976-77年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0122
15	〈島へ〉より	中村正也	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1614
16	〈島へ〉より	中村正也	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1615
17	〈島へ〉より	中村正也	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1619
18	パパとママとコドモたち〈綴方・私の家族〉より	植田正治	1949年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-2038
19	砂丘群像 土門拳、石津良介、桑原甲子雄たち	植田正治	1949年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-2050
20	少女たち	植田正治	1945年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-2053
21	西津軽郡木造町	小島一郎	1959年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-2011
22	西津軽郡車力村	小島一郎	1959年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-2013
23	ハマドリユース	フランク・クニキチ・アサシゲ	1924年頃	ゴム印画	Ph-2193
24	冬になるとーぼつぼつと打ち上げられるアオイガイ、阿武町・清ヶ浜『萩の日々』(1998)より	下瀬信雄	1992年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-2088
25	潮が写りいた磯の潮だまり、笠山・虎ヶ崎『萩の日々』(1998)より	下瀬信雄	1992年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-2089
26	森の中の子供たち、指月山『萩の日々』(1998)より	下瀬信雄	1987年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-2094

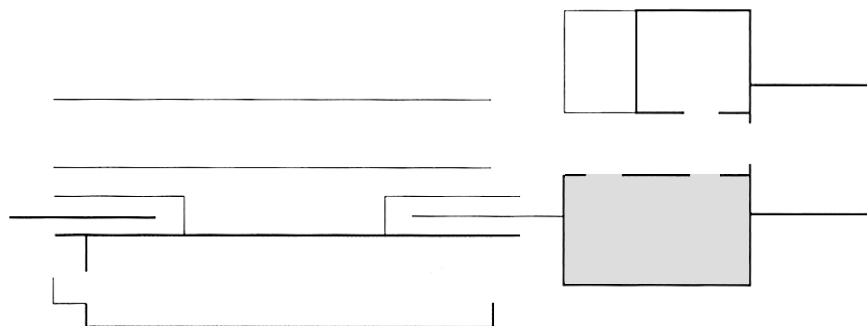
## アンセル・アダムズ ー悠久の自然に母国への愛を込めてー 令和4年3月1日(火)～4月17日(日)

アンセル・アダムズ(1902-84)は、特にヨセミテ渓谷を有するシエラ・ネバダ山脈の各所を撮影した写真で知られる。20世紀アメリカを代表するこの写真家の、当館が所蔵する全20点を紹介した。

no.	作品名	作家名	制作年	材質	ID
01	ハーブ・ドーム、マーセド川、冬、ヨセミテ国立公園、カリフォルニア州	アンセル・アダムズ	1938年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0287
02	月の出、ニューメキシコ州ヘルナンデス	アンセル・アダムズ	1941年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0278
03	ロッジボール・バインス、マーセド川支流ライエル川、ヨセミテ国立公園、カリフォルニア州	アンセル・アダムズ	1921年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0284
04	架橋前のゴールデン・ゲート、カリフォルニア州サンフランシスコ	アンセル・アダムズ	1932年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0292
05	ゴースト・ランチ・ヒルズ、チャマ渓谷、ニューメキシコ州北部	アンセル・アダムズ	1937年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0293
06	果樹園、ポートラ渓谷、カリフォルニア州	アンセル・アダムズ	1940年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0290
07	オールド・フェイスフル・ガイザー、イエローストーン国立公園、ワイオミング州	アンセル・アダムズ	1942年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0294
08	冬の日の出、シエラ・ネヴァダ山脈、カリフォルニア州ローン・バインより	アンセル・アダムズ	1944年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0280
09	トレーラー・キャンプの子供たち、カリフォルニア州リッチモンド	アンセル・アダムズ	1944年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0283
10	冬の嵐の晴れ間、ヨセミテ国立公園、カリフォルニア州	アンセル・アダムズ	1944年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0281
11	ウィリアムズ山、シエラ・ネヴァダ山脈、カリフォルニア州マンザナーより	アンセル・アダムズ	1945年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0279
12	テナヤ湖、コンネス山、ヨセミテ国立公園、カリフォルニア州	アンセル・アダムズ	1946年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0288
13	道端、アラスカ州ジュノー付近	アンセル・アダムズ	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0296
14	秋の夜明け、グレート・スモーク山脈国立公園、テネシー州	アンセル・アダムズ	1948年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0297
15	教会と道、カリフォルニア州ボデガ	アンセル・アダムズ	1953年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0291
16	樹林、スライド湖、グランド・ティトン国立公園	アンセル・アダムズ	1965年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0285
17	秋の嵐、ロス・トランパス、ニューメキシコ州ベニヤスコ付近	アンセル・アダムズ	1958年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0295
18	バラと流木、カリフォルニア州サンフランシスコ	アンセル・アダムズ	1932年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0286
19	ホセ・クレメンテ・オロスコ、ニューヨーク	アンセル・アダムズ	1933年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0282
20	夕方の雲と池、オーウェンス渓谷から見たシエラ・ネヴァダ山脈東麓、カリフォルニア州	アンセル・アダムズ	1962年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0289



令和4年度  
展示室A



日本画のリアル I —花鳥— 4月27日(水)～6月19日(日)

近代以前の日本の画家にとって、当たり前のものではなかった写実的表現。中世から近現代までの画家の花鳥画を展示し、それぞれの画家にとってのリアルを、時代や画風の違いのなかに探った。

no.	作品名	作家名	制作年	材質	ID
01	人物花鳥図他貼交屏風	雲谷派	17-18世紀	紙本・絹本着色	J-0239
02	花鳥図	朝倉南陵	19世紀	絹本着色	J-0191
03	秋園	松林 桂月	昭和13年(1938)	絹本着色	Z-0250
04	白鷹図	曾我 直庵	16-17世紀	紙本着色	J-0116
05	架鷹図	三谷 等宿	17世紀	紙本着色	J-0279
06	大鷹	福田 翠光	昭和22年(1947)	絹本着色	J-0044
07	葡萄園	元賀	16世紀	紙本墨画	J-0149
08	雨後	松林 桂月	昭和30年(1955)	絹本墨画	Z-0089
09	花鳥図	雲谷 等哲	17世紀	絹本着色	J-0091
10	長春花図	松林 雪貞	昭和28年(1953)	絹本着色	J-0318

日本画のリアル II —動物— 5月24日(火)～6月19日(日)

古来、古画を手本に描いてきた日本の画家だが、18世紀後半から写生が重視され、近代以降さらに推し進められゆく。その違いを近世・近現代の山口ゆかりの画家たちによる動物画によって紹介した。

no.	作品名	作家名	制作年	材質	ID
01	孔雀図	朝倉 南陵	文政11年(1828)	絹本着色	J-0079
02	猿猴図屏風	森 周峰	18-19世紀	紙本着色	J-0079
03	雪中松鳩・寒中竹雀図	小田 海櫻	昭和13年(1938)	絹本着色	J-0099
04	桜に鳩	兼重 暗香	昭和18年(1943)頃	紙本着色	J-0327
05	鯉図屏風	雲谷 等益	17世紀	紙本墨画淡彩	J-0123
06	鯉高仙人図屏風	森 寛斎	19世紀	絹本墨画淡彩	Z-0376
07	芦鶴図屏風	雲谷 等益	寛永18年(1641)	紙本着色	Z-0155
08	鶴雛	福田 翠光	昭和9年(1934)	絹本着色	J-0041

江戸時代の動的画卷 <sup>アニメーション</sup> 7月8日(金)～9月4日(月)

萩藩の儒学者・佐々木縮往(1648-1733)が手掛けた「塞外射獵図」は、古代のモンゴル高原を舞台に狩獵や宴を楽しむ遊牧騎馬民族の様子が、横10メートルにわたって展開する巻物。その色鮮やかで躍動感あふれる描写は、まさにアニメーション。300年前のスペクタクルを紹介した。

no.	作品名	作家名	制作年	材質	所蔵先
01	塞外射獵図	佐々木縮往	享保14(1729)年	絹本着色	J-0083

雪舟流 —《山水長巻》と雲谷派— 9月16日(金)～10月16日(日)

桃山時代から江戸時代中期にかけ、雪舟の国宝《四季山水図(山水長巻)》(毛利博物館蔵)を管理し、雪舟流を継いだ萩藩お抱え絵師・雲谷派。《山水長巻》を学習し、狩野派とは異なる展開を見せた、初代・等顔と2代・等益、および萩藩毛利家旧蔵・伝雪舟の3つの「山水図屏風」を紹介した。

no.	作品名	作家名	制作年	材質	ID
01	山水図屏風	雲谷等顔	桃山時代	紙本墨画淡彩	J-0261
02	瀟湘八景図屏風	雲谷等益	江戸時代・17世紀	紙本墨画淡彩	J-0131
03	山水図屏風	伝雪舟	江戸時代	紙本墨画淡彩	J-0207

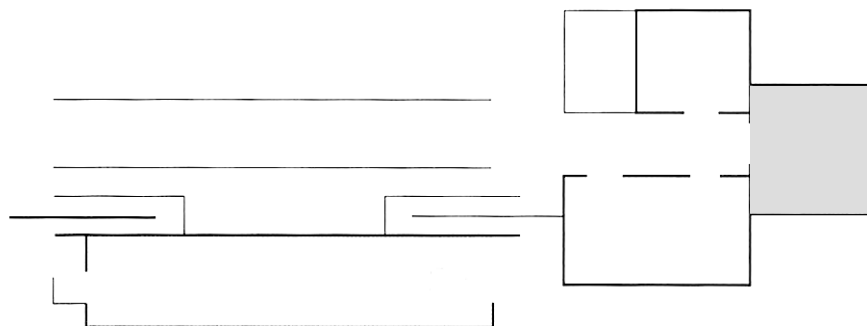
## 森寛齋と森派の絵画 10月25日(火)～12月11日(日)

森寛齋(1814-1894)は、幕末から明治時代に京都を中心に活躍した円山派の画家。寛齋の師である森徹山や森一鳳などの森派の画家による、日本画らしい雅やかな作品の数々を紹介した。

no.	作品名	作家名	制作年	材質	ID
01	巖上鷺図屏風	森寛齋	明治時代・19世紀	紙本墨画淡彩	J-0148
02	山水図屏風	森寛齋	1868年	紙本墨画淡彩	J-0066
03	牡丹小禽図屏風	森寛齋	1843年	絹本着色	J-0324
04	京人形図	森寛齋	1885年	絹本着色	J-0152
05	菽羊図	森寛齋	明治時代・19世紀	絹本着色	J-0122
06	月下狸図	森徹山	江戸時代・19世紀	絹本墨画淡彩	J-0120
07	手長猿図	森狙仙	江戸時代・19世紀	絹本墨画淡彩	J-0117
08	熊図	森一鳳	江戸時代・19世紀	絹本墨画淡彩	J-0121

※12月12日(月)～令和5年3月31日(月)まで、改修工事のため臨時休館した。

令和4年度  
展示室B



**中本達也 真の人間性を求めて** 4月27日(水)～6月19日(日)

生誕100年を迎える、周防大島出身の画家・中本達也(1922-73)。生き物や人をモチーフとした、重厚なマチエールを特徴とする作品から、頭部の大きな人間像が印象的な「残された壁」シリーズまで、その独特な感性に貫かれた作品を紹介した。

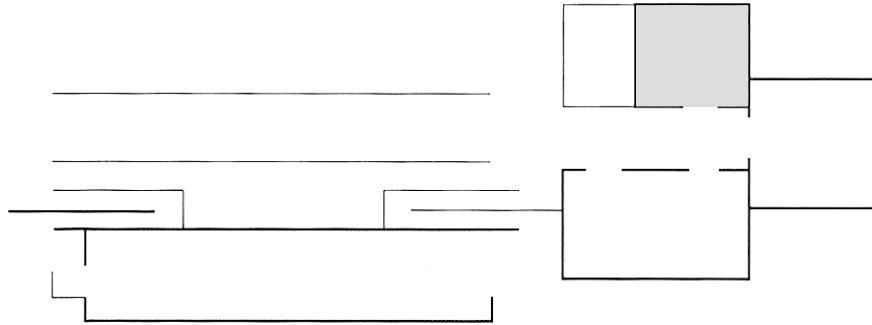
no.	作品名	作家名	制作年	材質	ID
01	干魚	中本達也	1956年	油彩／カンヴァス	O-0171
02	洪水	中本達也	1956年	油彩／カンヴァス	O-0116
03	憩える海人	中本達也	1957年	油彩／カンヴァス	O-0117
04	魚人	中本達也	1958年	油彩／カンヴァス	O-0081
05	海の扉	中本達也	1961年	油彩／カンヴァス	O-0120
06	森の声	中本達也	1960年	油彩／カンヴァス	O-0119
07	罨	中本達也	1960年	油彩／カンヴァス	O-0131
08	岩の蛾	中本達也	1961年	油彩／カンヴァス	O-0121
09	残された壁(女)	中本達也	1967年	油彩・紙／カンヴァス	O-0123
10	残された壁(祭壇)	中本達也	1967年	油彩・紙／カンヴァス	O-0122
11	残された壁(女と男C)	中本達也	1967年	油彩・紙／カンヴァス	O-0082
12	人	中本達也	1967年	油彩／カンヴァス	O-0125

**パノラマ山水長巻—国宝・四季山水図** 9月16日(金)～12月11日(日)

毛利博物館所蔵の国宝《四季山水図(山水長巻)》を7.5倍に拡大し、約10メートルの壁3面に投影したパノラマ映像による山水長巻(縦3メートル)の展示。大きなスケールで、雪舟の筆さばきを紹介した。

※12月12日(月)～令和5年3月31日(月)まで、改修工事のため臨時休館した。

令和4年度  
展示室C



写真のリアル 戦後写真の一断面 4月27日(水)~6月19日(日)

外観がどれほどリアルに再現されていようとも、それだけではいい「写真」ではなさそうである。「写」し出される「真」とは、外界を超えた何かなのだ。日本の戦後写真が求めたリアルを紹介した。

no.	作品名	作家名	制作年	材質	ID
01	犬を背負った少年、三宅坂参謀本部跡	林 忠彦	1946年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0299
02	煙草をくゆらす浮浪児、上野	林 忠彦	1946年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0300
03	引き揚げ 上野駅	林 忠彦	1946年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0301
04	裸婦 『人體頌歌』(1947)より	福田 勝治	1946年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0669
05	裸婦 『人體頌歌』(1947)より	福田 勝治	1946年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0668
06	入江たか子	福田 勝治	1946年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0645
07	パパとママとコドモたち	植田 正治	1949年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-2038
08	砂丘ヌード	植田 正治	1949年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-2044
09	土門拳と朝倉君	植田 正治	1949年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-2049
10	雪の中のこども 『童歴』(1971)より	植田 正治	1951年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-2055
11	青空楽団〈浅草にて〉より	金井 精一	1950年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0319
12	街角〈浅草にて〉より	金井 精一	1950年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0321
13	サーカス〈浅草にて〉より	金井 精一	1951年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0325
14	ロック座楽屋口〈浅草にて〉より	金井 精一	1951年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0323
15	ロック座裏〈浅草にて〉より	金井 精一	1951年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0322
16	女剣劇 浅草	林 忠彦	1949年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0309
17	坊主とストリップ、浅草	林 忠彦	1954年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0307
18	日本女性と東京見物をする進駐軍兵士、皇居前広場	林 忠彦	1955年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0317
19	光りの貝殻	福田 勝治	1949年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0406
20	太陽光	福田 勝治	1952年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0396
21	豊かな乳房は円味の極楽	福田 勝治	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0663
22	秋田おぼこ〈秋田〉	木村 伊兵衛	1953年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0344
23	秋田市泉〈秋田〉	木村 伊兵衛	1952年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0347
24	大曲 内小友〈秋田〉	木村 伊兵衛	1954年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0336
25	大曲 小貫〈秋田〉	木村 伊兵衛	1954年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0341
26	休みのひととき、大曲 内小友〈秋田〉	木村 伊兵衛	1957年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0340
27	若い人、大曲 内小友〈秋田〉	木村 伊兵衛	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0348
28	大曲 西根〈秋田〉	木村 伊兵衛	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0350
29	1956年の春『ピカドン ある原爆被災者の記録』(1961)より	福島菊次郎	1956年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0376
30	働く蓉子『ピカドン ある原爆被災者の記録』(1961)より	福島菊次郎	1956年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0377
31	入学式の朝『ピカドン ある原爆被災者の記録』(1961)より	福島菊次郎	1957年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0379
32	おかあさんの墓『ピカドン ある原爆被災者の記録』(1961)より	福島菊次郎	1957年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0380
33	蓉子の青春『ピカドン ある原爆被災者の記録』(1961)より	福島菊次郎	1960年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0382
34	7度目の入院『ピカドン ある原爆被災者の記録』(1961)より	福島菊次郎	1960年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0383
35	悶絶した父親『ピカドン ある原爆被災者の記録』(1961)より	福島菊次郎	1960年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0388
36	蓉子の悲しみ『ピカドン ある原爆被災者の記録』(1961)より	福島菊次郎	1960年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0384
37	原爆症に蝕まれて『ピカドン ある原爆被災者の記録』(1961)より	福島菊次郎	1960年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0391
38	27歳になった蓉子	福島菊次郎	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0394
39	田植女 富山 中新川白萩『裏日本』(1957)より	濱谷浩	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0362
40	津軽の男 青森 中里近郷『裏日本』(1957)より	濱谷浩	1951年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0351
41	冬の道 秋田『裏日本』(1957)より	濱谷浩	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0353
42	山の湯治場 青森 谷地温泉『裏日本』(1957)より	濱谷浩	1957年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0357
43	嫁入り 石川『裏日本』(1957)より	濱谷浩	1957年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0359
44	寒い日の海女 福井 東尋坊	濱谷浩	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0360
45	青年宿 山口 萩・玉江浦	濱谷浩	-	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0367
46	伊勢湾台風2 名古屋	東松照明	1959年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1457
47	〈家〉より 熊本・天草下島	東松照明	1959年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1465
48	『〈11時02分NAGASAKI〉』(1966)より 爆心地から訳0.7kmの上野町から振り出された腕時計	東松照明	1961年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1447
49	『〈11時02分NAGASAKI〉』(1966)より 熱戦とその後の火災で溶解変形した瓶	東松照明	1961年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1457
50	『〈11時02分NAGASAKI〉』(1966)より	東松照明	1961年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-1457

51	『センチメンタルな旅』	荒木 経惟	1971年	写真集	図書資料
52	『センチメンタルな旅』(1971)より	荒木 経惟	1971年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0173
53	『センチメンタルな旅』(1971)より	荒木 経惟	1971年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0174
54	『センチメンタルな旅』(1971)より	荒木 経惟	1971年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0187
55	『センチメンタルな旅』(1971)より	荒木 経惟	1971年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0189
56	『センチメンタルな旅』(1971)より	荒木 経惟	1971年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0190
57	『センチメンタルな旅』(1971)より	荒木 経惟	1971年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	Ph-0191

### 松田正平と宇部 7月8日(金)～9月4日(日)

洋画家の松田正平(1913-2004)にとって、宇部は幼少期を過ごした故郷であると同時に、人生の最期の時間を過ごした終焉の地。戦前のパリ留学を支援したのもこの町の有力者たち。パリでの経験は、その後の松田に、公私にわたって大きな影響を与えた。宇部との結びつきを通して、松田正平の創作活動を紹介した。

no.	作品名	作家名	制作年	材質	ID
01	婦人像	松田正平	1935年		O-0237
02	N氏の肖像	松田正平	1935年	油彩/カンヴァス	O-0243
03	自画像	松田正平	1937年	油彩/カンヴァス	O-0241
04	裸婦	松田正平	1938年	油彩/カンヴァス	O-0157
05	二人の裸婦	松田正平	1939年	油彩/カンヴァス	O-0239
06	NC嬢	松田正平	1974年	油彩/カンヴァス	O-0220
07	NC嬢	松田正平	1977年	油彩/カンヴァス	O-0278
08	笛吹き	松田正平	1983年	油彩/カンヴァス	O-0274
09	M夫人の肖像	松田正平	1953年	油彩/カンヴァス	O-0236
10	顔を覆う女	松田正平	1953年	油彩/カンヴァス	O-0170
11	燈台	松田正平	1959年	油彩/カンヴァス	Z-0071
12	燈台(宇部港湾)	松田正平	1960年	油彩/カンヴァス	Z-0072
13	バラ	松田正平	1958年	油彩/カンヴァス	O-0212
14	バラ	松田正平	1978年	油彩/カンヴァス	O-0276
15	バラ	松田正平	1950-60年代	パステル・ペン・鉛筆/紙	D-0055
16	バラ	松田正平	1960-70年代	パステル・鉛筆/紙	D-0056
17	バラ	松田正平	1978年	ボールペン・色鉛筆・鉛筆/紙	D-0036
18	バラ	松田正平	不詳	クレヨン・色鉛筆・鉛筆/紙	D-0037
19	バラ	松田正平	1980年	クレヨン・色鉛筆・鉛筆/紙	D-0038
20	バラ	松田正平	1970-80年代	水彩・パステル・鉛筆/紙	W-0406
21	自画像	松田正平	2000年	鉛筆/紙	D-0047

### 香月泰男の造形の軌跡 —1930～1950年代— 9月16日(金)～10月16日(日)

太平洋戦争とシベリア抑留の体験を絵画化したシベリア・シリーズで知られる香月泰男(1911-74)。1936年に東京美術学校を卒業した香月は、従軍と抑留によって画業の中断を余儀なくされながらも、1950年代末に独特の画風を確立するまで試行錯誤を続けた。初期のシベリア・シリーズも交えて、1930～50年代の画業の変遷を紹介した。

no.	作品名	作家名	制作年	材質	ID
01	風景	香月泰男	1936年	油彩/カンヴァス	O-0127
02	裸婦	香月泰男	1930年代前半	油彩/カンヴァス	O-0204
03	ホロンバイル	香月泰男	1944年	油彩/麻布	O-0260
04	施療	香月泰男	1947年	油彩/カンヴァス	Z-0143
05	牛	香月泰男	1948年	油彩/カンヴァス	Z-0144
06	休憩	香月泰男	1947年	油彩/カンヴァス	O-0255
07	幼鷺	香月泰男	1948年	油彩/カンヴァス	O-0177
08	埋葬	香月泰男	1948年	油彩/カンヴァス	O-0162
09	自影	香月泰男	1949年	油彩/カンヴァス	Z-0249
10	馬鈴薯	香月泰男	1953年	油彩/カンヴァス	O-0214
11	とまと	香月泰男	1950-55年頃	油彩/カンヴァス	O-0209
12	えび	香月泰男	1955年	水彩・鉛筆/紙	Z-0058
13	桃	香月泰男	1955年	水彩・鉛筆/紙	Z-0065
14	野いばら	香月泰男	1955年	水彩・鉛筆/紙	Z-0056
15	太陽と自転車	香月泰男	1955年	墨・クレヨン/紙	Z-0062
16	左官	香月泰男	1956年	油彩/カンヴァス	O-0007

### 宮崎進展 10月25日(火)～12月11日(日)

生誕100年を迎える周南市出身の画家・宮崎進(1922-2018)。4年間のシベリア抑留から帰国後、人間をテーマにした独特な表現で高い評価を得るが、80年代になってシベリアをテーマに抽象的な表現を試みるようになった。人物から風景へと移ってゆく画業の変遷の一端を紹介した。

no.	作品名	作家名	制作年	材質	ID
01	旅芸人	宮崎進		油彩/カンヴァス	O-0149
02	小屋	宮崎進	1967年	油彩/カンヴァス	O-0095
03	夜	宮崎進	1968年	油彩/カンヴァス	O-0096
04	黄色い壁	宮崎進	1976年	油彩/カンヴァス	O-0097
05	昼	宮崎進	1976年	油彩/カンヴァス	O-0098
06	ランドスケープ	宮崎進	1976年	油彩/カンヴァス	O-0100
07	凍る土	宮崎進	1985-86年	油彩/板	O-0254
08	うつろう	宮崎進	1990年	油彩・布/カンヴァス	O-0099
09	少年と瀬戸	宮崎進		油彩/カンヴァス	Z-0134
10	長門路の春	宮崎進		油彩/カンヴァス	Z-0135

11	裸	宮崎進	鉛筆／紙	D-0011
12	顔	宮崎進	鉛筆／紙	D-0012
13	こしかける	宮崎進	鉛筆／紙	D-0013
14	よりかかる女	宮崎進	鉛筆／紙	D-0014

※12月12日(月)～令和5年3月31日(月)まで、改修工事のため臨時休館した。

# 事業

## II. 教育普及事業

## (1) ミュージアム・タウン・ヤマグチ

平成19年(2007年)、美術館が中心となってイベントを実施し、文化芸術を軸とした街づくりを推進するため、山口県立美術館、山口市商店街連合会、山口商工会議所、山口市、山口県総合芸術文化祭実行委員会を実施主体として、「HEART実行委員会」が設立された。

そして10年後の平成29年(2017年)、HEARTの理念を継承しつつさらに拡大するため、県観光スポーツ文化振興課と県教育委員会社会教育・文化財課が中心となって、「ミュージアム・タウン・ヤマグチ実行委員会」を設立。美術館や隣接する県立文化施設を、従来の社会教育文化施設という役割にくわえて、観光施設としての機能(地域の文化や歴史を知りたいという観光ニーズを充足させる機能)を併せ持つ施設群へと再創造し、県庁前パークロードから山口市中心商店街にかけての、文教・商店街エリアを、〈山口〉を発信する観光・文化・教育拠点へと再編することを目的とした。

実施主体は、文化振興課、社会教育・文化財課、山口県立美術館、山口県立山口博物館、山口県立山口図書館、山口県文書館、山口県埋蔵文化財センター、山口市、公益財団法人山口きらめき財団、山口商工会議所、山口市商店街連合会、spsサントリーパブリシティサービスグループ(美術館指定管理者)。

事業全体は3部構成となっており、第一部会は芸術と街をつなぐことを目的とする「HEART」部会、第二部会は雪舟を軸とした事業展開をする「雪舟タウン山口」部会、第三部会は山口の歴史・文化資源に焦点をあてる「お宝タウン山口」部会である。令和3年度(2021年度)および令和4年度(2022年度)においては、規模を縮小し「HEART」部会、「雪舟タウン山口」部会において、事業を展開した。

### ①「HEART」部会

令和3年度(2021年度)および令和4年度(2022年度)とも、従来通り、山口県立美術館から山口市商店街にかけて事業を展開。詳細は別途(64頁～68頁)

### ②「雪舟タウン山口」部会

#### ○令和3年度(2021年度)

展示室A 11月26日(金)～12月19日(日)

「雪舟の仏画」展 詳細は別途(50頁)

展示室B 11月26日(金)～12月19日(日)

「パノラマ山水長巻―拡大映像で見る雪舟筆 国宝《四季山水図》」を実施。詳細は別途(71頁)

展示室C 11月26日(金)～12月19日(日)

「雪舟の山水画」展 詳細は別途(53頁)

#### ○令和4年度(2022年度)

展示室A 9月16日(金)～10月16日(日)

「雪舟流―《山水長巻》と雲谷派―」展 詳細は別途(55頁)

展示室B 9月16日(金)～12月11日(日)

「パノラマ山水長巻―拡大映像で見る雪舟筆 国宝《四季山水図》」を実施。詳細は別途(71頁)



## (2) HEART

「ものづくりとコミュニケーション」をキーコンセプトとし、美術館が地域の芸術家や人々と一緒になって街の歴史や日常の営みと関わりながら街づくりを行うことを目的に実施。山口県美術展覧会を軸として、アートマーケットやワークショップなど美術館(芸術)とまち(日常生活)をつなぐさまざまなアートプロジェクトを展開する。

### 山口県総合芸術文化祭 HEART2021

主催：ミュージアム・タウン・ヤマグチ実行委員会HEART2021

(山口県/山口県立美術館/山口市/山口商工会議所/山口市商店街連合/山口県立美術館指定管理者SPSグループ/公益財団法人山口きらめき財団)

会期：令和3年(2021年)12月3日(金)～19日(日) 16日間

会場：山口県立美術館・一の坂川エリア



ポスター



チラシ表面



チラシ中面

### 1：第74回山口県美術展覧会 (主催：山口県)

会期：12月3日(金)～19日(日) 16日間

総入場者数：2,282名

※詳細については、P.44、P.45参照

### 2：アート・マート

山口県立美術展覧会出身作家を紹介するミニ・ギャラリーとして、作家有志による小作品の展示・販売を実施。美術館をアートづくしのマート(市場)に変身させる部門。

#### ■アート・マート・ギャラリー

会期：12月3日(金)～19日(日) 16日間

会場：山口県立美術館ミュージアムショップ (入場無料)

内容：第50～74回山口県美術展覧会において優秀賞以上を受賞した作家のうち、希望者の作品を紹介、販売するほか、ミュージアム・グッズ、美術図書を販売。山口市中心商店街でも、関連イベントを開催。

#### ■HEART関連企画

ギャラリーナカノ HEART2021関連企画 県美界限展「Today is a gift」

会期：12月3日(金)～19日(日) 11：00～17：00(土曜日のみ18：00)

※休廊日：12月6日(月)～8日(水)、13日(月)～15日(水)

会場：ギャラリーナカノ

出品作家：白杵万理実、金子司、佐々木範子、末永史尚、吉村大星、他30名 総勢35名

特別出品：田中米吉

内容：長年にわたって県美展を見続けてきたギャラリーナカノ・中野聡氏によるHEART関連企画。山口県美術展覧会ゆかりの作家を中心に紹介。

### 3：アート・ルートーの坂

山口県立美術館と山口市中心商店街をむすぶルート、一の坂川エリアをアートな遊歩道にしようという企画。ものづくりのワクワク感が味わえるワークショップを実施。

■山口県障害者支援課×HEART共同企画「アール・ブリュット with HEART」

会期：12月3日(金)～19日(日)、令和4年(2022年)1月20日(木)～2月20日(日) 9：00～17：00

※休館日：12月13日(月)・20日(月)～令和4年(2022年)1月19日(水)

会場：山口県立美術館 エントランスホール

紹介作家：村井 保、用殿卓哉、櫻井一城、栗栖健一、三好雅和、久米文子、西村昌彦、山本心平、松田知己

内容：県内にある障害福祉サービス事業所等の活動を調査するなかで見出された作家9名とその活動を、「モノづくりでつながるアートな山口」を目指すHEARTならではの演出で紹介する企画を実施。

■HEART2021関連企画展「第11回やまぐち新進アーティスト大賞 佐々木範子 草木花ひかる」

会期：12月15日(水)～21日(火)

会場：山口井筒屋 5階催事場(山口市中市町3-3)

内容：佐々木範子(県美展 入選：第58回・第60回・第62回・第66回、佳作：第73回)による展覧会を開催。

主催：山口市

### 4：アート・フォレスト県美の森

亀山公園山頂から美術館中庭にかけて広がる斜面に、四季を彩る植樹を行い15年目。地元の人たちと一緒に育んできた《県美の森》にて、今年も県美の森づくりを実施した。

■県美の森づくり

日時：11月14日(日) 8：00～9：30

会場：山口県立美術館中庭《県美の森》

参加者：58名

参加費：無料

主催：美術館に彩り豊かな森をつくる実行委員会

# 山口県総合芸術文化祭 HEART2022

主催：ミュージアム・タウン・ヤマグチ実行委員会HEART2022

山口県/山口県立美術館/山口市/山口商工会議所/山口市商店街連合

山口県立美術館指定管理者SPSグループ/公益財団法人山口きらめき財団

会期：令和4(2022)年11月24日(木)～12月11日(日) 17日間

会場：山口県立美術館・一の坂川エリア



ポスター



チラシ表面



チラシ中面

## 1：第75回山口県美術展覧会（主催：山口県）

会期：11月24日(木)～12月11日(日) 17日間

総入場者数：3,564名

※詳細については、P.46、P.47参照

## 2：アート・マーケット

山口県立美術展覧会出身作家を紹介するミニ・ギャラリーとして、作家有志による小作品の展示・販売を実施。美術館をアートづくしのマーケット(市場)に変身させる部門。

### ■アート・マーケット・ギャラリー

会期：11月24日(木)～12月11日(日) 17日間

会場：山口県立美術館ミュージアムショップ（入場無料）

内容：第50～75回山口県美術展覧会において優秀賞以上を受賞した作家のうち、希望者の作品を紹介、販売するほか、ミュージアム・グッズ、美術図書を販売。山口市中心商店街でも、関連イベントを開催。

### ■HEART関連企画

ギャラリーナカノ HEART2022関連企画

内容：長年にわたって県美展を見続けてきたギャラリーナカノ・中野聡氏によるHEART関連企画。山口県美術展覧会ゆかりの作家を中心に紹介。

「白杵万理実 作品展」

会期：11月11日(金)～27日(日)

会場：ギャラリーナカノ（一の坂川沿い千歳橋そば）11：00～17：00 ※休廊日：月火水

「県美界限展」

会期：12月3日(土)～18日(日)

会場：ギャラリーナカノ（一の坂川沿い千歳橋そば）11：00～17：00 ※休廊日：月火水

出品作家：大村洋二郎、コサカダイキ、白藤さえ子、末永史尚、難波瑞穂、他27名、総勢32名

「赤れんが、文化創生の基地へ」

会期：11月25日(金)～27日(日)

会場：C S・赤れんが(山口市中河原町5-12) 10:00～17:00

出品者：幼児から若手美術家まで参加

「佐々木範子作品展 ささやき」

会期：12月7日(水)～11日(日)

会場：C S・赤れんが(山口市中河原町5-12) 10:00～17:00

### 3:アート・ルートの坂

山口県立美術館および山口市中心商店街を会場に、ものづくりのワクワク感が味わえる企画を開催。

#### ■アーティスト交流企画

志村信裕のワークショップ「色と光—4つの色で表現される世界」

講師：志村信裕(美術作家)

日時：11月26日(土) 14:00～15:30

会場：cafe&bar ショクバ 2F (山口市米屋町3-21)

対象：小学4年生～6年生

定員：15名(要申込・先着順) ※参加者数：13名

参加費：無料

内容：身近な4色、赤、黒、青、白色の語源について知った後は、参加者各自の色にまつわる思い出の場面を2枚の連続した画面に描く、色を題材にしたワークショップを実施。

志村信裕のワークショップ「アートと動物」

講師：志村信裕(美術作家)

日時：11月27日(日) 14:00～16:00

会場：山口県立美術館講座室

対象：高校生以上

定員：15名(要申込・先着順) ※参加者数：9名

参加費：無料

内容：動物画の歴史を紐解きつつ、「見島牛」を制作した志村信裕ならではの視点で、絵画の裏に潜む動物と人間との関係を探る。参加者と一緒に考えるレクチャー形式のワークショップを開催。

#### ■HEART協力企画

無心の森—アール・ブリュット—

会期：11月15日(火)～12月11日(日) 9:00～17:00(入場は16:00まで)

※休館日：11月21日・28日(いずれも月曜日)

会場：山口県立美術館 ロビー

観覧料：無料

内容：障害者の文化芸術活動を周知し活躍の場を広げるため、県内の障害福祉施設等の活動を調査。昨年に引き続き、本年は13人の作家による展覧会を開催。

主催：アール・ブリュット展実行委員会(山口県・山口県障害者社会参加推進センター)

#### ■山口県障害者支援課×HEART共同企画

会期：11月15日(火)～12月11日(日) 10:00～18:00

会場：山口井筒屋2F 地域の魅力発信・交流スペース コトサイト(山口市中市町3-3)

観覧料：無料

内容：昨年に引き続き、障害者支援課との共同企画を開催。県内における障害者の文化芸術活動の調査で見出された作家の作品を、「ものづくりでつながるアートな山口」を目指すHEARTならではの演出で紹介する企画を実施。

#### ■美術館と地域の活性化にむけた広報事業

雪舟VR及びデジタルミュージアム出張体験

会期：11月24日(木)～12月9日(金) 10:00～16:00 ※平日のみ

会場：山口井筒屋2F 地域の魅力発信・交流スペース コトサイト(山口市中市町3-3)

参加者：60名

観覧料：無料

内容：「VRで探る山水長巻」と「やまぐちバーチャルアートミュージアム」を体験できるコーナーを設置。

#### 4：アート・フォレスト県美の森

亀山公園山頂から美術館中庭にかけて広がる斜面に、四季を彩る植樹を行い16年目。地域住民の方をはじめとする多くのボランティアの協力を得て、《県美の森》エリア(県立美術館中庭斜面)の植樹や撫育活動を実施。

##### ■県美の森づくり

日時：9月25日(日) 8:00~9:30

会場：山口県立美術館中庭《県美の森》

参加者：67名

参加費：無料

主催：美術館に彩り豊かな森をつくる実行委員会

### (3) デジタル技術を活用した事業

#### ■山口情報芸術センター [YCAM] 連携企画

「見ないほうがよくみえる」 Invent your way to watching

日時：令和3年(2021年)11月12日(金)18:00~20:00

会場：インターネット (Zoom) および山口県立美術館展示室A

参加費：無料、要申込制

講師：原泉(山口情報芸術センター[YCAM])、岡本麻美(山口県立美術館 学芸課主任)

参加対象年齢：小学4年生以上

参加者：15名

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団、山口県立美術館

助成：令和3年度 日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業

共同開発：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

趣旨内容：デジタル技術の活用・応用に関するノウハウを豊富に有する山口情報芸術センター[YCAM]と連携した鑑賞ワークショップを令和2年度に引き続き行った。

オンラインとオフラインのハイブリッドを特徴とする昨年度の内容をブラッシュアップし、ブラインドトークの手法をベースとして、オンラインチームとオフライン(美術館)チームが役割を交代しながら、当館の寄託作品である雪舟筆《騎獅文殊・黄初平・張果老図》を鑑賞した。ブラインドトーク各25分の中で、まず作品(画像)をみているチームからみていないチームに言葉で伝達し、みていないチームからの質問を受けながら説明を補足した上で、最後に両者で実物の作品を鑑賞して感想を共有する、というサイクルで鑑賞を進めた。

前回開催時の課題として挙げた「オフライン側の優位性」と「固い雰囲気」の解消方法として、機材等の軽量化によって仰々しさを払拭し、オンライン側の発言機会を意識的に増やすことを試みた。また両館の講師は美術館内の参加者がいる会場と別室でオンライン上からの参加とし、ナビゲートや作品解説も、講師同士が対話して進めるラジオトーク的進行とした。これらの工夫により、初対面の参加者が集まるオンラインイベントでは意外とコントロールが難しい【オンライン・オフラインともに和やかにリラックスし、かつ冗長でない場の雰囲気】が生み出した。それが結果的に、参加者の自由な発言を引き出し、深い鑑賞へとつながった。また作品も、ブラインドトークに適した、シンプルな表現ながら、解釈が広がる物語性を含んだ人物図、仏画の連幅を選択したことが功を奏したといえる。もちろん、YCAMの技術スタッフ陣により、イベントの進行とは別に接続等に関する技術的サポートをリアルタイムでフォローするチームを設けたことも、前回に続き、重要なポイントであった。

参加者はオンライン10名、オフライン側5名。20代から60代まで幅広い年代、とくにオンラインでは北海道から鳥取県まで、広域からの参加があった。アンケートでは、「現場チームとオンラインチームに分かれての鑑賞が新鮮でコミュニケーションの難しさを感じるだけでなく、雪舟の作品に近づけた満足感があった」「ふだんあまり意識しなかった画面の構成を意識的に見ることができた」「美術館会場では、ワークが進むにつれ、(自分も含めて)参加者同士の会話が增え、楽しんでいることが伝わってきた」といった感想が上がり、オンライン・オフライン双方の参加者の満足度が高いワークショップとすることができた。



会場風景 撮影：ヨシダカズマ



会場風景 撮影：ヨシダカズマ



会場風景 撮影：ヨシダカズマ

## ■5Gアートスクール

日時：令和3年(2021年)12月21日(火)8:30~11:00

会場：山口県立美術館／防府市立松崎小学校

参加者：松崎小学校6年生(3クラス 約90名)、山口県知事、防府市長

その他参観：教育長、教育委員会、県議会議員など

講師：岡本麻美(山口県立美術館 学芸課主任)

主催：山口県観光スポーツ文化部、株式会社NTTドコモ

趣旨内容：昨年度に引き続き、当館と県内小学校(防府市立松崎小学校)をつなぎ、雪舟の作品を題材とした遠隔授業を実施した。本事業は2019年に提唱された「GIGAスクール構想」を受け、県とNTTドコモが結んだ「5G等を活用した地域活性化に向けた連携と協働に関する協定」に基づく実証実験として、NTTドコモの次世代移动通信システム「5G」を活用し、古美術を題材とする新たな鑑賞授業体験として企画したものである。

授業では、高精細拡大カメラ・高精細大型モニタおよび一人一台タブレット端末を活用した「牧牛図(牧童)」(山口県立美術館所蔵)の対話型鑑賞を中心に、雪舟・大内時代のスライドショーによる解説、同小学校近くの毛利博物館に伝わる雪舟筆「山水長巻」の紹介を行った。

「絵を細かく拡大して見ることができて、本物より良く見えた」「本当に作品や講師が目の前にいるようだった」といった高精度のデジタル環境であるがゆえの鑑賞体験に驚く声が多くあったほか、タブレット端末で使用されているロイロノートの機能を活用して、クラスメイトの気づきをスピーディーに一覧共有して次の発言へと繋げたり、口頭で発言するには躊躇がある児童の意見を拾ったりするなど、デジタル技術の強みを生かした鑑賞の可能性を感じることができた。

今後はさらなる環境整備、および使用設備・経費・人員の軽量化という課題があるものの、オンラインによる鑑賞プログラム、また美術館と学校教育とを結ぶ新たなかたちを検証していくうえで、有益な試みとなった。



大型モニターでの鑑賞(松崎小学校)



タブレット端末の使用(松崎小学校)



美術館

## ■コレクション作品のデジタルアーカイブ

趣旨内容：デジタル技術を活用した県有財産の情報公開充実を図る政策の一環として、県立美術館(当館および山口県立萩美術館・浦上記念館)の収蔵作品について、令和3年度(2021)、デジタルアーカイブ化の取り組みを行った。

### (1)やまぐちデジタルギャラリー

概要：

- ①収蔵品のデジタルデータ化 ※次年度以降も継続  
・超高精細デジタルカメラによる作品撮影 ・ポジフィルムのスキャニング
- ②解説動画の撮影
- ③収蔵品デジタル展示システムの制作
- ④タッチパネル式で操作可能な大型ディスプレイ(65インチ)による公開

当館および山口県立萩美術館・浦上記念館の収蔵品(約9000点)をデジタルデータベース化し、両館に来館した方に大型モニタ・高精細画像によって作品を検索・鑑賞していただくことを目的に、作品データベースの整理、検索システムの構築および作品画像のデジタル化(ポジフィルムのスキャン、および超高精細デジタルカメラによる撮影)を行った。また主要作品には当館では学芸員による解説動画(各館約50本)を制作し、見どころがより伝わるようなものとした。

公開方法に関しては、コロナ禍と重なったこともあり、非接触型がよいか、タッチ方式が良いかなど意見が割れたものの、結果的にタッチペンで操作するシンプルで体感的な方式を採用。操作方法はマニュアルがなくても直

感的に操作できるデザインを検討し、幅広い年代がわかりやすく使用できるものとなった。  
 現在は各館内のH D内に情報を格納し、エントランスに設置した大型ディスプレイにて閲覧が可能となっているが、将来的にはウェブ上からも検索・閲覧できるデータベースとしての運用も視野に入れたものとしている。



やまぐちデジタルギャラリー1



やまぐちデジタルギャラリー2



やまぐちデジタルギャラリー3

## (2)やまぐちバーチャルアートミュージアム

「やまぐちデジタルギャラリー」と平行するかたちで、インターネットを通じた所蔵品の公開方法として、バーチャル空間上において県立美術館両館の代表的コレクションを閲覧できるシステムを制作した。

仮想のシンプルな空間に作品が展示されているようにサムネイルを配置。内部を歩くような感覚で空間内を進み、展示作品をクリックすると、作品詳細や動画解説(やまぐちデジタルギャラリーと同動画)を閲覧することができる。また当サイトを通しての観光客誘致も目的のひとつであることから、観光情報との連携ページも設けた。

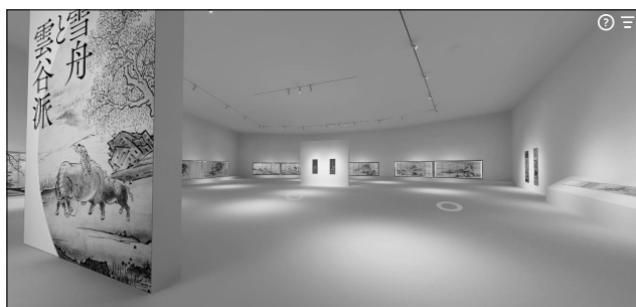
サイトは当館ホームページや県観光サイトにリンクを貼り、また館内ロビーにも専用タブレットを設置して公開している。



エントランスイメージ



香月泰男のシベリア・シリーズ



雪舟と雲谷派



山口ゆかりの作家たち



作品詳細画面



■パノラマ山水長巻一拡大映像で見る雪舟筆 国宝《四季山水図》

開催期間：令和3年(2021年)11月26日(金)～12月19日(日)

会場：山口県立美術館 展示室B

趣旨内容：日本美術を代表する名品として知られている雪舟の《国宝・四季山水図(山水長巻)》。しかし、その全容を実際に見ることができるのは、基本的には11月の一か月間だけである。また、洋画のように明るい照明で見ることができない。古美術品は格段に光に弱く、傷みやすいという理由により、展示期間も展示照明の明るさも厳格に制限されているからである。そのため、洋画と比較した場合、水墨画の名品を見る機会を得てその素晴らしさを体験し、魅力を伝えることのできる人は、圧倒的に少ないと言わざるを得ない。

山口県立美術館では、ここ数年にわたって、山口で受け継がれてきた大事なお宝である《山水長巻》の魅力をより多くの人に伝えるために、デジタル技術を使って様々な映像展示を試みてきた。

今年度もまた、全長16mにおよぶ名品を9シーンに分けて、15分の高精細映像として再構成。実際の作品を7.5倍に拡大して、展示室を取り囲むように各々10m程度の壁3面に投影した。

展示映像：《パノラマ山水長巻》 2019年制作 2021年再制作

アートディレクター：向井知子、テクニカルディレクター：山元史郎

作品：雪舟等楊筆 四季山水図(山水長巻) 毛利博物館蔵 文明18年(1486)

紙本墨画淡彩 40.8×1602.3cm

作品解説：岡本麻美

制作統括：河野通孝



展示風景

■パノラマ山水長巻一拡大映像で見る雪舟筆 国宝《四季山水図》

開催期間：令和4年(2022年)9月16日(金)～12月11日(日)

会場：山口県立美術館 展示室B

趣旨内容：令和3年度に引き続き、《パノラマ山水長巻》(2019)を映像展示。

全長16mにおよぶ名品を9シーンに分けて、15分の高精細映像として再構成。実際の作品を7.5倍に拡大して、展示室を取り囲むように各々10m程度の壁3面に投影した。

展示映像：《パノラマ山水長巻》 2019年制作 2022年再制作

アートディレクター：向井知子、テクニカルディレクター：山元史郎

作品：雪舟等楊筆 四季山水図(山水長巻) 毛利博物館蔵 文明18年(1486)

紙本墨画淡彩 40.8×1602.3cm

作品解説：岡本麻美

制作統括：河野通孝

■5GVR山水長巻

開催期間：令和3年(2021年)11月26日(金)～12月19日(日)

令和4年(2022年)9月16日(金)～12月11日(日)

会場：山口県立美術館 コレクション展示室前室

趣旨内容：令和2年度に引き続き、雪舟の代表作である「山水長巻」の理解促進と体感的鑑賞を目的に、これまでの拡大映像展示加えて、VR技術を駆使したコンテンツを公開した。

全体は【解説パート】と【体験パート】の2パートで構成。冒頭の【解説パート】では、雪舟に関する簡単な解説のあと、VR空間内で画卷がスクロールし、作中の四季の流れや、鑑賞のポイントとなる特徴的な箇所をピックアップして紹介する。また後半の【体験パート】では、画卷冒頭(春の場面)を360度のVRフルCGで制作。水墨画の世界に入り込む感覚で、「山水長巻」の世界感や構図の特徴を体感的に味わうことができることをコンセプトとして、現実世界では体験することができない、新しい水墨画の鑑賞体験を提供した。

なお各パートの切り替えや、【体験パート】中には、手をかざしたり、映像に触れる動きを組み込んだりするなどのインタラクション要素も組み込み、より「VRらしさ」に没入できるよう工夫をした。

制作年：2021年

企画制作：山口県、株式会社NTTドコモ

VR制作：株式会社360Channel

学術協力：山口県立美術館

特別協力：公益財団法人毛利報公会 毛利博物館



5GVR山水長巻のゴーグル



ゴーグルを着用した様子

#### (4) 学校連携

児童生徒、教員が芸術文化にふれあい、ともに学ぶ場としての美術館の普及のため、学校との連携事業を実施。

ただし、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、教員との共同授業を中止とし、20名以上の学校団体による見学の受入については、来館時間を分散させる形とした。

##### 【学校見学】

学校単位での来館に対し、解説、一般の来館者との調整などを行う。

令和3年度

累計：児童生徒・教員 のべ235名

令和4年度

累計：児童生徒・教員 のべ461名

##### 【教員との共同授業】

多彩な授業を目指す学校や、学校単位での来館が困難な遠隔地の学校へ学芸員を派遣し、担当教員とともに共同で授業を行う。

令和3年度

なし

令和4年度

■日 時 6月23日(木)、24日(金)

対 象 山口市立大殿小学校6年

担 当 福田善子、岡本麻美

内 容 雪舟等楊「牧牛図(牧童)」・「牧牛図(渡河)」を用いた対話型鑑賞

##### 【職場体験学習】

令和3年度

■日 時 7月29日(木)、30日(金)

対 象 山口県立防府西高等学校

担 当 福田善子、SPS、鹿島建物総合管理株式会社

参加者 2名

令和4年度

■日 時 7月28日(木)、29日(金)

対 象 山口県立防府西高等学校

担 当 福田善子、SPS、鹿島建物総合管理株式会社

参加者 3名

##### 【教員社会体験研修】

令和3年度

■日 時 8月4日(水)、5日(木)、6日(金)

対 象 山口県立防府商工高等学校、防府市立華城小学校、美祿市立大嶺小学校

担 当 福田善子、SPS、鹿島建物総合管理株式会社

参加者 各学校から1名

■日 時 8月11日(水)、12日(木)、13日(金)

対 象 山口市立上郷小学校、山口市立大歳小学校、山口市立仁保小学校

担 当 荏開津通彦、福田善子、SPS、鹿島建物総合管理株式会社

参加者 各学校から1名

令和4年度

■日 時 8月3日(水)、4日(木)、5日(金)

対 象 山口市立大内南学校、山口市立平川小学校、山口市立二島小学校、美祿市立秋吉小学校

担 当 福田善子、SPS、鹿島建物総合管理株式会社  
参加者 各学校から1名

【教材・資料活用】

令和3年度

なし

令和4年度

なし

## (5) 美術館ボランティア

美術館活動をサポートする組織としてボランティア制度を設けている。【展覧会サポート班】による、展覧会などに合わせた企画の立案を行ったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からパネル展示および印刷物の配布を主体として実施した。

令和3年度

### 【展覧会サポート班】

#### 『小村雪袋スタイル』展

「しおりをつくろう！」(参加型展示)

小村雪袋が手がけた装幀本(泉鏡花「日本橋」「通夜物語」「斧琴菊」「白鷺」)から一文を抜き出し印刷した「しおり」と、雪袋の装幀画を印刷したシールを会場出口付近に設置。来館者が「しおり」を1つ選び、好きな箇所にシールを貼る、オリジナルの「しおり」を作成してもらった。

作成枚数：しおり4種類6,400枚、シール8種類9,600枚

#### 『古代エジプト展』

「ヒエログリフクイズ」(パネル展示)

ヒエログリフに関する簡単なクイズ(選択問題)をパネル作成し、会場出口付近のスロープ壁に掲示した。

〈問題〉

- ・「次の文字は左右どちらから読むのかな？」
- ・「王の名前の最後につく文字はどれかな？」
- ・「数字の5はどうやって書くかな？」

「ヒエログリフで名前を書こう！」(リーフレット配布)

ヒエログリフの五十音表、名前の書き方などを記載したリーフレットを制作し、会場出口付近の設置した。

作成枚数：12,500枚

#### 『県美展』

「私のイチオシ！」(参加型展示)

入選全作品を対象として、来館者が選んだイチオシ作品の理由を記入した用紙をポストに入れてもらい、随時展示した。また、展示終了後の作品返却時に、出品者へ該当投票用紙を渡し、結果をフィードバックした。

実施結果：投票枚数 308枚

#### 「ミネアポリス美術館 日本絵画の名品」展

「ボランティアが選んだ 勝手にいいね!!」(パネル展示)

ボランティアが6つのテーマを決めて、テーマに対応する作品を3~4点ずつピックアップし、会場出口付近のスロープにパネル掲示した。

〈テーマ〉

- ①トラ、②楽器、③水、④こんなところに…、⑤推し、⑥突っ込みたくなる

令和4年度

### 【展覧会サポート班】

#### 『野田弘志』展

「#つぶやき鑑賞会」(パネル展示)

友達数人と作品を鑑賞しながら感想をつぶやき合う様子を、SNSトーク画面のようなイメージのパネルとして制作し、会場出口付近のスロープに掲示した。

〈対象作品〉

「やませみ」、「トドワラ」、「聖なるもの THE-IV」

#### 『唐絵の系譜』展

「ちょっとだけ室町」(パネル展示)

室町時代の歴代の足利将軍や文化について豆知識的な内容のパネルを制作し、会場出口付近のスロープに掲示した。

#### 『県美展』

「私のイチオシ！」(参加型展示)

入選全作品を対象として、来館者が選んだイチオシ作品の理由を記入した用紙をポストに入れてもらい、随時展示した。また、展示終了後の作品返却時に、出品者へ該当投票用紙を渡し、結果をフィードバックした。

実施結果：投票枚数 587枚

## (6) 県立美術館メンバーズクラブ

山口県立美術館および、山口県立萩美術館・浦上記念館では、山口県の県立美術館2館の展覧会等を通じて、美術館に広く親しんでいただき、地域文化の向上に寄与することを目的に平成26年度より2館共通の会員組織、「県立美術館メンバーズクラブ」を設立。

令和2年度に新型コロナウイルス感染症の流行の影響により展覧会の中止、期間縮小が続いたため、令和3年度は、前年度加入者の有効期限を1年延長する対応をとった。

1. 会 費 [令和3年度]  
一般会員2,800円、学生会員(19歳以上)2,300円、シニア会員(70歳以上)1,900円  
[令和4年度]  
一般会員2,800円、学生会員(19歳以上)2,300円、シニア会員(70歳以上)1,900円
2. 特 典 ①県立美術館2館の特別展に入場料を5回まで無料、6回以降は半額にて招待  
②2館の特別展オープニングセレモニーに当選者を招待  
③開館中の展覧会図録を割引販売  
④2館の展覧会、イベント情報などを定期的に郵送  
⑤会員限定イベントの開催  
⑥提携施設の入館料割引  
⑦館内カフェ・協賛店で割引・特典  
※令和3年度の特典として予定したが、新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず。
3. 会員募集期間 [令和3年度] 令和3年4月15日(木)～9月30日(木)  
[令和4年度] 令和4年3月1日(火)～7月31日(日)
4. 有効期間 [令和3年度] 令和3年4月15日(木)～令和4年3月31日(木)  
[令和4年度] 令和4年3月1日(火)～令和5年3月31日(金)
5. 入会者数 [令和3年度] 423名  
[令和4年度] 1,396名

## (7) キャンパスメンバーズ

県立美術館(山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館)を有効活用し、美術に親しむ機会をより豊かにしていただくことを目的とした、高等教育機関向けの会員制度。所属する学生及び教職員は、身分証の提示で展覧会を無料で観賞可能。平成29年度設立。

令和2年度に新型コロナウイルス感染症の流行の影響により展覧会の中止、期間縮小が続いたため、令和3年度は、前年度加入校の有効期限を1年延長する対応をとった。

### 1. 年会費

学生数	年会費	学生数	年会費
500人未満	40,000円	4000人未満	275,000円
1000人未満	75,000円	5000人未満	345,000円
2000人未満	150,000円	1万人未満	440,000円
3000人未満	215,000円	1万人以上	550,000円

### 2. 特典

- (1) 県立美術館2館(山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館)が開催するコレクション展(普通展示)及び特別展(山口県美術展覧会、山口伝統工芸展を除く)を、無料で何度でも鑑賞が可能。
- (2) 展覧会やイベント情報など適時案内を送付。
- (3) 学校名等を、館内やホームページなどに掲示、紹介。

3. 募集期間 [令和3年度] 令和3年4月15日(木)～7月31日(土)  
[令和4年度] 令和4年3月1日(火)～7月31日(日)

4. 有効期間 [令和3年度] 令和3年4月1日(木)～令和4年3月31日(木)  
[令和4年度] 令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
5. 入会校数 [令和3年度] 8法人 10校  
[令和4年度] 9法人 11校



## (8) 博物館実習

### 令和3年度

#### ■実習生学校別内訳(6大学16名)

1	山口県立大学(国際文化学部)	9名
2	山口大学(人文学部)	3名
3	梅光学院大学(文学部)	1名
4	京都女子大学(文学部)	1名
5	上智大学(総合人間科学部)	1名
6	成安造形大学(芸術学部)	1名

#### ■実習内容

11月17日(水)	8:40~9:00	オリエンテーション
	9:00~10:30	【講義】山口県立美術館、教育普及(県美展、HEART)について
	10:45~12:00	【講義】美術館の指定管理業務について
	13:00~14:10	館内見学
	14:30~16:20	作品の取扱い(実習)
11月18日(木)	9:00~10:30	【講義】展覧会の企画(コレクション展・企画展)について
	10:40~12:10	【講義】美術品の保存修復について
	13:00~13:20	県美展搬入についての説明
11月19日(金)	13:20~17:10	搬入準備
	8:50~12:10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
	13:00~16:10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
11月20日(土)	8:50~12:10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
	13:00~16:10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
11月21日(日)	8:50~12:10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
	13:00~16:10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
	16:10~16:25	県美展審査会についての説明
11月23日(火)	8:45~12:10	実際の作品の取り扱い(県美展審査会作業)
	13:00~17:10	実際の作品の取り扱い(県美展審査会作業)
11月24日(水)	8:45~12:10	実際の作品の取り扱い(県美展審査会見学)
	13:00~15:30	実際の作品の取り扱い(県美展展示見学・補助)
	15:30~16:10	総括

### 令和4年度

#### ■実習生学校別内訳(4大学16名)

1	山口県立大学(国際文化学部)	10名
2	山口大学(人文学部)	4名
3	大谷大学(文学部)	1名
4	成安造形大学(芸術学部)	1名

#### ■実習内容

11月1日(火)	8:40~9:00	オリエンテーション
	9:00~10:30	【講義】山口県立美術館、教育普及(県美展、HEART)について
	10:40~12:10	【講義】美術品の保存修復について
	13:00~14:10	館内見学
	14:30~16:20	作品の取扱い(実習)
11月2日(水)	9:00~10:30	【講義】展覧会の企画(コレクション展・企画展)について
	10:45~12:00	【講義】美術館の指定管理業務について
	13:00~13:20	県美展搬入についての説明
11月4日(金)	13:20~17:10	搬入準備
	8:50~12:10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
	13:00~16:10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
11月5日(土)	8:50~12:10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)

	13：00～16：10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
	16：10～16：25	県美展審査会についての説明
11月6日(日)	8：50～12：10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
	13：00～16：10	実際の作品の取り扱い(県美展搬入作業)
11月8日(火)	8：45～12：10	実際の作品の取り扱い(県美展審査会作業)
	13：00～17：10	実際の作品の取り扱い(県美展審査会作業)
11月9日(水)	8：45～12：10	実際の作品の取り扱い(県美展審査会見学)
	13：00～15：30	実際の作品の取り扱い(県美展展示見学・補助)
	15：40～16：30	総括

## (9) その他の事業

### 1. 美術館ニュース「天花」

「天花」のタイトルは、大内時代、雪舟が山口市天花(てんげ)に雲谷庵をいとなんだという故事にちなんで命名されたもの。第1-60号まではB5版、61-79号まではA4版であったが、第80号から現行のA5版となって、年間スケジュール、展覧会や各種活動の紹介、所蔵品紹介を行っている。

### 第135号 (令和3年3月)

山口県立美術館 館蔵品紹介

特別展

- ・野口哲哉展 - this is not a samurai
- ・小村雪岱スタイル 江戸の粋から東京モダンへ
- ・ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展

館内インフォメーション

年間スケジュール



### 第136号 (令和3年8月)

山口県立美術館 館蔵品紹介

特別展

- ・ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展
- ・雪舟流の魅力

HEART2021

館内インフォメーション

年間スケジュール



### 第137号 (令和4年3月)

コレクション展

特別展

- ・ミネアポリス美術館 日本絵画の名品展
- ・野田弘志 真理のリアリズム
- ・庵野秀明展
- ・雪舟と室町文化 [第Ⅰ部 将軍家の襖絵] / [第Ⅱ部 雪舟と狩野派]

館内インフォメーション

年間スケジュール



### 第138号 (令和4年7月)

コレクション展

特別展

- ・庵野秀明展
- ・唐絵の系譜 将軍家の襖絵/雪舟と狩野派

新館長着任インタビュー

年間スケジュール



## 2. 指定管理者自主企画事業

### 令和3年度

#### ■親子で楽しむワークショップ

期 間：5月1日(土)～31日(月)

内 容：「野口哲哉展」の展示内容に合わせ、ARで鎧の画像を合成した写真が撮影できるイベントを開催。山口県立山口博物館の協力を得て、同館所蔵の鎧の画像を使用した。

#### ■ミュージアム・タウン・ヤマグチ「かぞくの時間」

期 間：8月14日(土)～22日(日)

内 容：山口県立山口博物館、山口県立山口図書館と連携し、夏休みに3館の利用促進を目的に、ARを使ったイベント「スマホでスタンプラリー 2021夏」を実施。

#### ■ミュージアムコンサート「華麗なる弦楽器」

日 時：10月10日(日) 18:00～18:30

定 員：30名(要申込・先着順) ※参加者数：37名

内 容：シンフォニア岩国の企画により、県内の公立文化施設等を巡る演奏会「アートキャラバン事業 元気やまぐち創造プロジェクト」の一環として、エントランスロビーにて無料コンサートを行った。メンバーズクラブ会員優先で広報を行い、即日満席となった。

#### ■いい夫婦の日イベント

期 間：11月27日(土)～28日(日)

参加者：12組24名

内 容：11月22日のいい夫婦の日にあわせた「おもてなしデー」を実施。コレクション展「雪舟の山水画」の開催にあわせ、来場者へ雪舟の作品「牧牛図」をプリントした美術館オリジナルのスプレーボトルをプレゼント。



いい夫婦の日プレゼント

### 令和4年度

#### ■ミュージアムコンサート

日 時：10月2日(日) 18:00～18:30

定 員：40名(要申込・先着順) ※参加者数：44名

内 容：シンフォニア岩国主催のアートキャラバン事業との連携によるミュージアムコンサート。展覧会や地域と関連付けた選曲で、エントランスロビーにて開催。



ミュージアムコンサート

#### ■いい夫婦の日イベント

日 時：11月22日(土)

参加者：3組6名

内 容：11月22日のいい夫婦の日にあわせた「おもてなしデー」を実施。2人組の来館者へ、オリジナル・チケットホルダーをプレゼントした。毎年恒例のイベントだが、世情も考慮し、夫婦でなくとも、ペアで来場し、手をつないだ方を対象として行った。

## (10) 原稿執筆・講演等

令和3年度

### 【大学での講義】

- 日付 4月～7月毎週水曜日  
科目 「博物館概論」  
大学 山口県立大学  
担当 斎藤郁夫
- 日付 5月12日(水)  
科目 博物館実習事前授業「博物館学内実習Ⅱ」(リモート講義)  
大学 山口県立大学  
担当 福田善子
- 日付 6月3日(木)  
科目 博物館実習事前授業「博物館実習(実務実習)」(リモート講義)  
大学 山口大学  
担当 福田善子
- 日付 10月～3月毎週水曜日  
科目 「博物館経営論」  
大学 山口県立大学  
担当 斎藤郁夫
- 日付 12月6日(月)  
科目 一般教養科目「山口の歴史と文化—雪舟」(リモート講義)  
大学 山口県立大学  
担当 荏開津通彦
- 日付 12月13日(月)  
科目 一般教養科目「山口の歴史と文化—雪舟と雲谷派」(リモート講義)  
大学 山口県立大学  
担当 福田善子

### 【講演・学会発表等】

- 日付 5月20日(木)  
題目 鹿島美術財団賞 研究発表会「中世絵画における猿曳の図様に関する研究」  
主催 鹿島美術財団  
担当 荏開津通彦
- 日付 7月3日(土)  
題目 香月泰男とシベリア・シリーズ  
主催 宮城県美術館  
担当 萬屋健司
- 日付 10月22日(金)  
題目 「藤田美術館本三十三観音図の山水景と周文画風」  
主催 科研費基盤研究「室町時代の宗教絵画」研究会  
担当 荏開津通彦(畑靖紀 [九州国立博物館] の科研にかかる調査研究)
- 日付 令和4年1月24日(月)  
題目 大寧寺の美術品について  
主催 東京大学史料編纂所一般共同研究「中近世山陰西部における曹洞宗寺院の諸関係—石見国妙義寺を中心に—」検討会  
担当 福田善子(中司健一 [益田市歴史文化研究センター主任]、西田友広 [東京大学史料編纂所准教授]、角野広海 [島根県立石見美術館学芸員]、濱田恒志 [島根県立古代出雲歴史博物館主任学芸員] との共同研究)

### 【書籍・論文等執筆寄稿】

- 執筆 斎藤郁夫  
題目 「山を描いた画家たち 第13回 富岡鉄斎」  
掲載 『山と溪谷』4月号 No.1033(山と溪谷社)  
刊行 3月
- 執筆 斎藤郁夫  
題目 「山を描いた画家たち 第14回 安井曾太郎」  
掲載 『山と溪谷』5月号 No.1034(山と溪谷社)  
刊行 4月
- 執筆 斎藤郁夫  
題目 「山を描いた画家たち 第15回 曾宮一念」  
掲載 『山と溪谷』6月号 No.1036(山と溪谷社)  
刊行 5月
- 執筆 斎藤郁夫  
題目 「山を描いた画家たち 第16回 東山魁夷」  
掲載 『山と溪谷』7月号 No.1038(山と溪谷社)  
刊行 6月
- 執筆 斎藤郁夫  
題目 「山を描いた画家たち 第17回 奥田元宗」  
掲載 『山と溪谷』8月号 No.1039(山と溪谷社)

- 刊行 7月  
 ■執筆 齋藤郁夫  
 題目 「山を描いた画家たち 第18回 田崎広助」  
 掲載 『山と溪谷』9月号 No.1040(山と溪谷社)  
 刊行 8月  
 ■執筆 齋藤郁夫  
 題目 「山を描いた画家たち 第19回 田村一男」  
 掲載 『山と溪谷』10月号 No.1041(山と溪谷社)  
 刊行 9月  
 ■執筆 齋藤郁夫  
 題目 「山を描いた画家たち 第20回 高田誠」  
 掲載 『山と溪谷』11月号 No.1043(山と溪谷社)  
 刊行 10月  
 ■執筆 齋藤郁夫  
 題目 「山を描いた画家たち 第21回 小堀進」  
 掲載 『山と溪谷』12月号 No.1044(山と溪谷社)  
 刊行 11月  
 ■執筆 齋藤郁夫  
 題目 「山を描いた画家たち 第22回 畦地梅太郎」  
 掲載 『山と溪谷』1月号 No.1045(山と溪谷社)  
 刊行 12月  
 ■執筆 齋藤郁夫  
 題目 「山を描いた画家たち 第23回 小林和作」  
 掲載 『山と溪谷』2月号 No.1046(山と溪谷社)  
 刊行 令和4年1月  
 ■執筆 齋藤郁夫  
 題目 「山を描いた画家たち 第24回 小泉淳作」  
 掲載 『山と溪谷』3月号 No.1047(山と溪谷社)  
 刊行 令和4年2月

#### 令和4年度

##### 【大学での講義】

- 日付 4月～7月毎週水曜日  
 科目 「博物館概論」  
 大学 山口県立大学  
 担当 齋藤郁夫  
 ■日付 5月11日(水)  
 科目 博物館実習事前授業「博物館学内実習Ⅱ」  
 大学 山口県立大学  
 担当 福田善子  
 ■日付 6月9日(木)  
 科目 博物館実習事前授業「博物館実習(実務実習)」  
 大学 山口大学  
 担当 福田善子  
 ■日付 10月～3月毎週水曜日  
 科目 「博物館経営論」  
 大学 山口県立大学  
 担当 齋藤郁夫  
 ■日付 12月12日(月)  
 科目 一般教養科目「山口の歴史と文化—雲谷派の展開」  
 大学 山口県立大学  
 担当 福田善子  
 ■日付 12月19日(月)  
 科目 一般教養科目「山口の歴史と文化—雪舟」  
 大学 山口県立大学  
 担当 荻開津通彦

##### 【講演・学会発表等】

- 日付 11月26日(土)  
 題目 「ようこそ、絵巻の世界へ 「かわいい」でたどる絵巻の魅力」  
 主催 宇部市常盤地区社会教育推進委員会  
 担当 岡本麻美  
 ■日付 令和5年1月28日(日)  
 題目 「キュレーターに聞く雪舟」  
 主催 山口市医師会女性医師部会  
 担当 荻開津通彦

■日付 令和5年2月9日(水)  
■題目 山口シティカレッジ「雪舟と山口」  
■主催 山口市教育委員会  
■担当 荏開津通彦

【書籍・論文等執筆寄稿】

- 執筆 福田善子  
■題目 「雪舟流澁墨山水図の研究—雲谷等顔の絵画的特質を中心に—」  
■掲載 『鹿島美術研究年報』第38号別冊  
■刊行 9月15日
- 執筆 福田善子  
■題目 「萩藩毛利家の絵画史料—江戸時代初期を中心に—」  
■掲載 『山口県立美術館研究紀要 第6号 雲谷等顔関連史料』  
■刊行 令和5年3月10日
- 執筆 斎藤郁夫  
■題目 「山を描いた画家たち 第25回 山本森之助」  
■掲載 『山と溪谷』4月号 No.1048(山と溪谷社)  
■刊行 3月
- 執筆 斎藤郁夫  
■題目 「山を描いた画家たち 第26回 大久保作次郎」  
■掲載 『山と溪谷』5月号 No.1050(山と溪谷社)  
■刊行 4月
- 執筆 斎藤郁夫  
■題目 「山を描いた画家たち 第27回 伊藤孝之」  
■掲載 『山と溪谷』6月号 No.1051(山と溪谷社)  
■刊行 5月
- 執筆 斎藤郁夫  
■題目 「山を描いた画家たち 第28回 中村善策」  
■掲載 『山と溪谷』7月号 No.1053(山と溪谷社)  
■刊行 6月
- 執筆 斎藤郁夫  
■題目 「山を描いた画家たち 第29回 岩橋英遠」  
■掲載 『山と溪谷』8月号 No.1054(山と溪谷社)  
■刊行 7月
- 執筆 斎藤郁夫  
■題目 「山を描いた画家たち 第30回 坂本直行」  
■掲載 『山と溪谷』9月号 No.1055(山と溪谷社)  
■刊行 8月
- 執筆 斎藤郁夫  
■題目 「山を描いた画家たち 第31回 山川勇一郎」  
■掲載 『山と溪谷』10月号 No.1056(山と溪谷社)  
■刊行 9月
- 執筆 斎藤郁夫  
■題目 「山を描いた画家たち 第32回 加藤泰三」  
■掲載 『山と溪谷』11月号 No.1057(山と溪谷社)  
■刊行 10月
- 執筆 斎藤郁夫  
■題目 「山を描いた画家たち 第33回 上田哲農」  
■掲載 『山と溪谷』12月号 No.1058(山と溪谷社)  
■刊行 11月
- 執筆 萬屋健司  
■題目 「音楽」  
■掲載 『キーワードで読み解く 西洋絵画を知る100章』(別冊太陽スペシャル)  
■刊行 11月25日
- 執筆 斎藤郁夫  
■題目 「山を描いた画家たち 第34回 辻まこと」  
■掲載 『山と溪谷』1月号 No.1059(山と溪谷社)  
■刊行 12月
- 執筆 斎藤郁夫  
■題目 「山を描いた画家たち 第35回 串田孫一」  
■掲載 『山と溪谷』2月号 No.1060(山と溪谷社)  
■刊行 令和5年1月
- 執筆 斎藤郁夫  
■題目 「山を描いた画家たち 第36回 大谷一良」  
■掲載 『山と溪谷』3月号 No.1061(山と溪谷社)  
■刊行 令和5年2月





# 事業

## Ⅲ. 調査研究事業

## (1) 研究紀要の発行

### ■第6号 (令和5年3月10日発行)

山口県立美術館研究紀要 第六号 雲谷等顔関連史料

- 内容 005 雲谷等顔の出自再考 樋口尚樹  
021 萩藩毛利家の絵画史料—江戸時代初期を中心に— 福田善子  
039 雲谷等顔関連史料 解説  
047 雲谷等顔関連史料

\* A4判 178ページ

## (2) 調査研究等実績

### 令和3年度

- 日時 5月27日(木)  
内容 仏像調査(第1回)  
場所 興昌寺(阿武郡)  
担当 福田善子(樋口尚樹 [至誠館館長] との共同調査)
- 日時 6月24日(木)  
内容 絵画・仏像調査(第2回)  
場所 興昌寺(阿武郡)  
担当 福田善子(樋口尚樹 [至誠館館長] との共同調査)
- 日時 7月14日(水)  
内容 甲冑・武具調査  
場所 玄濟寺(山口市)  
担当 福田善子(山口市文化財保護課との共同調査)
- 日時 7月16日(金)  
内容 涅槃図ほか絵画調査  
場所 常妙寺(山口市)  
担当 福田善子(富岡優子 [北九州市立いのちのたび博物館学芸員] との共同調査)
- 日時 7月19日(月)  
内容 絵画作品調査(主催：山口市歴史民俗資料館)  
場所 個人(山口市)  
担当 福田善子
- 日付 8月5日(木)  
内容 乙部家旧蔵中国絵画調査  
場所 山口県立萩美術館・浦上記念館  
担当 荏開津通彦(村角紀子 [松江市資料調査課]、竹崎宏基 [東京大学大学院]、高岸輝 [東京大学教授] との共同調査)
- 日付 8月19日(木)  
内容 狩野探幽筆「毛利秀元像」調査【雪舟と狩野派展】  
場所 下関市立歴史博物館  
担当 荏開津通彦(門脇むつみ [大阪大学教授] との共同調査)
- 日時 9月1日(水)  
内容 仏画・雲谷派絵画調査、仏像確認調査  
場所 海潮寺(萩市)  
担当 福田善子(樋口尚樹 [至誠館館長] との共同調査)
- 日時 9月15日(水)、16日(木)  
内容 絵画・文書資料調査(第1回)  
場所 禅昌寺(山口市)  
担当 福田善子(満瀬幸子 [山口市文化財保護課]、田村杏士郎・清水美里 [山口市歴史民俗資料館学芸員]、魚谷なつみ [山口市小郡文化資料館学芸員] との共同調査)
- 日付 10月11日(月)  
内容 伝周文筆「湛碧斎図」調査【将軍家の襖絵展】  
場所 香雪美術館  
担当 荏開津通彦
- 日時 10月14日(木)

- 内容 絵画・文書資料調査(第2回)  
 場所 禅昌寺(山口市)  
 担当 福田善子(森下 徹 [山口大学教授]、満瀬幸子 [山口市文化財保護課]、田村杏士郎・清水美里 [山口市歴史民俗資料館学芸員]、魚谷なつみ [山口市小郡文化資料館学芸員] との共同調査)
- 日時 10月22日(金)  
 内容 田中助一氏旧蔵資料(雲谷派絵画)調査  
 場所 萩博物館  
 担当 福田善子
- 日付 10月22日(金)  
 内容 前嶋宗祐筆「四季耕作図屏風」調査【将軍家の襖絵展】  
 場所 神奈川県立歴史博物館  
 担当 荏開津通彦(畑靖紀 [九州国立博物館主任研究員] との共同調査)
- 日時 11月2日(火)  
 内容 雲谷等顔関連史料(道具帳)調査  
 場所 山口県文書館  
 担当 福田善子(樋口尚樹 [至誠館館長] との共同調査)
- 日時 12月6日(月)  
 内容 絵画・文書資料調査(第3回)  
 場所 禅昌寺(山口市)  
 担当 福田善子(満瀬幸子 [山口市文化財保護課]、田村杏士郎・清水美里 [山口市歴史民俗資料館学芸員]、魚谷なつみ [山口市小郡文化資料館学芸員] との共同調査)  
 絵画のうち河村若芝作品の調査には、錦織亮介(北九州市立大学名誉教授)、長岡枝里 [長崎歴史博物館学芸員]、萩藩永代家老益田家お抱え絵師・永富等原「五十七祖図」の調査には寺戸元子 [益田市立雪舟の郷記念館学芸員] も参加。
- 日時 12月7日(火)、17日(金)  
 内容 雲谷派作品調査(主催：山口市歴史民俗資料館)  
 場所 山口市歴史民俗資料館  
 担当 福田善子
- 日付 令和4年1月20日(木)  
 内容 芸愛筆「四季山水図巻」等調査【将軍家の襖絵】  
 場所 九州国立博物館  
 担当 荏開津通彦(野口剛 [根津美術館学芸部長] との共同調査)
- 日時 令和4年2月9日(水)  
 内容 絵画・文書資料調査(第4回)  
 場所 禅昌寺(山口市)  
 担当 福田善子(満瀬幸子 [山口市文化財保護課]、田村杏士郎・清水美里 [山口市歴史民俗資料館学芸員]、魚谷なつみ [山口市小郡文化資料館学芸員] との共同調査)
- 日時 令和4年2月10日(木)、16日(水)  
 内容 涅槃図調査(雲谷派の仏画関連調査)  
 場所 梅蔵院、広雲寺、海潮寺、報恩寺(萩市)  
 担当 福田善子(樋口尚樹 [至誠館館長]、との共同調査)
- 日付 令和4年2月16日(水)  
 内容 伝雪舟筆「山水図」調査【雪舟と狩野派展】  
 場所 福岡市美術館  
 担当 荏開津通彦
- 日時 令和4年3月10日(木)  
 内容 涅槃図(岡等之筆・下関市指定文化財)調査(雲谷派の仏画関連調査)  
 場所 下関市立豊田図書館  
 担当 福田善子(松田和也 [下関市立歴史博物館学芸員]、関根香織 [下関市立美術館学芸員] との共同調査)
- 日付 令和4年3月15日(火)  
 内容 伝周文筆「四季山水図屏風」調査【将軍家の襖絵展】  
 場所 ウッドワン美術館  
 担当 荏開津通彦(野口剛 [根津美術館学芸部長] との共同調査)
- 日時 令和4年3月17日(木)  
 内容 涅槃図調査(雲谷派の仏画関連調査)

- 場所 東光寺、長寿寺(萩市)  
 担当 福田善子(樋口尚樹 [至誠館館長]、平岡崇 [萩博物館学芸員] との共同調査)  
 ■日時 令和4年3月23日(水)、24日(木)  
 内容 阿弥陀如来坐像(長命寺、旧十楽寺)調査、市内仏像確認調査(主催：柳井市文化財保護課)  
 場所 長命寺ほか市内寺院(柳井市)  
 担当 福田善子(末吉武史 [福岡市博物館学芸員]、寺島尚人 [大津市歴史博物館学芸員] との共同調査)

#### 令和4年度

- 日時 4月10日(日)  
 内容 雲谷等顔作品調査  
 場所 個人宅  
 担当 福田善子
- 日時 4月26日(火)  
 内容 絵画調査  
 場所 泰雲寺(山口市)  
 担当 福田善子(満瀬幸子 [山口市文化財保護課]、田村杏士郎・清水美里 [山口市歴史民俗資料館学芸員] との共同調査)
- 日時 5月9日(月)  
 内容 阿弥陀如来立像・薬師如来立像調査(主催：宮田大樹 [福岡市美術館学芸員] 時宗寺院仏像調査)  
 場所 専念寺(下関市)  
 担当 福田善子(宮田大樹、末吉武史 [福岡市博物館学芸員]、萬納恵介 [熊本県立美術館学芸員]、中西真美子 [崇城大学]、森瑞穂 [大田区教育委員会] との共同調査)
- 日時 5月12日(木)  
 内容 涅槃図、狩野晴皐作品ほか調査(雲谷派の仏画関連調査)  
 場所 大照院(萩市)  
 担当 福田善子(樋口尚樹 [至誠館館長]、平岡崇 [萩博物館学芸員] との共同調査)
- 日時 5月17日(火)  
 内容 絵画調査 [第1回] (主催：山口市文化財保護課)  
 場所 龍福寺(山口市)  
 担当 福田善子(満瀬幸子 [山口市文化財保護課]、田村杏士郎・清水美里 [山口市歴史民俗資料館学芸員] との共同調査)
- 日付 5月24日(火)  
 内容 韃靼人狩獵図巻調査【将軍家の襖絵展】  
 場所 弘前市博物館  
 担当 荏開津通彦
- 日時 5月25日(水)  
 内容 絵画調査(主催：山口市文化財保護課)  
 場所 福楽寺(山口市)  
 担当 福田善子(満瀬幸子 [山口市文化財保護課]、田村杏士郎・清水美里 [山口市歴史民俗資料館学芸員] との共同調査)
- 日時 6月8日(水)  
 内容 涅槃図調査  
 場所 善福寺(萩市)  
 担当 福田善子(樋口尚樹 [至誠館館長]、平岡崇 [萩博物館学芸員] との共同調査)
- 日付 6月16日(木)  
 内容 進藤尚郁筆「住吉・近江名所図屏風」調査【将軍家の襖絵展】  
 場所 個人宅  
 担当 荏開津通彦(野口剛 [根津美術館学芸部長] との共同調査)
- 日付 6月16日(木)  
 内容 狩野探幽筆「天橋立図模本」調査【雪舟と狩野派展】  
 場所 個人宅  
 担当 荏開津通彦
- 日時 6月17日(金)

- 内容 絵画調査〔第2回〕（主催：山口市文化財保護課）  
 場所 龍福寺（山口市）  
 担当 福田善子（満瀬幸子〔山口市文化財保護課〕、田村杏士郎・清水美里〔山口市歴史民俗資料館学芸員〕との共同調査）
- 日付 6月17日（金）  
 内容 雪舟筆「山水図巻」等調査【将軍家の襖絵展】  
 場所 京都国立博物館、泉涌寺  
 担当 荏開津通彦（野口剛〔根津美術館学芸部長〕との共同調査）
- 日時 6月28日（火）  
 内容 大内義隆像ほか絵画・資料調査（主催：山口市文化財保護課）  
 場所 築山神社（山口市）  
 担当 福田善子（満瀬幸子〔山口市文化財保護課〕、田村杏士郎〔山口市歴史民俗資料館学芸員〕との共同調査）
- 日時 6月29日（水）  
 内容 雲谷派の仏画調査  
 場所 善福寺（萩市）  
 担当 福田善子（樋口尚樹〔至誠館館長〕、平岡崇〔萩博物館学芸員〕との共同調査）
- 日時 7月6日（水）、7日（月）  
 内容 大照院の仏像調査、市内仏像確認調査  
 場所 大照院、長久寺ほか市内寺院（萩市）  
 担当 福田善子（末吉武史〔福岡市博物館学芸員〕、有木芳隆〔熊本県立美術館〕、中西真美子〔崇城大学〕、曾我俊裕〔中津市歴史博物館学芸員〕、樋口尚樹〔至誠館館長〕、平岡崇〔萩博物館学芸員〕、柏本秋生〔萩市文化財保護課〕との共同調査）
- 日付 7月15日（金）  
 内容 芸阿弥筆「山水図」等調査【将軍家の襖絵展】  
 場所 根津美術館  
 担当 荏開津通彦（野口剛〔根津美術館学芸部長〕との共同調査）
- 日付 7月22日（金）～24日（日）  
 内容 科研費基盤研究「室町時代の宗教絵画」調査  
 場所 大蔵経寺・一蓮寺・山梨県立博物館  
 担当 荏開津通彦（畑靖紀〔九州国立博物館主任研究員〕の科研にかかる調査研究）
- 日時 8月2日（火）  
 内容 不動明王立像、毘沙門天立像調査（主催：岩井共二〔奈良国立博物館研究員〕『日本彫刻史基礎資料集成』にかかる調査）  
 場所 龍藏寺（山口市）  
 担当 福田善子（岩井共二、末吉武史〔福岡市博物館学芸員〕、満瀬幸子〔山口市文化財保護課〕、田村杏士郎〔山口市歴史民俗資料館学芸員〕との共同調査）
- 日時 10月8日（土）  
 内容 長府藩主毛利家道具帳調査  
 場所 下関市立歴史博物館（下関市）  
 担当 福田善子（樋口尚樹〔至誠館館長〕との共同調査）
- 日時 12月23日（金）  
 内容 伝雪舟「澁墨山水図」調査  
 場所 普賢寺（光市）  
 担当 荏開津通彦、福田善子（河合正朝〔慶應義塾大学名誉教授〕との共同調査）
- 日時 令和5年1月27日（金）  
 内容 絵画調査（主催：山口市文化財保護課）  
 場所 仁壁神社（山口市）  
 担当 福田善子（田村杏士郎・清水美里〔山口市歴史民俗資料館学芸員〕との共同調査）
- 日時 令和5年3月23日（木）  
 内容 天井画「龍図」（山県鶴江筆）調査  
 場所 春日神社（萩市）  
 担当 福田善子（樋口尚樹〔至誠館館長〕、堀成夫〔萩博物館学芸員〕との共同調査）



# 事業

## IV. 収集管理保存事業

## (1) 館蔵品寄託品貸出利用状況

作品	作者	貸出期間	貸出先	展覧会名等
風景	香月泰男	2021.6.23-2022.6.23	宮城県美術館 神奈川県立近代美術館 葉山 新潟市美術館 練馬区立美術館 足利市立美術館	生誕110年 香月泰男展
ホロンバイル	〃	〃	〃	〃
雨〈牛〉	〃	〃	〃	〃
休憩	〃	〃	〃	〃
埋葬	〃	〃	〃	〃
左官	〃	〃	〃	〃
乗客	〃	〃	〃	〃
鷹	〃	〃	〃	〃
北へ西へ	〃	〃	〃	〃
ダモイ	〃	〃	〃	〃
1945	〃	〃	〃	〃
ホロンバイル	〃	〃	〃	〃
避難民	〃	〃	〃	〃
運ぶ人	〃	〃	〃	〃
穴掘人	〃	〃	〃	〃
涅槃	〃	〃	〃	〃
ナホトカ	〃	〃	〃	〃
列	〃	〃	〃	〃
黒い太陽	〃	〃	〃	〃
湿地	〃	〃	〃	〃
アムール	〃	〃	〃	〃
雪	〃	〃	〃	〃
雪〈窓〉	〃	〃	〃	〃
伐	〃	〃	〃	〃
鋸	〃	〃	〃	〃
餓	〃	〃	〃	〃
神農	〃	〃	〃	〃
囚	〃	〃	〃	〃
荊	〃	〃	〃	〃
凍土	〃	〃	〃	〃
朝陽	〃	〃	〃	〃
海〈ペーチカ〉冬	〃	〃	〃	〃
星〈有刺鉄線〉夏	〃	〃	〃	〃
凍河〈エニセイ〉	〃	〃	〃	〃
私〈マホルカ〉	〃	〃	〃	〃
復員〈タラップ〉	〃	〃	〃	〃
別	〃	〃	〃	〃
雲	〃	〃	〃	〃



作品	作者	貸出期間	貸出先	展覧会名等
雨	〃	〃	〃	〃
〈私の〉地球	〃	〃	〃	〃
青の太陽	〃	〃	〃	〃
煙	〃	〃	〃	〃
護	〃	〃	〃	〃
業火	〃	〃	〃	〃
奉天(右)	〃	〃	〃	〃
奉天(左)	〃	〃	〃	〃
朕	〃	〃	〃	〃
-35°	〃	〃	〃	〃
バイカル	〃	〃	〃	〃
点呼(右)	〃	〃	〃	〃
点呼(左)	〃	〃	〃	〃
雪山	〃	〃	〃	〃
日本海	〃	〃	〃	〃
絵具箱	〃	〃	〃	〃
道	〃	〃	〃	〃
海拉爾	〃	〃	〃	〃
デモ	〃	〃	〃	〃
日の出	〃	〃	〃	〃
月の出	〃	〃	〃	〃
渚(ナホトカ)	〃	〃	〃	〃
シベリア・シリーズ関連素描 (※全182点のうち30点)	〃	〃	〃	〃
自影	〃	〃	〃	〃
動的な群像	藤田隆治	2021.7.16-2021.9.21	福岡県立美術館	1964-福岡県文化会館、誕生。
ベルリンオリンピック芸術 競技銅メダル(藤田隆治 受賞)	〃	〃	〃	〃
大内盛見像	不詳	2021.9.22-2021.12.8	益田市立雪舟の郷記念館	雪舟ゆかりの戦国武将-益田氏・大内氏・毛利氏-
毛利隆元像	〃	〃	〃	〃
働く人	朝倉摂	2022.4.6-2022.10.26	神奈川県立近代美術館 葉山 練馬区立美術館 福島県立美術館	生誕100年 朝倉摂
日本1958-2	〃	〃	〃	〃
アグルの盾	館村秀子	2022.5.6-2022.5.16	アスピラート (防府市地域交流センター)	館村秀子作品展 藍×現代アート
幫	〃	〃	〃	〃
ガザに盲いて	〃	〃	〃	〃
月夜山水図	狩野芳崖	2022.8.4-2022.11.2	下関市立美術館	山水画と風景画のあいだ -真景図の近代
長門峡	松林桂月	〃	〃	〃
仙峡聴泉	〃	〃	〃	〃
倭夏珪山水図	雪舟等楊	2022.10.19-2022.12.9	根津美術館	将軍家の襖絵

作品	作者	貸出期間	貸出先	展覧会名等
倣李唐牧牛図(牧童)	〃	〃	〃	〃
倣李唐牧牛図(渡河)	〃	〃	〃	〃
四季花鳥図屏風	狩野松栄	〃	〃	〃

## (2) コレクション

### ※凡例

以下の目録は平成31年(2020年)4月から令和3年(2022年)3月までに収蔵された館蔵品を網羅したものである。作品の整理方針及び個々のデータの記録法は『山口県立美術館蔵品目録1979』にほぼ準拠している。すなわち、作品は日本画(J)・洋画(O)・水彩画(W)・素描(D)・版画(P)・写真(Ph)・彫刻(S)・工芸(C)・書(Ca)・映像(V)・資料(R)の順で編集し、また個々のデータについては、整理番号・作者・生没年・タイトル・制作年・材質技法・寸法・収集年度とその経緯および寄贈者の順で記した。整理番号は『山口県立美術館年報 平成29～30年度』に続く通し番号である。



J-0350  
松林桂月  
MATSUBAYASHI Keigetsu  
1876-1963  
威振八荒  
Eagle  
昭和2年(1927)頃  
絹本着色  
253.9×140.6  
令和3年度 寄贈  
宇部興産開発株式会社



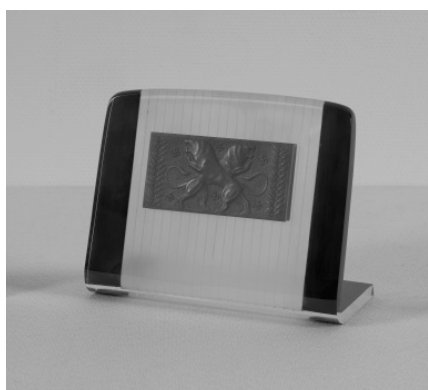
J-0351  
高島北海  
TAKASHIMA Hokkai  
1850-1931  
長門峡金郷溪口望切龍峰  
Chomon Valley, Yamaguchi  
大正11年(1922)  
紙本墨画淡彩  
174.3×94.3  
令和3年度 保管転換  
山口県立山口図書館



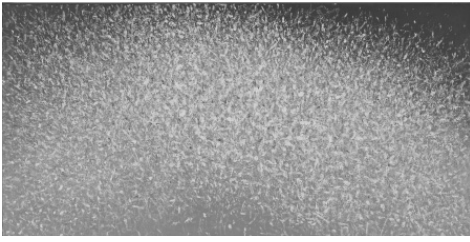
V-0001  
志村信裕  
SHIMURA Nobuhiro  
1982  
見島牛  
Japanese cattle  
平成27年(2015)  
シングルチャンネルビデオ(8ミリ白黒フィルムをビデオに変換)  
画面サイズ1024×768、20分26秒  
令和3年度 寄贈  
嶋田 惟



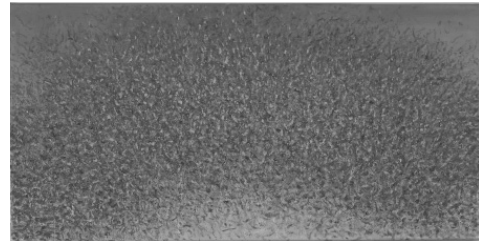
R-0118  
藤田隆治関連資料(藤田隆治デスマスク)  
Death mask of Fujita Ryuji  
昭和39年(1964)  
石膏  
約22.0×16.0  
令和3年度 寄贈



R-0119  
藤田隆治関連資料(第2回スポーツ芸術展覧会 銅賞盾)  
Bronze medal plaque, 2nd Sports Art Exhibition  
昭和32年(1957)  
ガラスに銅プレート  
21.5×27.0×12.0 厚1.5  
令和3年度 寄贈



O-0286  
 岩本拓郎  
 IWAMOTO Takuro  
 1951-  
 夜桜一輝く  
 Cherry blossoms at night-Shining  
 平成25-26年(2013-14)  
 油彩/カンヴァス  
 80.2×160.2  
 令和4年度 寄贈  
 末永汎本



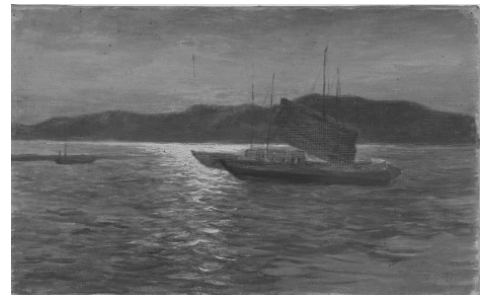
O-0287  
 岩本拓郎  
 IWAMOTO Takuro  
 1951-  
 紅葉一輝く  
 Autumn leaves-Shining  
 平成25-26年(2013-14)  
 油彩/カンヴァス  
 80.2×160.2  
 令和4年度 寄贈  
 末永汎本



O-0288  
 永地秀太  
 NAGATOCHI Hideta  
 1873-1942  
 静物  
 Still life  
 大正4年(1915)  
 油彩/カンヴァス  
 64×110  
 令和4年度 寄贈  
 有吉高春



O-0289  
 永地秀太  
 NAGATOCHI Hideta  
 1873-1942  
 一兵卒(兵士の図)  
 A soldier  
 1890-1900年代  
 油彩/カンヴァス  
 86×47.5  
 令和4年度 寄贈  
 有吉高春



O-0290  
 永地秀太  
 NAGATOCHI Hideta  
 1873-1942  
 風景(鎌倉の海)  
 Landscape (the sea of Kamakura)  
 明治40年(1907)  
 油彩/カンヴァス  
 32.2×51.7  
 令和4年度 寄贈  
 有吉高春



O-0291  
永地秀太  
NAGATOCHI Hideta  
1873-1942  
風景（モンティニー＝ル＝ブルトンヌー）  
Landscape (Montigny-le-Bretonneux)  
大正10年(1921)  
油彩／板  
23×32  
令和4年度 寄贈  
有吉高春



O-0292  
永地秀太  
NAGATOCHI Hideta  
1873-1942  
風景（モンティニー＝ル＝ブルトンヌーの教会）  
Landscape (Church in Montigny-le-Bretonneux)  
大正10年(1921)頃  
油彩／カンヴァス  
31.4×22.5  
令和4年度 寄贈  
有吉高春



O-0293  
小林和作  
KOBAYASHI Wasaku  
1888-1974  
潮流  
Current  
昭和10年(1935)  
油彩／カンヴァス  
45.6×53.4  
令和4年度 寄贈



J-0352  
雲谷等益  
UNKOKU Toeki  
1591-1644  
布袋図  
Pu Tai  
寛永時代初期(1620年代)  
紙本墨画  
94.2×47.7  
令和4年度 寄贈  
瀧本博美



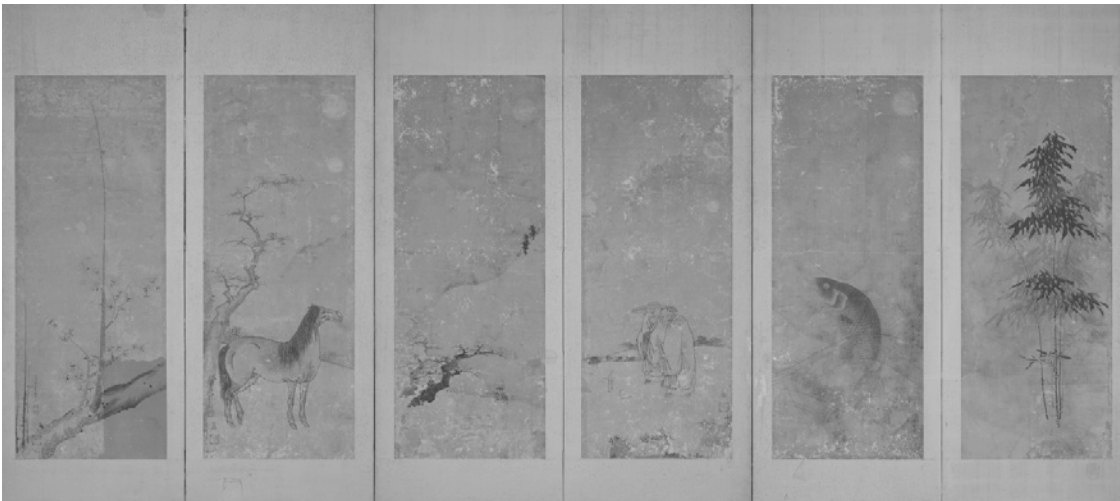
J-0353  
 雲谷等の  
 UNKOKU Toteki  
 1606-1664  
 達磨図  
 Bodhidharma  
 江戸時代17世紀  
 紙本墨画  
 94.6×34.9  
 令和4年度 寄贈



J-0354  
 雲谷等玉  
 UNKOKU Togyoku  
 1812-1867  
 出山釈迦図  
 The Buddha descending from the mountain  
 江戸時代19世紀  
 紙本墨画  
 75.5×29.0  
 令和4年度 寄贈



R-0120  
 作者不詳  
 -  
 -  
 風景 (田園)  
 Landscape (Pastoral)  
 大正9-11年(1920-22)  
 油彩/カンヴァス  
 31×40  
 令和4年度 寄贈  
 有吉高春



R-0121  
 雲谷等益  
 UNKOKU Toeki  
 1591-1644  
 山水人物花鳥図押絵貼屏風  
 Landscape and figures  
 寛永中期(1631~37)頃  
 紙本墨画・紙本墨画淡彩  
 各126.6×49.8総長171.2×374.8  
 令和4年度 寄贈  
 兼重元

### (3) 作品修復

#### 令和4年度

##### ■日本画(J・R)

修復家：木原克尚(株式会社ヤマキ)

工期：令和4年10月3日～令和5年3月10日

#### 【軸棒、軸端の修理】

作品：J-0072《飲中八仙図》小田海僊(弘化1年、絹本墨画、掛幅一幅)

処置：

- ・調査
- ・軸棒下部の生地継ぎ合わせ部分でカットする
- ・軸袋から軸棒を剥がし、残留物を取り除く
- ・裂けている部分の内側から軸袋と裏打ち紙の間に補強用和紙をつける
- ・裏面より裂けている部分を補強紙に貼り戻す
- ・軸袋の布部分に付着している元の紙を剥がす
- ・経年により軸袋も傷んでいるため、軸袋の中に新たに猪子厚口で軸袋を作成して取り付け
- ・軸先を元の軸から外し、軸棒を作り、軸先を取り付ける
- ・軸棒を取り付け仕上げ
- ・報告書作成

作品：J-0192《溪山結廬図》矢野括山(天保8年、紙本墨画淡彩、掛幅一幅)

処置：

- ・調査
- ・軸棒を取り外す
- ・軸棒を新たに作成、軸棒との接合部分を和紙で補強
- ・裂け目部分に補強紙を挿入
- ・破損個所の糊止め修理
- ・軸先の取り付け
- ・軸棒の取り付け、仕上げ
- ・保存ケースを作成し収納
- ・報告書作成

作品：J-0209《鯉図》白石等古(江戸時代、紙本墨画淡彩、掛幅一幅)

処置：

- ・調査
- ・軸棒を取り外す、元の付着紙を取り除く
- ・軸棒を新たに作成、軸棒との接合部分を和紙で補強
- ・裂け目部分に補強紙を挿入
- ・軸先の新調、取り付け
- ・軸棒の取り付け、仕上げ
- ・保存ケースを作成し収納
- ・報告書作成

#### 【裏打ち】

作品：R-0102《板垣家兼重暗香資料(画稿)》兼重暗香(大正～昭和時代、紙本着色・紙本墨画、綴じ本2冊)

処置：

- ・調査
- ・ステーブルやこよりによる綴じを外す
- ・着彩画の裏打ち：ドーサ液によるしみ止め、乾燥後裏打ち(肌裏打ち、増し裏打ち)
- ・墨画の裏打ち(肌裏打ち、増し裏打ち)
- ・断ち仕上げ
- ・一枚毎にノンバッファの保護紙をつけ、保存用タトウケースを作成し収納
- ・展示用ケースを15枚作成、保存用ケースを作成し収納

作 品：R-0088-007《大徳寺清泉寺什物竹林七賢図屏風縮図》雲谷等顔・等益筆(江戸時代、紙本墨画、マクリ)

処 置：

- ・調査
- ・滲みの確認
- ・元裏打ちを剥がす
- ・虫損が大きい箇所に着いた補修を施す
- ・折れ、シワ伸ばし
- ・肌裏打ち、裏付前付を付加して増し裏打ち
- ・乾燥仕上げ
- ・杉材で巻棒を作成、表紙を楮和紙厚口で作成、巻き紐を付けて仕上げ
- ・保存ケースを作成し収納

#### 【収納箱の作成】

アーカイバルボード、ピュアマット、AFハードボードを使用し、各作品法量に合わせた作品保存用の収納箱を作成。

作 品：J-0300《山水図》雲谷等隆(江戸時代 19世紀、紙本墨画、掛幅一幅)

作 品：J-0098《山水図》雲谷等隆(江戸時代 19世紀、紙本墨画、掛幅一幅)

作 品：R-0103《雲谷派粉本模写図巻》内田耕月斎(江戸時代 19世紀、紙本墨画、卷子二巻)

作 品：J-0315《雪景山水図》松林桂月(大正3年、絹本墨画、掛幅一幅)

作 品：J-0316《碧山過雨図》松林桂月(大正3年、絹本墨画、掛幅一幅)

作 品：J-0212《紅葉に牧童図》森一鳳(江戸～明治時代、絹本墨画淡彩、掛幅一幅)

#### ■洋画(O)

修復家：大原秀之

工 期：令和4年10月3日～令和5年3月10日

作 品：O-0267《ポーズ》永地秀太(1930年、油彩／カンヴァス、額装一面)

処 置：

- ・調書作成
- ・写真撮影(普通光線、斜光線、紫外線)
- ・作品を額縁から分離
- ・作品の表面、裏面の洗浄
- ・絵具層の剥離部を膠で仮固定
- ・作品を木枠から分離
- ・作品の裏面の再洗浄
- ・画面に接着剤(Beva)を塗布
- ・作品周辺部をプレスして平坦にする
- ・作品を熱プレスする
- ・木枠に張り直す
- ・画面上の接着剤を除去
- ・二度目の絵画面の洗浄を行う
- ・剥落部の充填を行い、充填部の成形を行う
- ・充填部に補彩(水溶性絵具)を行う
- ・最終ワニスを塗布
- ・額縁の修復を行う
- ・ミュージアムガラスの装着、バックパネルの装着を伴う額装を行う
- ・修復報告書の作成

作 品：O-0139《周防灘(祝島)》松田正平(1980年、油彩／カンヴァス、額装一面)

処 置：

- ・調書作成
- ・写真撮影(普通光線、斜光線、紫外線)
- ・作品を額縁から分離
- ・作品の表面、裏面の簡易洗浄
- ・作品の木枠への張り直し



- ・ミュージアムガラス(3mm厚)の装着のために、額縁の溝に約5mmの木製の棧を取り付ける
- ・額装及びバックパネルの装着
- ・修復報告書の作成

作 品：O-0143 《おひょう(大きな魚)》松田正平(1984年、油彩／カンヴァス、額装一面)

処 置：

- ・調書作成
- ・写真撮影(普通光線、斜光線、紫外線)
- ・作品を額縁から分離
- ・作品の表面、裏面の簡易洗浄
- ・作品の木枠への張り直し
- ・ミュージアムガラス(3mm厚)の装着のために、額縁の溝に約5mmの木製の棧を取り付ける
- ・額装及びバックパネルの装着
- ・修復報告書の作成

#### (4) 美術図書

	令和3年度	令和4年度
図書	120	280
カタログ	175	339
逐次刊行物	390	794



# 入館者数一覧

令和3年度(2021)

展覧会名	開催期間	有 料													
		個 人								団 体 ・ 前 売					
		一般		シニア		学生		その他	計	一般		シニア		学生	
		料金	人数	料金	人数	料金	人数			料金	人数	料金	人数	料金	人数
コレクション展	3.4.15～ 3.31(177)	300	1,939	—	—	200	65	0	2,004	—	—	—	—	—	—
コレクション展合計 (特別展とのセット 券、メンバーズ含む)		100	940	—	—	100	35	1,652	2,627	—	—	—	—	—	—
コレクション展 合計		—	2,879	—	—	—	100	1,652	4,631	—	—	—	—	—	—
野口哲哉展 - this is not a samurai	3.4.15～ 6.13(54)	1,200	3,834	1,000	652	1,000	46	0	4,532	1,000	1,672	800	203	800	27
小村雪岱スタイル 江戸の粋から 東京モダンへ	3.7.8～ 8.25(44)	1,300	2,044	1,100	434	1,100	53	0	2,531	1,100	851	900	179	900	7
ライデン国立古 代博物館所蔵 古代エジプト展	3.9.27～ 11.7(39)	1,500	20,192	1,300	3,182	1,300	225	0	23,602	1,300	13,164	1,100	1,383	1,100	200
第74回 山口県 美術展覧会	3.12.3～ 12.19(16)	500	837	—	—	400	120	0	957	—	—	—	—	—	—
ミネアポリス 美術館 日本 絵画の名品展	4.3.1～ 3.31(29)	1,500	3,357	1,300	1,136	1,300	111	—	4,604	1,300	1,544	1,100	430	1,100	31
展覧会合計	182	—	30,267	—	5,404	—	555	0	36,226	—	17,231	—	2,195	—	265

※「ミネアポリス美術館 日本絵画の名品展」は、年度をまたいで開催(令和3年度3月1日～令和4年度4月17日、45日間)。全期間を通じて入場者数は以下の通り。

展覧会名	開催期間	有 料													
		個 人								団 体 ・ 前 売					
		一般		シニア		学生		その他	計	一般		シニア		学生	
		料金	人数	料金	人数	料金	人数			人数	人数	料金	人数	料金	人数
ミネアポリス 美術館 日本 絵画の名品展	3.3.1～ 4.4.17(45)	1,500	6,243	1,300	2,132	1,300	141	—	8,516	1,300	2,440	1,100	703	1,100	38

有 料			無										合計	
団体・前売		メンバ ーズ クラブ	小計	小・中生	高校生	18歳以下 その他	招待券 ポスター	案内状	シニア (70歳以上)	障がい者 手帳等	教育・文化 週間及び 無料展覧会	その他		小計
その他	計													
人数	人数													
—	0	—	2,004	494	108	109	300	0	1,441	601	0	2,346	5,399	7,403
—	0	—	2,627	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	2,627
—	0	—	4,631	494	108	109	300	0	1,441	601	0	2,346	5,399	10,030
0	1,902	18	6,452	558	130	185	2,010	132	0	602	0	1,575	5,192	11,644
0	1,037	41	3,609	404	58	65	1,821	238	0	357	0	1,212	4,155	7,764
0	14,747	122	38,468	6,187	1,176	1,746	5,615	267	—	2,640	0	3,558	21,189	59,657
0	0	—	957	49	17	21	435	—	570	105	—	24	1,221	2,178
—	2,005	42	6,651	394	155	146	1,486	100	—	660	—	1,638	4,579	11,230
—	19,691	223	56,140	7,592	1,536	2,163	11,367	737	570	4,364	0	8,007	36,336	92,476

有 料			無										合計	
団体・前売		メンバ ーズ クラブ	小計	小・中生	高校生	18歳以下 その他	招待券 ポスター	案内状	シニア (70歳以上)	障がい者 手帳等	教育・文化 週間及び 無料展覧会	その他		小計
その他	計													
人数	人数													
0	3,181	42	11,739	951	232	262	3,549	199	—	1,212	—	2,549	8,954	20,693

令和4年度(2022)

展覧会名	開催期間	有 料													
		個 人								団 体 ・ 前 売					
		一般		シニア		学生		その他	計	一般		シニア		学生	
		料金	人数	料金	人数	料金	人数	人数	人数	料金	人数	料金	人数	料金	人数
コレクション展	4.41～ 12.11(183)	300	26,108	—	—	200	1,404	0	27,512	—	—	—	—	—	—
コレクション展合計 (特別展とのセット 券、メンバーズ含む)		100	1,681	—	—	100	22	97	1,800	—	—	—	—	—	—
コレクション展 合計		—	27,789	—	—	—	1,426	97	29,312	—	—	—	—	—	—
ミネアポリス 美術館 日本 絵画の名品展	4.41～ 4.17(16)	1,500	2,886	1,300	996	1,300	30	0	3,912	1,300	896	1,100	273	1,100	7
野田弘志 真理 のリアリズム	4.27～ 6.19(49)	1,400	2,483	1,200	877	1,400	33	0	3,393	1,200	767	1,000	143	1,000	21
庵野秀明展	7.8～9.4(54) ※前売りに平 日チケット含	1,700	2,312	1,500	87	1,500	112	0	2,511	1,500	21,562	1,300	401	1,300	1,153
唐絵の承譜 将軍家の襖絵/ 雪舟と狩野派	9.16～ 10.16(30)	1,600	1,207	1,400	498	1,400	74	0	1,779	1,400	285	1,200	86	1,200	4
第75回 山口県 美術展覧会	11.24～ 12.11(17)	500	1,329	—	—	400	164	0	1,493	400	0	—	—	300	0
展覧会合計		—	10,217	—	2,458	—	413	0	13,088	—	23,510	—	903	—	1,185

有 料			無 料										合計	
団体・前売		メン バーズ クラブ	小計	小・中生	高校生	18歳以下 その他	招待券 ポスター	案内状	シニア (70歳以上)	障がい者 手帳等	教育・文化 週間及び 無料展覧会	その他		小計
その他	計													
人数	人数													
—	0	—	27,512	626	263	6,241	245	0	2,418	3,002	83	11,796	24,674	52,186
—	0	—	1,800	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	1,800
—	0	—	29,312	626	263	6,241	245	0	2,418	3,002	83	11,796	24,674	53,986
0	1,176	0	5,088	557	77	116	2,063	99	0	552	—	911	4,375	9,463
0	931	0	4,324	311	97	84	2,054	186	—	541	—	1,707	4,980	9,304
0	23,116	12	25,639	512	177	5,880	5,281	520	—	2,284	—	2,146	16,800	42,439
0	375	42	2,196	—	—	327	1,724	301	—	323	—	1,155	3,830	6,026
0	0	—	1,493	68	61	47	453	—	973	255	—	214	2,071	3,564
0	25,598	54	38,740	1,448	412	6,454	11,575	1,106	973	3,955	0	6,133	32,056	70,796

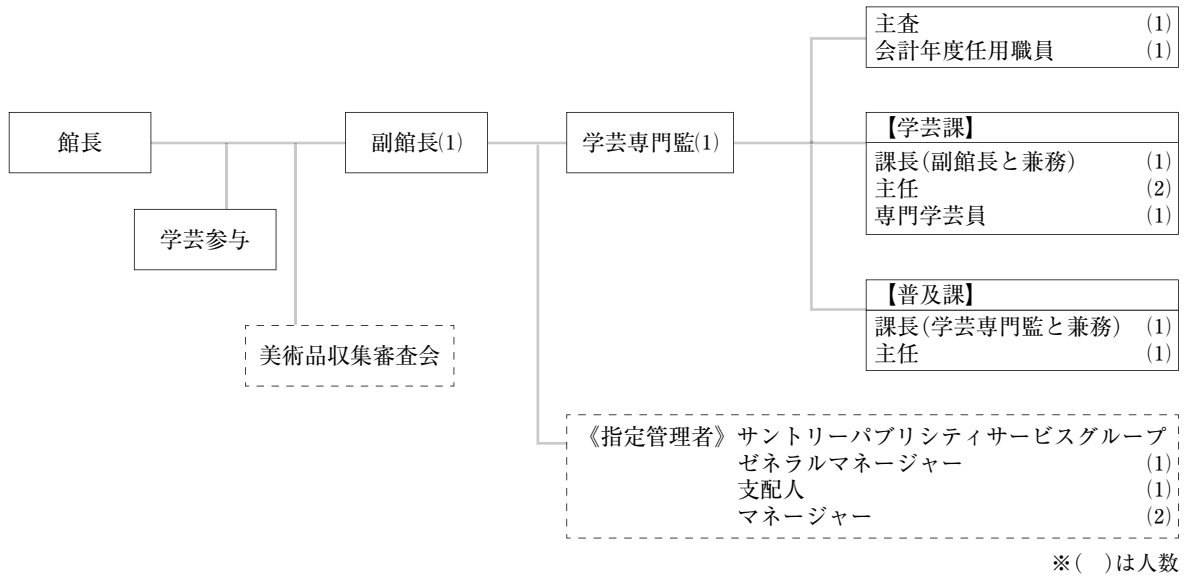




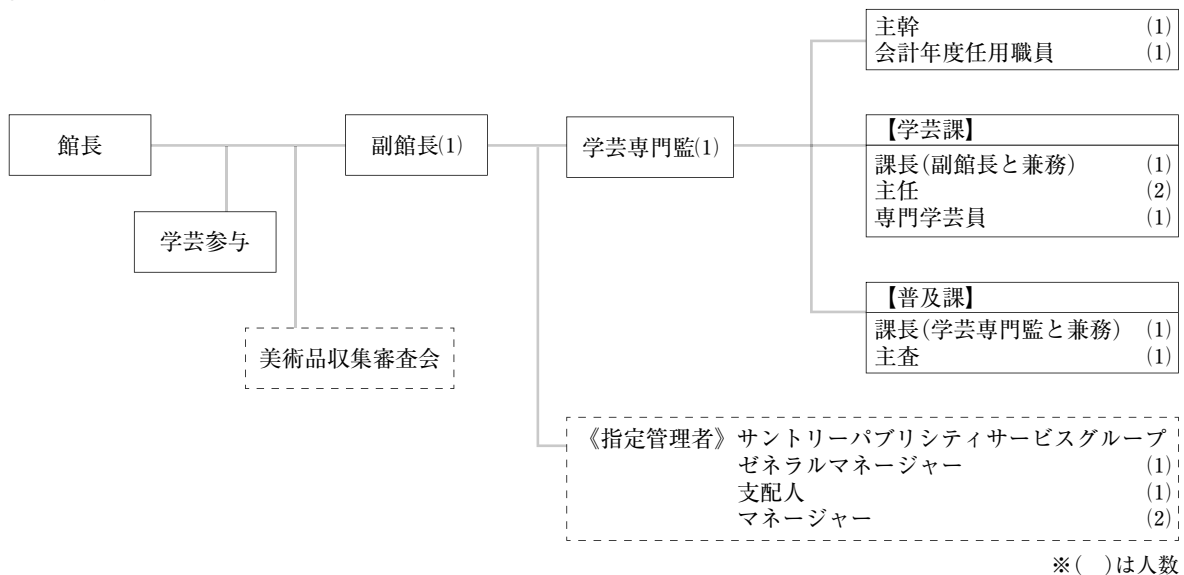
# 組織等

## 組織図

令和3年度



令和4年度



## 美術品収集審査委員

後小路 雅 弘 北九州市立美術館館長・九州大学名誉教授  
 奥 平 俊 六 大阪大学名誉教授  
 菊 屋 吉 生 山口大学名誉教授  
 (以上令和3年度)

後小路 雅 弘 北九州市立美術館館長・九州大学名誉教授  
 奥 平 俊 六 大阪大学名誉教授  
 菊 屋 吉 生 山口大学名誉教授  
 (以上令和4年度)

## 美術館職員構成

(令和3年4月)

館長	上野 清
学芸参与	斎藤 郁夫
副館長	河野 通孝
学芸専門監	荏開津通彦
主査	梶山 洋子
会計年度任用職員	松永 政彦

### 学芸課

課長(兼)	河野 通孝
主任	萬屋 健司
主任	岡本 麻美
専門学芸員	矢追 愛弓

### 普及課

課長(兼)	荏開津通彦
主任	福田 善子

(令和4年4月)

館長	北村 敏克
学芸参与	斎藤 郁夫
副館長	河野 通孝
学芸専門監	荏開津通彦
主査	梶山 洋子
会計年度任用職員	松永 政彦

### 学芸課

課長(兼)	河野 通孝
主任	萬屋 健司
主任	岡本 麻美
専門学芸員	矢追 愛弓

### 普及課

課長(兼)	荏開津通彦
主査	福田 善子

## 職員の動静

令和3年4月

普及課長 荏開津通彦、学芸専門監に昇任

令和4年3月

館長 上野清、退任

令和4年4月

館長 北村敏克、任用

主査 梶山洋子、主幹に昇任

普及課主任 福田善子、主査に昇任

令和5年3月

主幹 梶山洋子、退職

---

発 行 山口県立美術館  
          山口市亀山町3-1  
          tel 083-925-7788 (代表)  
          fax 083-925-7790 (代表)  
              083-925-7784 (学芸課・普及課)

発行日 令和5年12月26日

印 刷 株式会社山口県農協印刷  
          tel 083-989-6100

---